

Attorney Docket No. 1095.1193

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:

Junji SEKI et al.

Application No.: New

Group Art Unit:

Filed: August 14, 2001

Examiner:

For: SYSTEM AND METHOD FOR SUPPORTING DELIVERY OF SERVICES

**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55**

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, the applicant(s) submit(s) herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2001-121680

Filed: April 19, 2001

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing date(s) as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,

STAAS & HALSEY LLP

Date: 8/14/01

By: [Signature]

James D. Halsey, Jr.
Registration No. 22,729

700 11th Street, N.W., Ste. 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年 4月19日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-121680

出 願 人

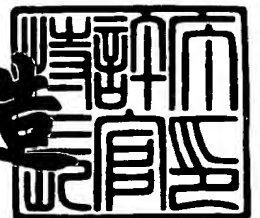
Applicant(s):

富士通株式会社

2001年 6月 6日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3053261

【書類名】 特許願

【整理番号】 0150473

【提出日】 平成13年 4月19日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/60

【発明の名称】 サービス提供支援方法、サービス注文方法、サービス提供支援装置および端末装置

【請求項の数】 10

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

 【氏名】 関 順二

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都品川区南大井六丁目22番7号 富士通トラベランス株式会社内

 【氏名】 吉田 泰久

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都品川区南大井六丁目22番7号 富士通トラベランス株式会社内

 【氏名】 積田 勲

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都品川区南大井六丁目22番7号 富士通トラベランス株式会社内

 【氏名】 丸本 昭彦

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都品川区南大井六丁目22番7号 富士通トラベランス株式会社内

 【氏名】 水野 純一

【特許出願人】

【識別番号】 000005223

【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

【識別番号】 100092152

【弁理士】

【氏名又は名称】 服部 毅巖

【電話番号】 0426-45-6644

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 009874

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9705176

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 サービス提供支援方法、サービス注文方法、サービス提供支援装置および端末装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 有償サービスの提供を支援するコンピュータのサービス提供支援方法において、

ネットワークを介して、所定の代金を支払って入会手続きを行った利用者に対して有償サービスを紹介し、

前記有償サービスの申込を、前記ネットワークを介して接続された前記利用者の操作する端末装置より受け付け、

前記利用者が支払った前記所定の代金に基づいて前記利用者の与信審査を行い、与信審査結果に応じて前記有償サービスの代金に対する立て替え額を決定し、決定された前記立て替え額を前記端末装置へ通知する、

ことを特徴とするサービス提供支援方法。

【請求項 2】 決定した前記立て替え額の金銭を、前記利用者に代わって前記有償サービスの提供者へ支払うことを特徴とする請求項 1 記載のサービス提供支援方法。

【請求項 3】 前記利用者は、保険商品の購入者であることを特徴とする請求項 1 記載のサービス提供支援方法。

【請求項 4】 前記有償サービスは、旅行企画商品であることを特徴とする請求項 1 記載のサービス提供支援方法。

【請求項 5】 前記有償サービスは、資格取得のための講座であることを特徴とする請求項 1 記載のサービス提供支援方法。

【請求項 6】 前記利用者が他の顧客を勧誘し、商品購入の同意を取り付けた場合には、前記利用者に対して報酬を支払うことを特徴とする請求項 1 記載のサービス提供支援方法。

【請求項 7】 前記利用者より旅行企画の提案を受け付け、提案された前記旅行企画を、前記有償サービスの 1 つとして他の利用者に紹介する、

ことを特徴とする請求項 1 記載のサービス提供支援方法。

【請求項 8】 有償サービスの提供を支援するサービス提供支援装置に接続された端末装置のサービス注文方法において、

前記サービス提供支援装置から前記有償サービスの紹介情報を取得して、取得した前記紹介情報を表示し、

操作入力に応答し、前記有償サービスの購入情報を前記サービス提供支援装置に送信し、

前記端末装置により、前記サービス提供支援装置から送られる立て替え額の情報を取得して、取得した前記立て替え額の情報を表示する、

ことを特徴とするサービス注文方法。

【請求項 9】 有償サービスの提供を支援するためのサービス提供支援装置において、

ネットワークを介して、所定の代金を支払って入会手続きを行った利用者に対して有償サービスを紹介する紹介手段と、

前記紹介手段で紹介した前記有償サービスの申込を、前記ネットワークを介して接続された前記利用者の操作する端末装置より受け付ける受付手段と、

前記受付手段が受け付けた前記有償サービスの申込に応答して、前記利用者が支払った前記所定の代金に基づいて前記利用者の与信審査を行い、与信審査結果に応じて前記有償サービスの代金に対する立て替え額を決定する決定手段と、

前記決定手段が決定した前記立て替え額を、前記端末装置へ通知する通知手段と、

を有することを特徴とするサービス提供支援装置。

【請求項 1 0】 有償サービスの提供を支援するサービス提供支援装置に接続して前記有償サービスを注文するための端末装置において、

前記サービス提供支援装置から前記有償サービスの紹介情報を取得して、取得した前記紹介情報を表示する紹介情報表示手段と、

操作入力に応答して、前記有償サービスの購入情報を前記サービス提供支援装置に送信する送信手段と、

前記サービス提供支援装置から送られる立て替え額の情報を取得して、取得し

た前記立て替え額の情報を表示する立て替え情報表示手段と、
を有することを特徴とする端末装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は保険商品や旅行商品等の個人向けライフサービスの提供を支援するサービス提供支援方法、サービス注文方法、サービス提供支援装置および端末装置に関し、特に有料のサービス提供を支援するサービス提供支援方法、サービス注文方法、サービス提供支援装置および端末装置に関する。

【0002】

【従来技術】

従来、個人の生活を金銭面から保障するライフサービスとして様々な保険商品が販売されている。保険商品の多くには、加入契約者に対して各種の付帯サービスが提供されている。例えば、

- ・ 加入した保険の契約者貸付サービス
- ・ 年金相談、医療・介護相談、保険相談などの各種相談サービス
- ・ 介護関連事業者等紹介、病院・専門医情報情報サービス
- ・ 予約制の介護サービス

などが提供されている。このように、保険商品の契約を行えば、契約者は、金銭面や健康面でのサービスを享受することができる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、現在提供されている金銭面でのサービスは利便性に欠けており、十分に利用されていなかった。

【0004】

たとえば、保険サービスでは、加入した保険の契約者貸し付けを利用するサービスが提供されているが、申込手続きが煩雑で時間がかかるなど利便性の点で問題がある。

【0005】

また、金銭面以外のサービスは、医療や介護の相談等の健康面での不安を解消するためのサービスに限定されており、健康な人の生活向上に役立つサービスは提供されていなかった。

【0006】

・たとえば、お金はあるが、将来が不安で手持ちのお金が使えないという人が大勢いる。そのため、将来の保障を確保して、個人の生き甲斐に利用できる資金提供などのサービスを受けられることが望まれている。

【0007】

・また、収入を得るための資格取得支援、契約社員化などのサービスがないため、生活を向上させることができなかった。高齢者と言われる人であっても、多くの人が生き甲斐を求めており、経験をいかして、時間に拘束されずに働きたいと願っている。ところが、現在、働く機会を得るため加入者を対象とした資格取得支援、契約社員となる機会の提供などのサービスはない（例えば、保険加入募集の契約社員サービスの提供）。

【0008】

・経験を生かして、ライフサービス商品を企画したいが提案する場がない。
・サービス利用の相談窓口などが一本化されていないので利便性に欠ける。
・一元的な管理サービスも提供されていないので、加入した各種ライフサービスの管理も煩わしい（ワンストップライフサービスの提供が望まれる）。

【0009】

以上の様に、単に金銭面や健康面だけでのサービスは、保険商品を契約した契約者が、将来の不安を抱えずに生活の向上を図ることに関しては、何ら寄与していなかった。

【0010】

本発明はこのような点に鑑みてなされたものであり、生活の向上に寄与する利便性の高いサービスの提供を支援するサービス提供支援方法、サービス注文方法、サービス提供支援装置および端末装置を提供することを目的とする。

【0011】

【課題を解決するための手段】

本発明では上記課題を解決するために、図 1 に示すようなサービス提供支援方法、およびその方法を実現するサービス提供支援装置が提供される。本発明に係るサービス提供支援方法は、サービス提供支援装置 1 0 0 により有償サービスの提供を支援する。すなわち、ネットワークを介して、所定の代金を支払って入会手続きを行った利用者 1 に対して有償サービスを紹介する（ステップ S 1 0 4）。そして、有償サービスの申込を、ネットワークを介して接続された利用者 1 の操作する端末装置 4 0 より受け付ける（ステップ S 1 0 5）。すると、利用者 1 が支払った所定の代金に基づいて利用者 1 の与信審査を行い、与信審査結果に応じて有償サービスの代金に対する立て替え額を決定する（ステップ S 1 0 6）。そして、決定した立て替え額を端末装置 4 0 へ通知する（ステップ S 1 0 7）。

【0012】

これにより、有償サービスの注文を利用者が出すと、その有償サービスの代金の立て替え額が自動的に算出される。これにより、利用者は、有償サービスの代金の全額を即金で払わずに有償サービスの提供を受けることが可能となり、利便性が向上する。また、有償サービスとして、たとえば、資格取得講座を提供すれば、利用者の生活力を向上させることができる。

【0013】

また、本発明では上記課題を解決するために、図 1 に示すようなサービス注文方法、およびその方法を実現する端末装置が提供される。本発明に係るサービス注文方法は、端末装置 4 0 により、有償サービスの提供を支援するサービス提供支援装置 1 0 0 へのサービスの注文を行う。すなわち、サービス提供支援装置 1 0 0 から有償サービスの紹介情報を取得して、取得した紹介情報を表示する。次に、操作入力に応答し、有償サービスの購入情報をサービス提供支援装置に送信する（ステップ S 1 0 5）。そして、サービス提供支援装置 1 0 0 から送られる立て替え額の情報を取得して（ステップ S 1 0 7）、取得した前記立て替え額の情報を表示する。

【0014】

これにより、利用者 1 がサービス提供支援装置 1 0 0 に対して有償サービスの注文を出すと、その有償サービスの代金における立て替え額が、端末装置 4 0 に

表示される。これにより、利用者 1 は、有償サービスの提供を受けるためにすぐに必要な金額を知ることができ、有償サービスの代金の全てをすぐに用意できない場合であっても、代金の支払いが可能であることを認識し、有償サービスの提供を受けることができる。

【0015】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を図面を参照して説明する。

図 1 は、本実施の形態における有償サービス提供手順の概略を示す図である。図 1 に示すように、有償サービスを利用する利用者 1 と、サービスの提供を支援するサービスサイト運営事業者 2 との間で、情報の交換、および金銭の授受が行われる。また、サービスサイト運営事業者 2 と、実際にサービスを提供する有償サービス提供事業者 3 との間で、販売委託契約、サービス代金の支払が行われる。さらに、利用者 1 に対して、有償サービス提供事業者 3 からサービスの提供が行われる。利用者 1 は、端末装置 40 を用いて、サービス提供の支援を受けることができる。また、サービスサイト運営事業者 2 は、サービス提供支援装置 100 を用いて、利用者 1 に対するサービス提供の支援を行う。

【0016】

まず、利用者 1 が端末装置 40 を用いて、サービスサイト運営事業者 2 のサービス提供支援装置 100 にアクセスし、有償サービスの提供を受けるため入会手続きを行う（ステップ S101）。なお、有償サービスの提供が保険商品に付随している場合には、利用者による保険商品の購入手続きが、入会手続きに相当する。その後、利用者 1 は、サービスサイト運営事業者 2 に対して、代金を支払う（ステップ S102）。

【0017】

一方、有償サービス提供事業者 3 は、サービスサイト運営事業者 2 に対して、有償サービスの販売を委託する（ステップ S103）。ここで、有償サービスには、旅行商品の販売や、資格取得講座の受講等がある。なお、旅行商品の販売とは、旅行企画に基づいて、ホテルのクーポン券や各種交通手段の乗車券等を販売することである。旅行商品には、添乗員による旅行の引率サービスが含まれる場

合もある。

【0018】

サービスサイト運営事業者2は、サービス提供支援装置100を用いて、端末装置40へ有償サービスの紹介情報を送信し、販売を委託された有償サービスを利用者1に対して紹介する（ステップS104）。利用者1は、端末装置40を用いて有償サービスの紹介内容を確認し、希望する有償サービスがあれば、端末装置40を用いて、サービス提供支援装置100に対して、その有償サービスの注文を出す（ステップS105）。

【0019】

有償サービスの注文を受けたサービス提供支援装置100は、利用者がステップS102で支払った代金に基づいて利用者の与信審査を行い、与信審査結果に応じて有償サービスの代金に対する立て替え額を決定する（ステップS106）。そして、サービス提供支援装置100は、注文の受付結果を端末装置40に通知する（ステップS107）。その後、サービスサイト運営事業者2は、有償サービス提供事業者3に対して、決定した立て替え額を、利用者1が注文した有償サービスの代金の全部または一部として、利用者に代わって有償サービス提供事業者3に支払う（ステップS108）。

【0020】

なお、サービスサイト運営事業者2から有償サービス提供事業者3への代金の支払いは、サービス提供支援装置100が自動的に行うようにしてもよい。たとえば、サービス提供支援装置100を金融機関のサーバと接続し、支払うべき代金の額の、サービスサイト運営事業者2の口座から有償サービス提供事業者3の口座への振込依頼を、サービス提供支援装置100が金融機関のサーバへ通知するようにする。

【0021】

有償サービス提供事業者3は、利用者1の注文に応じた有償サービスを、利用者1に提供する。利用者1は、有償サービスの提供を受けた後の所定の期間内に、その有償サービスの代金をサービスサイト運営事業者2に支払う。

【0022】

このようにして、利用者1は、入会手続きを行い、代金を支払っておけば、即金で代金を支払わなくても有償サービスの提供を受けることができる。代金の心配をせずに、有償サービスの提供を受けることができるため、非常に利便性が向上する。たとえば、定期預金が満期になれば有償サービスの代金を支払える様な場合、定期預金の満期日まで有償サービスの提供を我慢する必要がない。これにより、有償サービスを受けるための時間的な制約が緩和され、高い利便性が得られる。

【0023】

しかも、入会手続きが保険商品の購入手続きであり、代金が保険商品の代金であれば、利用者は、保険契約による生活の安心を得ると共に、旅行商品等の有償サービスを受けることにより豊かな生活を過ごすことができる。なお、各種有償サービスの注文は、サービス提供支援装置100に対して行えばよい。そのため、たとえば、旅行商品と資格取得講座のように、有償サービス提供事業者が異なる企業であっても、注文の窓口が統一されており、有償サービスの注文が容易である。

【0024】

さらに、有償サービスとして資格取得講座を用意することで、利用者に対して娯楽を提供するだけでなく、利用者の自己実現を支援することができる。

また、本実施の形態では、契約社員登録をした利用者に対して、保険商品の勧誘を行ってもらい、成功報酬を契約社員に支払うサービスが提供される。

【0025】

図2は、本実施の形態における契約社員支援手順の概略を示す図である。保険商品提供事業者4は、サービスサイト運営事業者2に対して、保険商品の販売を依頼する（ステップS121）。サービスサイト運営事業者2は、契約社員登録をした利用者1に、保険商品購入者の勧誘依頼をする（ステップS122）。利用者1は、顧客5を勧誘する（ステップS123）。利用者1が、顧客5の商品購入の同意を取り付けた場合には、顧客5が保険商品の加入申込を行う（ステップS124）。すると、利用者1は、端末装置40を用いて、サービス提供支援装置100に対して加入登録の手続きを行う（ステップS125）。

【0026】

加入登録の手続きを確認したサービスサイト運営事業者2は、保険商品提供事業者4に対して、顧客5の情報が記入された加入申込書を送付する（ステップS126）。また、サービスサイト運営事業者2は、成功報酬を利用者1に支払う（ステップS127）。顧客5は、加入申込を行った保険商品の保険料を、サービスサイト運営事業者2の口座に振り込む（ステップS128）。すると、サービスサイト運営事業者2は、保険料を保険商品提供事業者4に振り込む。

【0027】

このようにして、利用者1に対して、保険商品の販売員としての仕事を提供することができる。これにより、利用者1は、好きなときに働いて、必要に応じた収入を得ることができる。その結果、利用者1は、より豊かな生活を送ることができるようになる。しかも、有償サービスとして、保険販売代理の資格取得講座を用意することで、保険販売の代理権を有していない利用者に対して、契約社員となるための支援をすることができる。

【0028】

また、本実施の形態では、利用者が独自の旅行企画を提案し、その優れた旅行企画に対しては報酬が支払われる。

図3は、本実施の形態における旅行企画提案手順の概略を示す図である。利用者1は、端末装置40を用いて、サービス提供支援装置100に対して旅行企画の提案内容を登録する（ステップS131）。サービスサイト運営事業者2は、サービス提供支援装置100を用いて、他の利用者6の端末装置50に対して、旅行企画を紹介する（ステップS132）。利用者6は、気に入った旅行企画があれば、端末装置50を用いて、旅行企画の注文をサービス提供支援装置100に対して送信する（ステップS133）。以後、図1に示したステップS106～S111と同様に、立て替え額決定（ステップS134）、注文受付結果通知（ステップS135）、立て替え払い（ステップS136）、手数料支払い（ステップS137）、サービス提供（ステップS138）、代金支払い（ステップS139）が行われる。そして、最後に、サービスサイト運営事業者2から、旅行企画を提案した利用者1に対して報酬が支払われる（ステップS140）。

【0029】

このようにして、利用者1は、優れた旅行企画を提案すれば、その旅行企画に対する報酬を得ることができる。これにより、大勢の利用者から旅行企画を提案してもらい、多種多様な需要に応じた旅行商品を提供することが可能となる。

【0030】

以上の様なサービスは、たとえば、インターネット等のネットワークを介して提供することができる。以下に、本実施の形態のサービスを提供するシステムについて具体的に説明する。

【0031】

図4は、本実施の形態に係るサービス提供支援のシステム構成例を示す図である。本発明のシステムは、サービス提供支援装置100、複数のサーバ20、30、複数の端末装置40、50、60が、ネットワーク14を介して接続されている。ネットワーク14は、たとえば、インターネット等の広域ネットワークである。

【0032】

サービス提供支援装置100は、端末装置40、50、60の利用者に対して、保険商品の販売、および各種サービス支援を行うサービスサイト運営事業者のサーバである。サーバ20は、旅行代理店のようなサービス業を営む有償サービス提供事業者のサーバである。サーバ30は、保険会社等の保険商品提供事業者のサーバである。端末装置40、50、60は、サービス提供支援装置100を介してサービス提供を受ける利用者の端末装置である。利用者は、端末装置40、50、60を介して、サービスサイト運営事業者の契約社員の登録を行い、契約社員としての業務の支援を受けることができる。また、利用者は、端末装置40、50、60を用いて、サービス提供支援装置100に旅行企画案を登録し、第三者に対するサービスの企画を提案することもできる。

【0033】

図5は、本実施の形態のサービス提供支援装置のハードウェア構成例を示す図である。サービス提供支援装置100は、CPU101によって装置全体が制御されている。CPU101には、バス107を介してRAM102、ハードディ

スク装置（HDD）103、グラフィック処理装置104、入力インタフェース105、および通信インタフェース106が接続されている。

【0034】

RAM102は、CPU101に実行させるOS (Operating System)のプログラムやアプリケーションプログラムの少なくとも一部が一時的に格納される。また、RAM102には、CPU101による処理に必要な各種データが格納される。HDD103は、OSやアプリケーションプログラムが格納される。

【0035】

グラフィック処理装置104には、モニタ11が接続されている。グラフィック処理装置104は、CPU101からの命令に従って、画像をモニタ11の画面に表示させる。入力インタフェース105には、キーボード12とマウス13とが接続されている。入力インタフェース105は、キーボード12やマウス13から送られてくる信号を、バス107を介してCPU101に送信する。

【0036】

通信インタフェース106は、ネットワーク14に接続されている。ネットワーク14は、たとえばインターネットのような広域ネットワークである。通信インタフェース106は、ネットワーク14を介して、他のコンピュータとの間でデータの送受信を行う。

【0037】

以上の様なハードウェア構成によって、本実施の形態の処理機能を実現することができる。なお、図5には、サービス提供支援装置のハードウェア構成のみを示したが、他のサーバや端末装置も同様のハードウェア構成で実現することができる。

【0038】

以下、利用者が端末装置40を利用してサービス提供支援装置100に対してアクセスする場合を想定して、本発明の実施の形態における処理を具体的に説明する。

【0039】

図6は、本実施の形態のサービス提供支援装置の機能ブロック図である。サー

ビス提供支援装置100は、処理機能として、通信制御部110、会員加入処理部111、有償サービス提供処理部112、契約社員支援処理部113、資格取得支援処理部114、および旅行企画提案処理部115を有している。また、サービス提供支援装置100は、データベースとして、会員加入情報格納部120、有償サービス提供情報格納部130、契約社員支援情報格納部140、資格取得支援情報格納部150、および旅行企画情報格納部160を有している。

【0040】

通信制御部110は、他の処理機能部に接続されており、ネットワーク14を介して取得された各種要求を、その要求を処理すべき処理機能部に通知する。また、通信制御部110は、各処理機能部で実行された処理結果を端末装置40へ送信する。

【0041】

会員加入処理部111は、利用者の端末装置40と通信し、会員登録処理を行う。有償サービス提供処理部112は、会員となった利用者に対する各種有償サービスの提供支援を行う。契約社員支援処理部113は、会員となった利用者の中で、保険商品等の販売員としての資格を得た者の端末装置40と通信し、仲介による会員登録処理を行う。資格取得支援処理部114は、資格取得を希望する利用者に対して、資格取得講座の紹介処理等の資格取得支援処理を行う。旅行企画提案処理部115は、利用者から旅行企画案の提示を受け、その旅行企画を他の利用者に提供する処理を行う。

【0042】

会員加入情報格納部120は、会員加入処理部111によってデータの入出力が管理されており、会員となった利用者に関する情報を格納する。有償サービス提供情報格納部130は、有償サービス提供処理部112によってデータの入出力が管理されており、提供可能な有償のサービスに関する情報を格納する。契約社員支援情報格納部140は、契約社員支援処理部113によってデータの入出力が管理されており、契約社員に関する情報が格納される。資格取得支援情報格納部150は、資格取得支援処理部114によってデータの入出力が管理されており、資格支援に関する情報が格納される。旅行企画情報格納部160は、旅行

企画提案処理部 115 によってデータの入出力が管理されており、利用者から提案された旅行企画案に関する情報が格納される。

【0043】

図 7 は、会員加入情報格納部の内容の一例を示す図である。図 7 の例では、会員加入情報格納部 120 には、商品紹介情報 DB 121、ライフサービス商品マスタ DB 122、契約コース説明参照 DB（コース別）123、加入保険料参照 DB（性別・年齢別）124、会員情報 DB 125、および保険契約情報管理 DB 126 が含まれている。

【0044】

商品紹介情報 DB 121 には、会員となる利用者に販売する保険に関する情報が登録されている。商品紹介情報 DB 121 の詳細は後述する。ライフサービス商品マスタ DB 122 には、ライフサービスを提供するための保険商品のマスタ情報が格納されている。契約コース説明参照 DB 123 には、ライフサービスを提供するための保険商品として設定されている契約コースの内容を利用者に対して説明するための情報が登録されている。加入保険料参照 DB 124 には、契約コース毎に、利用者が加入した場合の保険料算定用のデータが登録されている。なお、保険料は、加入する利用者の性別や年齢等を考慮して算出される。

【0045】

会員情報 DB 125 には、会員となった利用者に関する情報が格納される。会員情報 DB 125 の詳細は後述する。保険契約情報管理 DB 126 には、保険会社毎に、利用者との間の契約内容等の情報が格納されている。

【0046】

図 8 は、商品紹介情報 DB に格納されるレコードの一例を示す図である。図 8 の例では、商品紹介情報 DB 121 内に、「商品 ID」、「登録年月日」、「更新年月日」、「商品紹介情報格納アドレス」、「募集商品数」、「商品コード」、「商品名称」、「商品契約コース」、「保険料手数料」、「取扱い保険会社名」、「加入一時払い保険料」、「商品明細格納アドレス」等の情報が格納されている。

【0047】

「商品ID」は、各商品の情報に付与された識別子である。「登録年月日」は、商品の情報が登録された日付である。「更新年月日」は、商品の情報が変更された日付である。更新が複数回行われている場合には、最新の更新日が「更新年月日」に格納される。「商品紹介情報格納アドレス」は、商品の説明が記載されたオブジェクトの格納アドレスである。「募集商品数」は、募集を行っている商品の数である。「商品コード」は、商品に対して付与された識別子である。「商品名称」は、商品の名称である。「商品契約コース」は、商品の契約が複数のコースに分かれている場合の各コースの名称である。「保険料手数料」は、その商品が販売された際に販売者に支払われる手数料である。「取扱い保険会社名」は、その商品を取り扱っている保険会社の名称である。「加入一時払い保険料」は、その商品に加入した際に、加入者が支払うべき保険料である。「商品明細格納アドレス」は、商品明細情報が格納されているアドレスである。

【0048】

図9は、会員情報DBに格納されているレコードの一例を示す図である。図9の例では、「会員ID番号」、「登録年月日」、「更新年月日」、「氏名（本人）」、「基本情報」、「Eメールアドレス」、「基本加入保険契約コース」、「加入保険契約情報」、「他保険加入数」、「有償サービス利用状況」、「利用回数」、「立替決済可能額（総額）」、「立替決済額」、「立替決済処理状態」、「与信情報」、「管理情報1」、「会員種別」、「SOHOパートナー登録」、「保有資格登録」、「契約社員登録」、「管理情報2」、「資格取得支援利用状況」、「管理情報3」、「旅行企画提案利用状況」、「管理情報4」等の情報が格納されている。

【0049】

「会員ID番号」は、ライフサポートの対象となる保険に契約した利用者（会員）の識別番号である。「登録年月日」は、会員登録が行われた日付である。「更新年月日」は、会員の登録内容が変更された日付である。「氏名（本人）」は、会員の氏名である。「基本情報」は、会員の個人情報である。基本情報には、「性別」、「生年月日」、「住所」、「郵便番号」、「家族情報」、「趣味」の各情報が含まれている。

【0050】

「Eメールアドレス」は、会員の電子メールアドレスである。「基本加入保険契約コース」は、会員が契約したライフサポートの対象となる保険契約コースの名称である。「加入保険契約情報」は、会員が契約したライフサポートの対象となる保険契約コースの詳細情報が格納されたアドレスである。「他保険加入数」は、会員が契約したライフサポート対象外の保険の数である。「有償サービス利用状況」は、会員が過去に有償サービスを利用したか否かの情報である。「利用回数」は、会員が過去に有償サービスを利用した回数である。「立替決済可能額（総額）」は、会員が有償サービスを利用する際に、代金立替を行うことができる金額（総額）である。「立替決済額」は、会員が利用した有償サービスへの支払いのうち、現在立て替えている代金の総額である。「立替決済処理状態」は、会員が有償サービスを利用した際の代金の支払い状況を示すフラグである。たとえば、「立替決済処理状態」が0であれば「立替支払い無し」であり、1であれば「立替支払いあり」であり、2であれば「立替支払いを行ったサービスのサービス実行完了」であり、3であれば「決済入金（会員からサービスサイト運営者への支払い）完了」である。「与信情報」は、一時払い保険金の額等の情報である。「管理情報1」は、代金の立て替え等に関する管理情報の格納アドレスである。

【0051】

「会員種別」は、会員契約の種別である。たとえば、「会員種別」が0であれば仮会員であり、1であれば一般会員であり、2であればSOHO (Small Office Home Office) パートナーである。なお、仮会員とは、基本加入の保険コースへの申込を行っているが、保険料の支払いが完了していない利用者である。一般会員とは、基本加入の保険コースへの申込を行い、保険料の支払いを完了した利用者である。また、SOHOパートナーとは、保険商品の販売代行契約を行った会員である。SOHOパートナーには、契約社員と非契約社員がいる。保険商品販売等の資格を有していないSOHOパートナーは、非契約社員である。非契約社員のSOHOパートナーは、資格取得支援サービスを受けることができる。保険商品販売代行等の資格を有しているSOHOパートナーは、契約社員となること

ができる。契約社員のSOHOパートナーは、保険商品販売代行の業務を行い、報酬を受け取ることができる。

【0052】

「SOHOパートナー登録」は、SOHOパートナーとしての契約の有無である。「保有資格登録」は、会員が保有している資格（たとえば損害保険の代理店資格）の有無である。「契約社員登録」は、契約社員登録を行っているかどうかの情報である。「管理情報2」は、会員種別等に関する管理情報の格納アドレスである。「資格取得支援利用状況」は、資格取得支援サービスの利用の有無である。「管理情報3」は、資格取得支援サービスに関する管理情報の格納アドレスである。「旅行企画提案利用状況」は、旅行企画案の提案を行ったか否かの情報である。「管理情報4」は、旅行企画案に関する管理情報の格納アドレスである。

【0053】

図10は、有償サービス提供情報格納部の内容の一例を示す図である。有償サービス提供情報格納部130には、旅行商品情報DB131、取引注文DB132、商品明細DB133、有償サービス利用管理DB134が含まれている。旅行商品情報DB131には、旅行に関するチケット販売等の消費情報が格納されている。取引注文DB132には、商品の取引や、商品の注文に関する情報が格納されている。商品明細DB133には、商品の明細に関する情報が格納されている。有償サービス利用管理DB134には、利用された有償サービスに関する情報が格納されている。

【0054】

図11は、旅行商品情報DBに格納されているレコードの一例を示す図である。旅行商品情報DB131には、「管理番号」、「登録年月日」、「更新年月日」、「登録数」、「商品カテゴリ」、「旅行タイプ」、「商品コード」、「商品名称」、「販売価格」、「所要日数」、「出発時期」、「募集受付可能数」、「募集開始時期」、「支払条件」、「商品明細格納アドレス」、「取扱い旅行会社」等の情報が旅行商品情報毎に格納されている。

【0055】

「管理番号」は、旅行商品情報に与えられた識別子である。「登録年月日」は、旅行商品情報が登録された日付である。「更新年月日」は、旅行商品情報の内容が変更された日付である。「登録数」は、旅行商品情報に対する注文の登録数である。「商品カテゴリ」は、旅行商品の種別の大分類（カテゴリ）である。「旅行タイプ」は、旅行商品の種別の小分類（タイプ）である。「商品コード」は、旅行商品に与えられた識別番号である。「商品名称」は、旅行商品の名称である。「販売価格」は、旅行商品の価格である。「所要日数」は、旅行商品による旅行の所要日数である。「出発時期」は、旅行商品による旅行の出発日である。

「募集受付可能数」は、応募受付可能な最大人数である。「募集開始時期」は、募集を開始する時期である。「支払条件」は、支払方法の条件である。たとえば、「支払い条件」には、立て替え払いが可能かどうかを設定されている。「商品明細格納アドレス」は、商品明細情報が格納されているアドレスである。「取扱い旅行会社」は、旅行商品を取り扱っている旅行会社の会社名である。

【 0 0 5 6 】

図 1 2 は、取引注文 D B に格納されているレコードの一例を示す図である。取引注文 D B 1 3 2 には、「受付年月日」、「取引番号」、「取引種別コード」、「顧客番号」、「顧客氏名」、「購入商品コード」、「購入商品名」、「商品価格」、「処理状態」、「支払条件（決済方法）」、「注文受付コード」、「申込日」、「出発予定日」等の情報が登録されている。

【 0 0 5 7 】

「受付年月日」は、商品の購入注文を受け付けた日付である。「取引番号」は、購入対象となる商品に与えられた識別番号である。「取引種別コード」は、取引種別を表す識別子である。取引種別には、新規加入契約、追加加入契約、購入注文、資格取得支援予約、旅行企画案等がある。「顧客番号」は、購入注文を出した顧客（利用者）の顧客番号である。「顧客氏名」は、購入注文を出した顧客の氏名である。「購入商品コード」は、購入対象となる商品の商品コードである。「購入商品名」は、購入対象となる商品の商品名である。「商品価格」は、購入対象となる商品の価格である。「処理状態」は、取引注文を受け付けた後の事務処理の状態である。たとえば、「処理状態」には、与信チェックが完了したか

否かの情報が登録される。「支払条件（決済方法）」は、購入された商品に対する代金の支払い方法である。たとえば、「支払条件」には、立替決済（後日振込支払）、立替決済（後日、契約者貸付支払）、立替決済（後日、支払方法選択）、立替決済（自動融資併用）、立替決済（クレジット決済併用）等がある。「注文受付コード」は、注文情報に付与された受付コードである。「申込日」は、取引注文が出された日付である。「出発予定日」は、旅行商品を購入した際のその旅行の出発予定日である。

【0058】

図13は、契約社員支援情報格納部の内容の一例を示す図である。契約社員支援情報格納部140には、契約社員管理DB141、雇用契約書DB142、加入成約登録管理DB143が含まれている。契約社員管理DB141には、契約社員としての契約を交わした会員の契約内容に関する情報が登録されている。雇用契約書DB142には、契約社員とサービスサイト運営事業者との間で結ばれた雇用契約書の情報が格納されている。加入成約登録管理DB143には、契約社員の働きで成約した契約の内容が保険会社毎に登録されている。

【0059】

図14は、契約社員管理DBに格納されているレコードの一例を示す図である。契約社員管理DB141には、「管理番号」、「登録年月日」、「更新年月日」、「管理状態」、「会員番号」、「雇用契約書」、「決済口座」、「成功報酬総額」、「保有資格会社数」、資格対象会社毎の「資格対象会社」、資格対象会社毎の「保有資格種類」、資格対象会社毎の「取得年月日」、資格対象会社毎の「加入成約登録件数」、資格対象会社毎の「加入成約未処理件数」、資格対象会社毎の「処理状態」、資格対象会社毎の「加入成約登録管理」、資格対象会社毎の「成功報酬額」等の各情報が格納されている。

【0060】

「管理番号」は、契約社員の情報の識別子である。「登録年月日」は、契約社員の情報が登録された日付である。「更新年月日」は、契約社員の情報の内容が変更された日付である。「管理状態」は、契約社員の登録手続きの状態を示す情報である。たとえば、「管理状態」が0であれば未処理の状態であり、1であれ

ば契約登録済の状態であり、2であれば雇用契約完了の状態である。「会員番号」は、契約社員としての登録を行った会員の会員番号である。「雇用契約書」は、契約社員の雇用契約書の管理番号である。「決済口座」は、報奨金の振り込み等を行う銀行等の金融機関の口座番号である。「成功報酬総額」は、契約社員に与えられた成功報奨金の総額である。「保有資格会社数」は、契約社員が保険代理店等の資格を有している保険会社の数である。資格対象会社毎の「資格対象会社」は、資格対象会社の名称である。資格対象会社毎の「保有資格種類」は、保有している資格の種類である。「保有資格種類」には、たとえば、初級や上級といった等級が登録される。資格対象会社毎の「取得年月日」は、契約社員が最上位の資格を取得した取得日である。資格対象会社毎の「加入成約登録件数」は、契約社員が第3者と成約した件数である。資格対象会社毎の「加入成約未処理件数」は、成約したうちの未処理件数（たとえば、保険料が未納の案件の数）である。資格対象会社毎の「処理状態」は、「新規契約入力中」等の契約登録管理処理の状態である。資格対象会社毎の「加入成約登録管理」は、対応する加入成約登録管理情報のアドレスである。資格対象会社毎の「成功報酬額」は、資格対象会社から契約社員に与えられた報酬金額である。

【0061】

図15は、資格取得支援情報格納部の内容の一例を示す図である。資格取得支援情報格納部150には、資格支援情報DB151と講座コース明細DB152とが含まれている。資格支援情報DB151には、資格の取得を支援するための講座の情報が格納されている。講座コース明細DB152には、講座の詳細情報が格納されている。

【0062】

資格支援情報DB151には、「管理番号」、「登録年月日」、「更新年月日」、「登録数」、「商品カテゴリ」、「資格コース」、「商品コード」、「商品名称」、「販売価格」、「所要日数」、「開始時期」、「募集受付可能数」、「募集開始時期」、「支払条件」、「商品明細格納アドレス」、「取扱い会社」等の情報が格納されている。

【0063】

「管理番号」は、資格支援情報の識別子である。「登録年月日」は、資格支援情報が登録された日付である。「更新年月日」は、資格支援情報の内容が更新された日付である。「登録数」は、資格支援情報で示す講座への応募数である。「商品カテゴリ」は、資格支援講座の種別（大分類）である。「資格コース」は、資格支援講座の詳細な種別（小分類）である。「商品コード」は、資格支援講座の商品識別子である。「商品名称」は、資格支援講座の名称である。「販売価格」は、商品の値段である。「所要日数」は、資格支援講座の講座開始から終了までにかかる日数である。「開始時期」は、資格支援講座の開講日である。「募集受付可能数」は、資格支援講座の受付可能人数である。「募集開始時期」は、資格支援講座の募集開始時期である。「支払条件」は、資格支援講座の代金支払い条件である。たとえば、「支払条件」には、自動融資、立替え払い、クレジット、自動融資とクレジットとの併用等がある。「商品明細格納アドレス」は、対応する商品明細情報が格納されているアドレスである。「取扱い会社」は、資格支援講座を開講する会社の名称である。

【 0 0 6 4 】

図 1 6 は、旅行企画情報格納部の内容の一例を示す図である。旅行企画情報格納部 1 6 0 には、企画提案情報管理 DB 1 6 1、企画提案明細情報管理 DB 1 6 2、および旅行企画提案紹介情報マスタ DB 1 6 3 が格納されている。企画提案情報管理 DB 1 6 1 には、提案された企画の主要事項が格納されている。企画提案明細情報管理 DB 1 6 2 には、提案された企画の詳細な情報が格納されている。旅行企画提案紹介情報マスタ DB 1 6 3 には、旅行企画案を第 3 者に紹介するための各種案内情報が格納されている。

【 0 0 6 5 】

図 1 7 は、企画提案情報管理 DB に格納されているレコードの一例を示す図である。企画提案情報管理 DB 1 6 1 には、「管理番号」、「登録年月日」、「更新年月日」、「登録数」、「商品カテゴリ」、「旅行タイプ」、「商品名称」、「販売価格」、「所要日数」、「開始時期」、「募集受付可能数」、「支払条件」、「企画提案格納アドレス」等の各情報が登録されている。

【 0 0 6 6 】

「管理番号」は、企画提案情報に付与された識別子である。「登録年月日」は、企画提案情報が登録された日付である。「更新年月日」は、企画提案情報の内容が変更された日付である。「登録数」は、企画提案に基づいて販売された旅行商品の契約数である。「商品カテゴリ」は、企画提案された商品の種別（大分類）である。「旅行タイプ」は、企画提案された商品の詳細分類（小分類）である。「商品名称」は、企画提案された商品の名称である。「販売価格」は、企画提案された商品の販売価格である。「所要日数」は、企画提案された旅行商品の所要日数である。「開始時期」は、企画提案された旅行商品の出発日である。「募集受付可能数」は、企画提案された商品の募集受付可能な人数である。「支払条件」は、企画提案された商品の支払条件である。たとえば、「支払い条件」には、自動融資、立替え払い、クレジット、自動融資とクレジットとの併用等のデータが登録される。「企画提案格納アドレス」は、企画提案の詳細情報が格納されているアドレスである。

【 0 0 6 7 】

以上の様な各種データが格納されたサービス提供支援装置 1 0 0 において、以下のような処理が行われる。

図 1 8 は、本実施の形態に係るサービス提供支援装置の処理手順を示すフローチャートである。以下に、図 1 8 に示す処理をステップ番号に沿って説明する。なお、以下の処理は、端末装置 4 0 からサービス提供支援装置 1 0 0 に対して、ホームページの処理要求が出された際に実行される処理である。

【 0 0 6 8 】

〔ステップ S 1 1〕 サービス提供支援装置 1 0 0 の通信制御部 1 1 0 は、イニシャル処理とホームページ出力とを行う。イニシャル処理とは、たとえば、ホームページ処理要求を出力した端末装置 4 0 に対して、その端末装置 4 0 を識別するためのクッキーを送出する等の処理である。また、ここでいうホームページとは、複数の画面やデータで構成される W e b サイト内の代表画面データのことである。

【 0 0 6 9 】

〔ステップ S 1 2〕 通信制御部 1 1 0 は、ホームページに対する端末装置 4 0

からの応答内容に基づいて、その端末装置 4 0 の利用者が会員か否かを判断する。会員であれば処理がステップ S 1 4 に進められ、会員でなければ処理がステップ S 1 3 に進められる。

【0 0 7 0】

〔ステップ S 1 3〕 会員加入処理部 1 1 1 が、端末装置 4 0 との間で通信を行い会員登録処理を行い、処理が終了する。なお、会員登録処理の詳細は後述する。

【0 0 7 1】

〔ステップ S 1 4〕 通信制御部 1 1 0 は、端末装置 4 0 に対してサービスメニュー選択画面を出力する。

〔ステップ S 1 5〕 通信制御部 1 1 0 は、メニュー選択画面に対する端末装置 4 0 からの処理要求の有無を判断する。処理要求があれば、処理がステップ S 1 7 に進められる。処理要求がなければ処理がステップ S 1 6 に進められる。

【0 0 7 2】

〔ステップ S 1 6〕 通信制御部 1 1 0 は、端末装置 4 0 からの処理要求が送られてくるのを待つ。

〔ステップ S 1 7〕 通信制御部 1 1 0 は、端末装置 4 0 からの処理要求を受信する。

【0 0 7 3】

〔ステップ S 1 8〕 通信制御部 1 1 0 は、端末装置 4 0 からの処理要求が、処理の終了要求か否かを判断する。処理の終了要求であれば、処理が終了される。処理の終了要求でなければ、処理がステップ S 1 9 に進められる。

【0 0 7 4】

〔ステップ S 1 9〕 通信制御部 1 1 0 は、端末装置 4 0 からの処理要求の種類を判断し、他の処理機能部に対する処理要求の振り分け処理を行う。たとえば、端末装置 4 0 からの処理要求が有償サービス申込の処理要求であれば、その処理要求が有償サービス提供処理部 1 1 2 に渡され、処理がステップ S 2 0 に進められる。端末装置 4 0 からの処理要求が契約社員登録の処理要求であれば、その処理要求が契約社員支援処理部 1 1 3 に渡され、処理がステップ S 2 1 に進められ

る。端末装置 4 0 からの処理要求が資格取得講座への申込の処理要求であれば、その処理要求が資格取得支援処理部 1 1 4 に渡され、処理がステップ S 2 2 に進められる。端末装置 4 0 からの処理要求が旅行企画提案登録の処理要求であれば、その処理要求が旅行企画提案処理部 1 1 5 に渡され、処理がステップ S 2 3 に進められる。

【 0 0 7 5 】

〔ステップ S 2 0〕有償サービス提供処理部 1 1 2 は、端末装置 4 0 から送られた処理要求に従って、有償サービス提供処理を行う。その後、処理がステップ S 1 5 に進められる。なお、有償サービス提供処理の詳細は後述する。

【 0 0 7 6 】

〔ステップ S 2 1〕契約社員支援処理部 1 1 3 は、端末装置 4 0 から送られた処理要求に従って、契約社員登録支援処理を行う。その後、処理がステップ S 1 5 に進められる。

【 0 0 7 7 】

〔ステップ S 2 2〕資格取得支援処理部 1 1 4 は、端末装置 4 0 から送られた処理要求に従って、資格取得支援処理を行う。その後、処理がステップ S 1 5 に進められる。

【 0 0 7 8 】

〔ステップ S 2 3〕旅行企画提案処理部 1 1 5 は、端末装置 4 0 から送られた処理要求に従って、旅行企画提案処理を行う。その後、処理がステップ S 1 5 に進められる。

【 0 0 7 9 】

以上の様にして、端末装置 4 0 から受信した処理要求の種類で情報が振り分けられ、対応する処理が実行される。なお、端末装置 4 0 の利用者は、サービス提供支援装置 1 0 0 から送られる画面データに基づいて端末装置 4 0 に表示される画面内で所定の入力を行うことで、所望の処理要求をサービス提供支援装置 1 0 0 へ送信することができる。

【 0 0 8 0 】

図 1 9 は、端末装置に表示される画面の遷移例を示す模式図である。なお、図

19に示した画面遷移は、主な操作入力に応じた画面遷移例であり、利用者の操作入力に応じて他の画面に遷移する場合もある。

【0081】

端末装置40からサービス提供支援装置100への最初のアクセスでは、ホームページ画面200が端末装置40に表示される。

ホームページ画面200が表示されている状態で、端末装置40に対して会員登録のための操作入力が行われると、端末装置40には商品内容紹介画面310が表示される。商品内容紹介画面310で所定の入力が行われると、端末装置40には契約申込画面320が表示される。契約申込画面320で所定の入力が行われると、端末装置40には加入受付結果画面330が表示される。

【0082】

ホームページ画面200が表示されている状態で、端末装置40に対して、会員の認証情報が入力されると、端末装置40にはサービスメニュー選択画面210が表示される。サービスメニュー選択画面210においてサービスメニューが選択されると、選択されたサービスメニューに応じた画面が端末装置40に表示される。具体的には、サービスメニュー選択画面210において有償サービスのサービスメニューが選択されると、端末装置40にはライフ商品案内画面410が表示される。サービスメニュー選択画面210において資格取得支援のサービスメニューが選択されると、端末装置40には資格取得支援メニュー選択画面510が表示される。サービスメニュー選択画面210において契約社員支援のサービスメニューが選択されると、端末装置40には契約社員メニュー選択画面610が表示される。サービスメニュー選択画面210において旅行企画提案のサービスメニューが選択されると、端末装置40には企画提案案内画面710が表示される。

【0083】

ライフ商品案内画面410において所定の入力が行われると、端末装置40には注文入力画面420が表示される。注文入力画面420において所定の入力が行われると、端末装置40には注文内容確認画面430が表示される。注文内容確認画面430において所定の入力が行われると、端末装置40には注文受付結

果画面 4 4 0 が表示される。

【 0 0 8 4 】

資格取得支援メニュー選択画面 5 1 0 において所定の入力が行われると、端末装置 4 0 には予約内容確認実行画面 5 2 0 が表示される。なお、本実施の形態では、予約内容確認実行画面 5 2 0 は、処理内容に応じた複数の画面で構成される。予約内容確認実行画面 5 2 0 において所定の入力が行われると、端末装置 4 0 には注文受付結果画面 5 3 0 が表示される。

【 0 0 8 5 】

契約社員メニュー選択画面 6 1 0 において所定の入力が行われると、端末装置 4 0 には加入成約登録入力画面 6 2 0 が表示される。加入成約登録入力画面 6 2 0 において所定の入力が行われると、端末装置 4 0 には加入成約登録確認画面 6 3 0 が表示される。加入成約登録確認画面 6 3 0 において所定の入力が行われると、端末装置 4 0 には加入成約受付結果画面 6 4 0 が表示される。

【 0 0 8 6 】

企画提案案内画面 7 1 0 において所定の入力が行われると、端末装置 4 0 には企画提案内容登録画面 7 2 0 が表示される。企画提案内容登録画面 7 2 0 において所定の入力が行われると、端末装置 4 0 には企画提案内容確認画面 7 3 0 が表示される。企画提案内容確認画面 7 3 0 において確認したことを示す操作入力が行われると、端末装置 4 0 には企画提案受付結果画面 7 4 0 が表示される。

【 0 0 8 7 】

以上の様な画面遷移を追いながら、個別の処理機能による処理内容について説明する。

図 2 0 は、ホームページ画面の一例を示す図である。ホームページ画面 2 0 0 には、タイトル表示部 2 0 1、サービス案内表示部 2 0 2、会員 I D 入力部 2 0 3、パスワード入力部 2 0 4、OK ボタン 2 0 5、および NG ボタン 2 0 6 が設けられている。

【 0 0 8 8 】

タイトル表示部 2 0 1 には、ホームページ画面 2 0 0 のタイトルが表示される。図 2 0 の例では、「ライフサービスサイト」というタイトルが表示されている。

サービス案内表示部 2 0 2 には、非会員のためのサービス案内メッセージが表示されている。また、サービス案内表示部 2 0 2 は、会員登録処理要求に対応付けられている。サービス案内表示部 2 0 2 が押されると、会員登録の処理要求がサービス提供支援装置 1 0 0 に送信される。

【0089】

会員 ID 入力部 2 0 3 は、会員に与えられた識別子（会員 ID）を入力するための入力領域である。パスワード入力部 2 0 4 は、会員 ID に対応するパスワードを入力するための入力領域である。OK ボタン 2 0 5 は、会員 ID とパスワードとの入力完了後に押すべきボタンである。OK ボタン 2 0 5 が押されると、会員 ID 入力部 2 0 3 に入力された会員 ID とパスワード入力部 2 0 4 に入力されたパスワードとの組が、認証情報としてサービス提供支援装置 1 0 0 に送信される。NG ボタン 2 0 6 は、会員 ID とパスワードとの入力を取りやめる際に押すべきボタンである。NG ボタン 2 0 6 が押されると、会員 ID 入力部 2 0 3 に入力された会員 ID とパスワード入力部 2 0 4 に入力されたパスワードとが取り消される。

【0090】

次に、会員登録処理について説明する。新規加入処理は、図 2 0 に示すホームページ画面 2 0 0 においてサービス案内表示部 2 0 2 が選択された際に、実行される。

【0091】

図 2 1 は、会員登録処理の詳細を示すフローチャートである。以下に、図 2 1 に示す処理をステップ番号に沿って説明する。

〔ステップ S 3 1〕 会員加入処理部 1 1 1 は、端末装置 4 0 から送られてくる会員登録の処理要求に応答して、商品内容紹介画面 3 1 0 を編集し、その商品内容紹介画面 3 1 0 を端末装置 4 0 へ送信する。また、会員加入処理部 1 1 1 は、端末装置 4 0 からの商品内容紹介画面 3 1 0 に対するメニュー選択入力に応じた処理要求を受け取る。

【0092】

〔ステップ S 3 2〕 会員加入処理部 1 1 1 は、端末装置 4 0 から送られた処理

要求が、会員への加入の処理要求か否かを判断する。加入の処理要求であれば処理がステップ S 3 3 に進められ、加入の処理要求でなければ会員登録処理が終了し、同時に図 1 8 に示したサービス提供支援処理も終了する。

【 0 0 9 3 】

〔ステップ S 3 3〕 会員加入処理部 1 1 1 は、サービス加入契約受付処理を実行する。具体的には、会員加入処理部 1 1 1 は、契約申込画面 3 2 0 を編集する。会員加入処理部 1 1 1 は、編集された契約申込画面 3 2 0 を端末装置 4 0 に送信し、申込実行の処理要求の受信を待つ。

【 0 0 9 4 】

〔ステップ S 3 4〕 会員加入処理部 1 1 1 は、加入受付実行処理を行う。具体的には、会員加入処理部 1 1 1 は、加入契約情報を会員加入情報格納部 1 2 0 に登録する。また、会員加入処理部 1 1 1 は、加入受付結果画面 3 3 0 を編集し、その加入受付結果画面 3 3 0 を端末装置 4 0 に送信する。その後、会員登録処理が終了し、同時に図 1 8 に示したサービス提供支援処理も終了する。

【 0 0 9 5 】

図 2 2 は、商品内容紹介画面の一例を示す図である。商品内容紹介画面 3 1 0 には、タイトル表示部 3 1 1、性別入力部 3 1 2、年齢指定部 3 1 3、契約コース選択部 3 1 4、商品説明参照ボタン 3 1 5、ホームページボタン 3 1 6 および選択ボタン 3 1 7 が設けられている。

【 0 0 9 6 】

タイトル表示部 3 1 1 には、商品内容紹介画面 3 1 0 のタイトルが表示される。図 2 2 の例では、「ライフサービス商品のご案内」というタイトルが表示されている。性別入力部 3 1 2 には、各性別に対応するチェックボックスが設けられており、加入者の性別に対応するチェックボックスが指定される。年齢指定部 3 1 3 は、年齢を指定するための入力項目である。年齢指定部 3 1 3 にはボタンが設けられており、そのボタンが押されると、年代リストのメニューが表示される。加入者は、そのリストの中から自己の年齢に応じた年代を選択することで、自己の概略の年齢を入力することができる。

【 0 0 9 7 】

契約コース選択部 3 1 4 には、契約コース毎のチェックボックスが設けられている。加入者は、加入を希望する契約コースに対応するチェックボックスを選択する。なお、各契約コースには、商品説明参照ボタン 3 1 5 が設けられている。商品説明参照ボタン 3 1 5 は、契約コースの詳細な内容を端末装置 4 0 の画面に表示させる際に押されるボタンである。商品説明参照ボタン 3 1 5 が押されると、対応する契約コースの詳細を示す商品説明画面が端末装置 4 0 に表示される。

【 0 0 9 8 】

ホームページボタン 3 1 6 は、ホームページ画面 2 0 0 を表示させるときに押すべきボタンである。ホームページボタン 3 1 6 が押されると、図 2 0 に示したホームページ画面 2 0 0 が端末装置 4 0 に表示される。選択ボタン 3 1 7 は、商品内容紹介画面 3 1 0 に設定されている内容により契約を行う場合に押すべきボタンである。選択ボタン 3 1 7 が押されると、商品内容紹介画面 3 1 0 に設定されている内容による契約締結の処理要求が、サービス提供支援装置 1 0 0 に送信される。

【 0 0 9 9 】

図 2 2 の商品内容紹介画面 3 1 0 において選択ボタン 3 1 7 が押されると、端末装置 4 0 には、契約申込画面 3 2 0 が表示される。

図 2 3 は、契約申込画面の一例を示す図である。契約申込画面 3 2 0 には、タイトル表示部 3 2 1、個人情報入力部 3 2 2、契約内容表示部 3 2 3、商品選択ボタン 3 2 4、および実行ボタン 3 2 5 が設けられている。

【 0 1 0 0 】

タイトル表示部 3 2 1 には、契約申込画面 3 2 0 のタイトルが表示される。図 2 3 の例では、「加入申込コーナー」というタイトルが表示されている。個人情報入力部 3 2 2 には、加入者の個人情報を入力するための各種入力項目が設けられている。入力項目は、漢字による氏名、ローマ字による氏名、性別、婚姻の有無、生年月日、家族情報（世帯の人数）、自宅の郵便番号、および自宅の住所である。契約内容表示部 3 2 3 には、図 2 2 に示した商品内容紹介画面 3 1 0 において選択された情報に基づく契約内容（一時払い保険金等）が表示される。

【 0 1 0 1 】

商品選択ボタン 3 2 4 は、商品選択をやり直す際に押すべきボタンである。商品選択ボタン 3 2 4 が押されると、個人情報入力部 3 2 2 に入力された内容は破棄され、端末装置 4 0 の画面には商品内容紹介画面 3 1 0 が表示される。実行ボタン 3 2 5 は、個人情報入力部 3 2 2 への入力内容と、契約内容表示部 3 2 3 に表示されている内容で加入申込を行う際に押すべきボタンである。実行ボタン 3 2 5 が押されると、個人情報入力部 3 2 2 に入力された個人情報と共に、加入手続きの処理要求がサービス提供支援装置 1 0 0 に送信される。

【 0 1 0 2 】

図 2 3 の契約申込画面 3 2 0 において実行ボタン 3 2 5 が押されると、端末装置 4 0 には、加入受付結果画面 3 3 0 が表示される。

図 2 4 は、加入受付結果画面の一例を示す図である。加入受付結果画面 3 3 0 には、タイトル表示部 3 3 1、契約内容表示部 3 3 2、およびホームページボタン 3 3 3 が設けられている。

【 0 1 0 3 】

タイトル表示部 3 3 1 には、加入受付結果画面 3 3 0 のタイトルが表示される。図 2 4 の例では、「加入受付結果」というタイトルが表示されている。契約内容表示部 3 3 2 には、申し込まれた契約の内容が表示される。ホームページボタン 3 3 3 は、ホームページ画面 2 0 0 に画面を移行させるためのボタンである。ホームページボタン 3 3 3 が押されると、端末装置 4 0 にはホームページ画面 2 0 0 が表示される。

【 0 1 0 4 】

以上の様に、端末装置 4 0 の利用者は、商品内容紹介画面 3 1 0 と契約申込画面 3 2 0 との所定項目を入力することで、ライフサービスが付帯した保険への加入申込を行うことができる。そして、利用者は、加入受付結果画面 3 3 0 を見ることで、契約内容を確認することができる。

【 0 1 0 5 】

加入申込が完了すると、たとえば、サービスサイト運営者から加入者へ、加入したサービスの正式契約を結ぶための書類一式が郵送される。その書類には、正式な契約を交わすための契約書類が含まれている。また、郵送される書類には、

一時払い保険料の振込先の銀行口座、オンラインでのサービス提供支援を受けるための会員 I D、およびそのパスワードが記載されている。

【 0 1 0 6 】

端末装置 4 0 の利用者は、たとえば、契約書類の所定の項目に記入し、その契約書類をサービスサイト運営者に返送する。そして、一時払い保険料を指定口座に振り込む。これにより、利用者が正式な会員となることができる。一時払い保険料の振り込み等が完了するまでは、サービス提供支援装置 1 0 0 内においては、仮会員として登録されている。

【 0 1 0 7 】

会員となった利用者は、契約した保険商品に付帯するライフサービスの提供を受けることが可能となる。ライフサービスを受けるには、利用者は、端末装置 4 0 を用いてサービス提供支援装置 1 0 0 にアクセスし、ホームページ画面 2 0 0 を端末装置 4 0 に表示させる。利用者は、図 2 0 に示したようなホームページ画面 2 0 0 の会員 I D 入力部 2 0 3 に自己の会員 I D を入力し、パスワード入力部 2 0 4 に自己の会員 I D に対応するパスワードを入力する。そして、利用者は、端末装置 4 0 において、OK ボタン 2 0 5 を押す。これにより、端末装置 4 0 からサービス提供支援装置 1 0 0 に対して、会員 I D とパスワードとの組からなる認証情報が送信される。サービス提供支援装置 1 0 0 では、認証情報に基づいて会員の認証が行われる。認証が正しく行われた場合には、サービス提供支援装置 1 0 0 から端末装置 4 0 へ、サービスメニュー選択画面 2 1 0 が送信され、端末装置 4 0 にサービスメニュー選択画面 2 1 0 が表示される。

【 0 1 0 8 】

図 2 5 は、サービスメニュー選択画面の一例を示す図である。サービスメニュー選択画面 2 1 0 には、タイトル表示部 2 1 1、サービスメニュー選択部 2 1 2、ホームページボタン 2 1 3、および選択ボタン 2 1 4 が設けられている。

【 0 1 0 9 】

タイトル表示部 2 1 1 には、サービスメニュー選択画面 2 1 0 のタイトルが表示される。図 2 5 の例では、タイトル表示部 2 1 1 に「ライフサービスのご案内」というタイトルが表示されている。サービスメニュー選択部 2 1 2 には、各サ

ービスに対応付けて、チェックボックスが設けられている。会員となった利用者は、利用するサービスに対応するチェックボックスを選択し、そのチェックボックスにマーク（選択したことを示す記号）を表示させる。

【 0 1 1 0 】

ホームページボタン 2 1 3 は、ライフサービスの提供を受けずにホームページ画面 2 0 0 に戻る際に押すべきボタンである。ホームページボタン 2 1 3 が押されると、端末装置 4 0 にはホームページ画面 2 0 0 が表示される。選択ボタン 2 1 4 は、サービスの提供を受ける際に押すべきボタンである。選択ボタン 2 1 4 が押されると、サービスメニュー選択部 2 1 2 で選択したサービスに関するサービス提供処理要求が、端末装置 4 0 からサービス提供支援装置 1 0 0 に送信される。

【 0 1 1 1 】

サービス提供支援装置 1 0 0 は、サービス提供処理要求に応答して、その処理要求で指定されたサービスに対応するサービス提供処理を実行する。

図 2 6 は、有償サービス提供処理の処理手順を示すフローチャートである。以下、図 2 6 に示す処理をステップ番号に沿って説明する。

【 0 1 1 2 】

〔ステップ S 4 1〕有償サービス提供処理部 1 1 2 は、会員 ID によって特定される顧客の会員情報を会員情報 DB 1 2 5 から読み込み、RAM 等の記憶装置に保存する。

【 0 1 1 3 】

〔ステップ S 4 2〕有償サービス提供処理部 1 1 2 は、ライフ商品案内処理を行う。具体的には、有償サービス提供処理部 1 1 2 は、まず、旅行商品情報を旅行商品情報 DB 1 3 1 から読み込む。次に、有償サービス提供処理部 1 1 2 は、ライフ商品案内画面 4 1 0 と注文入力画面 4 2 0 とを編集する。有償サービス提供処理部 1 1 2 は、編集されたライフ商品案内画面 4 1 0 と注文入力画面 4 2 0 とを順次端末装置 4 0 に送信し、端末装置 4 0 からの商品選択入力を待つ。

【 0 1 1 4 】

〔ステップ S 4 3〕端末装置 4 0 において商品選択が行われると、有償サービ

ス提供処理部 1 1 2 は、商品選択受付処理を行う。具体的には、有償サービス提供処理部 1 1 2 は、与信チェック処理、当該会員の立替可能限度額算出処理、当該選択商品の価格と立替限度額との比較処理を行う。

【 0 1 1 5 】

〔ステップ S 4 4〕有償サービス提供処理部 1 1 2 は、選択された商品の価格と立替限度額との比較の結果、立替限度額が不足しているか否かを判断する。立替限度額が不足している場合には、処理がステップ S 4 5 に進められる。立替限度額が不足していない場合には、処理がステップ S 4 6 に進められる。

【 0 1 1 6 】

〔ステップ S 4 5〕有償サービス提供処理部 1 1 2 は、エラー処理を実行し、有償サービス提供処理を終了する。その後、処理は図 1 8 に示すステップ S 1 5 に進められる。

【 0 1 1 7 】

〔ステップ S 4 6〕有償サービス提供処理部 1 1 2 は、購入注文確認入力処理を行う。具体的には、有償サービス提供処理部 1 1 2 は、まず、注文内容確認画面 4 3 0 を編集する。さらに、有償サービス提供処理部 1 1 2 は、編集された注文内容確認画面 4 3 0 を端末装置 4 0 へ送信する。そして、有償サービス提供処理部 1 1 2 は、端末装置 4 0 からの購入実行処理要求の受信を待つ。

【 0 1 1 8 】

〔ステップ S 4 7〕端末装置 4 0 から購入実行処理要求が送られてくると、有償サービス提供処理部 1 1 2 は、その処理要求が申込要求か否かを判断する。申込要求であれば処理がステップ S 4 8 に進められ、申込要求でなければ有償サービス提供処理が終了し、図 1 8 に示すステップ S 1 5 に処理が進められる。

【 0 1 1 9 】

〔ステップ S 4 8〕有償サービス提供処理部 1 1 2 は、支払い条件を判定し、購入注文実行処理を行う。具体的には、有償サービス提供処理部 1 1 2 は、まず、購入注文取引データを作成し、取引注文 DB 1 3 2 に格納する。次に、有償サービス提供処理部 1 1 2 は、会員情報 DB 1 2 5 を更新する。さらに、有償サービス提供処理部 1 1 2 は、注文受付結果画面 4 4 0 を編集する。そして、有償サ

ービス提供処理部 1 1 2 は、編集された注文受付結果画面 4 4 0 を端末装置 4 0 に送信する。その後、有償サービス提供処理が終了し、処理は図 1 8 に示すステップ S 1 5 に進められる。

【0 1 2 0】

このようにして、有償サービス提供処理が実行され、顧客である会員のサービスに対する代金の支払が、サービスサイト運営事業者によって立て替えて支払われる。なお、端末装置 4 0 の利用者は、サービス提供支援装置 1 0 0 から送られる画面データに基づいて端末装置 4 0 に表示される画面内で所定の入力を行うことで、有償サービスの購入注文を出すことができる。以下に、有償サービスの購入注文の際の端末装置 4 0 の画面例について説明する。

【0 1 2 1】

図 2 7 は、ライフ商品案内画面の一例を示す図である。ライフ商品案内画面 4 1 0 には、タイトル表示部 4 1 1、販売商品表示部 4 1 2、ホームページボタン 4 1 3、および選択ボタン 4 1 4 が設けられている。

【0 1 2 2】

タイトル表示部 4 1 1 には、ライフ商品案内画面 4 1 0 のタイトルが表示される。図 2 7 の例では、「有償サービス利用コーナー」と表示されている。販売商品表示部 4 1 2 には、販売している商品の内容が表示されている。たとえば、商品の名称、販売価格、実施時期等が表示されている。また、販売商品表示部 4 1 2 には、サービスサイト運営事業者が推奨する商品に対して、「推奨」の文字が表示されている。販売商品表示部 4 1 2 の各商品には、選択チェックボックスが設けられている。端末装置 4 0 の利用者は、購入を希望する商品のチェックボックスを選択する。すると、選択されたチェックボックスに選択マークが表示される。

【0 1 2 3】

ホームページボタン 4 1 3 は、有償サービスの注文を行わずにホームページに戻るためのボタンである。ホームページボタン 4 1 3 が押されると、有償サービスは注文されずに、端末装置 4 0 にはホームページ画面 2 0 0 が表示される。選択ボタン 4 1 4 は、選択した商品の注文入力画面の取得要求を出す際に押すべき

ボタンである。選択ボタン414が押されると、販売商品表示部412のチェックボックスに選択マークが表示されている商品の選択が確定し、その商品の注文入力画面420の取得要求がサービス提供支援装置100に送信される。

【0124】

ライフ商品案内画面410で選択ボタン414が押され、商品が選択されると、端末装置40には注文入力画面420が表示される。

図28は、注文入力画面の一例を示す図である。この例は、旅行商品を購入する際の注文入力画面の例である。注文入力画面420には、タイトル表示部421、商品内容表示部422、出発希望日入力部423、支払方法選択部424および実行ボタン425が設けられている。

【0125】

タイトル表示部421には、注文入力画面420のタイトルが表示される。図28の例では、タイトル表示部421に「購入注文コーナー」というタイトルが表示されている。商品内容表示部422には、選択された商品の商品名、価格、出発日、宿泊日数、および立替可能額が表示されている。出発希望日入力部423は、購入者が任意の出発希望日を指定するためのデータ入力部である。

【0126】

支払方法選択部424には、商品の購入代金の支払方法の選択肢が表示されている。図28の例では、「立て替え払い（後日、振込支払）」、「立て替え払い（後日、契約者貸付融資支払）」、「立て替え払い（後日、支払方法を選択）」が表示されている。各支払方法の選択肢には、チェックボックスが設けられている。商品を購入する利用者は、任意の支払方法のチェックボックスを指定し、そのチェックボックスに選択マークを表示させる。実行ボタン425は、注文内容を確定し、商品の注文を出す際に押すべきボタンである。実行ボタン425が押されると、出発希望日や支払方法が確定し、確定した内容の注文に応じた処理要求がサービス提供支援装置100に送信される。

【0127】

注文入力画面420において実行ボタン425が押されると、端末装置40の画面には、注文内容確認画面430が表示される。

図 2 9 は、注文内容確認画面の一例を示す図である。注文内容確認画面 4 3 0 には、タイトル表示部 4 3 1、商品内容表示部 4 3 2、支払い条件表示部 4 3 3、実行ボタン 4 3 4、および取消ボタン 4 3 5 が設けられている。

【 0 1 2 8 】

タイトル表示部 4 3 1 には、注文内容確認画面 4 3 0 のタイトルが表示される。図 2 9 の例では、タイトル表示部 4 3 1 に「購入注文コーナー」というタイトルが表示されている。商品内容表示部 4 3 2 には、注文した商品の内容が表示される。図 2 9 の例では、商品内容表示部 4 3 2 に、商品名、価格、出発時期、宿泊日数が表示されている。支払い条件表示部 4 3 3 には、商品購入時の支払条件が表示される。図 2 9 の例では、支払方法と立替え支払利用額とが表示されている。実行ボタン 4 3 4 は、注文を決定する場合に押すべきボタンである。実行ボタンが押されると、注文内容確認画面 4 3 0 に表示されている内容の注文処理要求がサービス提供支援装置 1 0 0 に送信される。取消ボタン 4 3 5 は、商品の注文を取り消す際に押すべきボタンである。取消ボタン 4 3 5 が押されると、注文内容確認画面 4 3 0 に表示されている内容の注文は取り消される。

【 0 1 2 9 】

注文内容確認画面 4 3 0 において実行ボタン 4 3 4 が押されると、端末装置 4 0 には注文受付結果画面 4 4 0 が表示される。

図 3 0 は、注文受付結果画面の一例を示す図である。注文受付結果画面 4 4 0 には、タイトル表示部 4 4 1、注文受付結果表示部 4 4 2、およびメニュー選択ボタン 4 4 3 が設けられている。

【 0 1 3 0 】

タイトル表示部 4 4 1 には、注文受付結果画面 4 4 0 のタイトルが表示される。図 3 0 の例では、タイトル表示部 4 4 1 に「注文受付結果」というタイトルが表示されている。注文受付結果表示部 4 4 2 には、注文の内容が表示される。図 3 0 の例では、注文受付結果表示部 4 4 2 に、顧客氏名、顧客番号、受付コード、予約商品、価格、支払い方法、および出発予定日が表示されている。メニュー選択ボタン 4 4 3 は、メニュー画面に移行する際に押すべきボタンである。メニュー選択ボタン 4 4 3 が押されると、端末装置 4 0 にはサービスメニュー選択画

面 2 1 0 が表示される。

【 0 1 3 1 】

以上の様にして、利用者は、有償サービスの注文を出すことができる。しかも、サービスの代金は、サービスサイト運営事業者に立て替えさせることができる。

【 0 1 3 2 】

次に、資格取得支援処理について説明する。サービス提供支援装置 1 0 0 は、端末装置 4 0 からの資格取得支援処理要求に応答して、資格取得支援処理を実行する。

【 0 1 3 3 】

図 3 1 は、資格取得支援処理の手順を示すフローチャートの前半である。以下に、図 3 1 に示す処理をステップ番号に沿って説明する。

〔ステップ S 5 1〕 資格取得支援処理部 1 1 4 は、まずイニシャル処理を行う。次に、資格取得支援処理部 1 1 4 は、資格取得支援メニュー選択画面を編集する。そして、資格取得支援処理部 1 1 4 は、資格取得支援メニュー選択画面を端末装置 4 0 に送信し、端末装置 4 0 からの選択情報を受信するのを待つ。

【 0 1 3 4 】

〔ステップ S 5 2〕 資格取得支援処理部 1 1 4 は、端末装置 4 0 からの選択情報を受信すると、選択情報を送信した端末装置 4 0 の利用者がパートナー会員か否かを判断する。パートナー会員であれば処理がステップ S 5 7（図 3 2 に示す）に進められる。パートナー会員でなければ処理がステップ S 5 3 に進められる。

【 0 1 3 5 】

〔ステップ S 5 3〕 資格取得支援処理部 1 1 4 は、S O H O パートナー案内誘導処理を行う。

〔ステップ S 5 4〕 資格取得支援処理部 1 1 4 は、端末装置 4 0 からの応答によって、利用者がパートナー会員の登録を希望しているか否かを判断する。パートナー会員の登録を希望していれば処理がステップ S 5 5 に進められる。パートナー会員の登録を希望していなければ資格取得支援処理が終了し、処理が図 1 8

のステップ S 1 5 に進められる。

【0136】

〔ステップ S 5 5〕資格取得支援処理部 1 1 4 は、SOHO パートナー登録処理を行う。

〔ステップ S 5 6〕資格取得支援処理部 1 1 4 は、端末装置 4 0 からの応答内容に応じて、利用者が資格を有しているか否かを判断する。資格を有していれば処理がステップ S 6 4（図 3 2 に示す）に進められ、資格を有していなければ処理がステップ S 5 8（図 3 2 に示す）に進められる。

【0137】

図 3 2 は、資格取得支援処理の手順を示すフローチャートの後半である。以下に、図 3 2 に示す処理をステップ番号に沿って説明する。

〔ステップ S 5 7〕資格取得支援処理部 1 1 4 は、資格取得支援メニュー選択画面による選択内容を判断する。資格取得講座が選択されていれば、処理がステップ S 5 8 に進められる。資格取得完了登録が選択されていれば、処理がステップ S 6 1 に進められる。契約社員希望が選択されていれば、処理がステップ S 6 4 に進められる。

【0138】

〔ステップ S 5 8〕資格取得支援処理部 1 1 4 は、資格取得講座案内処理を行う。具体的には、資格取得支援処理部 1 1 4 は、まず、資格取得講座申込画面を編集する。次に、資格取得支援処理部 1 1 4 は、資格取得講座申込画面を端末装置 4 0 に送信する。そして、資格取得支援処理部 1 1 4 は、端末装置 4 0 からメニュー選択入力に応じた情報が送られるのを待つ。

【0139】

〔ステップ S 5 9〕端末装置 4 0 から資格取得講座申込画面に対して入力された情報が送られてくると、資格取得支援処理部 1 1 4 は、資格取得講座確認処理を行う。具体的には、資格取得支援処理部 1 1 4 は、まず、講座受講資格チェック処理を行う。次に、資格取得支援処理部 1 1 4 は、注文確認画面を編集する。そして、資格取得支援処理部 1 1 4 は、注文確認画面を端末装置 4 0 に送信し、端末装置 4 0 からの申込実行入力情報を受信するまで待つ。

【0140】

〔ステップS60〕端末装置40からの申込実行入力情報を受信すると、資格取得支援処理部114は、講座申込受付実行処理を行う。具体的には、資格取得支援処理部114は、まず、注文情報を登録する。次に、資格取得支援処理部114は、注文受付結果画面を編集する。そして、資格取得支援処理部114は、注文受付結果画面を端末装置40に送信する。その後、処理が図18のステップS15に進められる。

【0141】

〔ステップS61〕資格取得支援処理部114は、資格取得完了登録処理を実行する。具体的には、資格取得支援処理部114は、まず、資格取得登録画面を編集する。次に、資格取得支援処理部114は、資格取得登録画面を端末装置40に送信する。そして、資格取得支援処理部114は、端末装置40からの資格登録入力情報の受信を待つ。

【0142】

〔ステップS62〕端末装置40からの資格登録入力情報を受信すると、資格取得支援処理部114は、資格登録内容確認処理を行う。具体的には、資格取得支援処理部114は、まず、登録内容確認画面を編集する。次に、資格取得支援処理部114は、登録内容確認画面を端末装置40に送信し、確認入力情報の受信を待つ。

【0143】

〔ステップS63〕確認入力の情報を受信すると、資格取得支援処理部114は、資格登録受付実行処理を行う。具体的には、資格取得支援処理部114は、まず、取得資格情報を登録する。次に、資格取得支援処理部114は、取得資格受付結果画面を編集する。そして、資格取得支援処理部114は、取得資格受付結果画面を端末装置40に送信する。その後、処理が図18のステップS15に進められる。

【0144】

〔ステップS64〕資格取得支援処理部114は、契約社員登録入力処理を行う。具体的には、資格取得支援処理部114は、まず、契約社員登録画面を編集

する。次に、資格取得支援処理部 114 は、契約社員登録画面を端末装置 40 に送信する。そして、資格取得支援処理部 114 は、登録データ入力情報を受信するのを待つ。

【0145】

〔ステップ S65〕登録データ入力情報を受信すると、資格取得支援処理部 114 は、契約社員登録確認処理を行う。具体的には、資格取得支援処理部 114 は、まず、登録内容確認画面を編集する。そして、資格取得支援処理部 114 は、登録内容確認画面を端末装置 40 に送信し、登録実行入力情報の受信を待つ。

【0146】

〔ステップ S66〕登録実行入力情報を受信すると、資格取得支援処理部 114 は、契約社員登録受付実行処理を行う。具体的には、資格取得支援処理部 114 は、まず、契約社員情報を登録する。次に、資格取得支援処理部 114 は、契約社員登録受付結果画面を編集する。そして、資格取得支援処理部 114 は、契約社員登録受付結果画面を端末装置 40 に送信する。その後、処理が図 18 のステップ S15 に進められる。

【0147】

このようにして、資格取得支援処理が実行され、資格を有していない会員に対して、資格取得の機会を与えることができる。なお、端末装置 40 の利用者は、サービス提供支援装置 100 から送られる画面データに基づいて端末装置 40 に表示される画面内で所定の入力を行うことで、資格取得支援を受けることができる。以下に、資格取得支援サービスを受ける際の端末装置 40 の画面例について説明する。

【0148】

図 33 は、資格取得支援メニュー選択画面の一例を示す図である。資格取得支援メニュー選択画面 510 には、タイトル表示部 511、未登録者用選択メニュー表示部 512、登録者用メニュー表示部 513、ホームページボタン 514 および選択ボタン 515 が設けられている。

【0149】

タイトル表示部 511 には、資格取得支援メニュー選択画面 510 のタイトル

が表示される。図 3 3 の例では、タイトル表示部 5 1 1 に「資格取得支援コーナー」というタイトルが表示されている。未登録者用選択メニュー表示部 5 1 2 は、SOHO パートナー登録をしていない利用者向けのメニューである。未登録者用選択メニュー表示部 5 1 2 には、SOHO パートナー登録の選択項目が表示されている。未登録者用選択メニュー表示部 5 1 2 では、選択項目にチェックボックスが対応付けられており、チェックボックスを指定することで、対応する項目を選択することができる。登録者用メニュー表示部 5 1 3 は、既に SOHO パートナー登録をしている利用者向けのメニューである。登録者用メニュー表示部 5 1 3 には、資格取得講座、資格取得完了登録、SOHO パートナー（契約社員希望者用）の各選択項目が設けられている。登録者用選択メニュー表示部 5 1 3 では、選択項目にチェックボックスが対応付けられており、チェックボックスを指定することで、対応する項目を選択することができる。

【0 1 5 0】

ホームページボタン 5 1 4 は、資格取得支援サービスの提供を受けない場合に押すべきボタンである。ホームページボタン 5 1 4 が押されると、端末装置 4 0 にはホームページ画面 2 0 0 が表示される。選択ボタン 5 1 5 は、未登録者用選択メニュー表示部 5 1 2 または登録者用メニュー表示部 5 1 3 で選択された項目をサービス提供支援装置 1 0 0 に通知するためのボタンである。選択ボタン 5 1 5 が押されると、未登録者用選択メニュー表示部 5 1 2 または登録者用メニュー表示部 5 1 3 の中の選択された項目の情報が、端末装置 4 0 からサービス提供支援装置 1 0 0 に送信される。

【0 1 5 1】

資格取得支援メニュー選択画面において選択ボタン 5 1 5 が押されると、選択項目に応じた画面が端末装置 4 0 に表示される。SOHO パートナー登録の項目が選択されていた場合には、端末装置 4 0 に SOHO パートナー登録画面 5 2 0 a が表示される。

【0 1 5 2】

図 3 4 は、SOHO パートナー登録画面の一例を示す図である。SOHO パートナー登録画面 5 2 0 a には、タイトル表示部 5 2 1 a、SOHO パートナー会

員登録選択部 522a、資格の有無選択部 523a、ホームページボタン 524a、および実行ボタン 525a が設けられている。

【0153】

タイトル表示部 521a には、SOHO パートナー登録画面 520a のタイトルが表示される。図 34 の例では、タイトル表示部 521a には「SOHO パートナー登録画面」というタイトルが表示されている。

【0154】

SOHO パートナー会員登録選択部 522a には、「YES」と「NO」との選択項目が設けられている。各選択項目にはチェックボックスが設けられている。利用者は、SOHO パートナー会員登録を希望する場合には「YES」に対応するチェックボックスを選択する。また、利用者は、SOHO パートナー会員登録を希望しない場合には「NO」に対応するチェックボックスを選択する。

【0155】

資格の有無選択部 523a は、「YES」と「NO」との選択項目が設けられている。各選択項目にはチェックボックスが設けられている。利用者は、既に保険販売代理等の資格を有している場合には「YES」に対応するチェックボックスを選択する。また、利用者は、保険販売代理等の資格を有していない場合には「NO」に対応するチェックボックスを選択する。

【0156】

ホームページボタン 524a は、SOHO パートナー登録を行わない場合に押すべきボタンである。ホームページボタン 524a が押されると、端末装置 40 にはホームページ画面 200 が表示される。実行ボタン 525a は、SOHO パートナー登録をする際に押すべきボタンである。実行ボタン 525a が押されると、SOHO パートナー登録画面 520a で指定した情報がサービス提供支援装置 100 に送信され、SOHO パートナー登録処理が行われる。

【0157】

SOHO パートナー登録画面 520a において、SOHO パートナー会員登録選択部 522a の「YES」が選択され、資格の有無選択部 523a の「NO」が選択された状態で、実行ボタン 525a が押されると、端末装置 40 の画面に

は、資格取得講座申込画面 520b が表示される。

【0158】

図 35 は、資格取得講座申込画面の一例を示す図である。資格取得講座申込画面 520b には、タイトル表示部 521b、受講コース選択部 522b、ホームページボタン 523b、および選択ボタン 524b が設けられている。

【0159】

タイトル表示部 521b には、資格取得講座申込画面 520b のタイトルが表示される。図 35 の例では、タイトル表示部 521b に「資格取得支援コーナー」というタイトルが表示されている。受講コース選択部 522b には、受講コースの選択項目が設けられている。図 35 の例では、「初級コース」、「普通コース」、および「上級コース」の各受講コースが設定されている。受講コース選択部 522b では、各受講コースに対応するチェックボックスが設けられており、利用者は希望する受講コースのチェックボックスを選択することで、受講コースを選択することができる。

【0160】

ホームページボタン 523b は、受講コースの受講を希望しない場合に押すべきボタンである。ホームページボタン 523b が押されると、端末装置 40 にはホームページ画面 200 が表示される。選択ボタン 524b は、いずれかの受講コースの受講を希望する場合に押すべきボタンである。選択ボタン 524b が押されると、受講コース選択部 522b での選択内容がサービス提供支援装置 100 に送信され、サービス提供支援装置 100 において、受講登録処理が行われる。

【0161】

資格取得講座申込画面 520b において選択ボタン 524b が押されると、端末装置 40 には注文確認画面 520c が表示される。

図 36 は、注文確認画面の一例を示す図である。注文確認画面 520c には、タイトル表示部 521c、受講コース表示部 522c、支払い条件表示部 523c、実行ボタン 524c、および取消ボタン 525c が設けられている。

【0162】

タイトル表示部 5 2 1 c には、注文確認画面 5 2 0 c のタイトルが表示される。図 3 6 の例では、タイトル表示部 5 2 1 c に「資格取得支援コーナー」というタイトルが表示されている。受講コース表示部 5 2 2 c には、選択されている受講コースの内容が表示される。図 3 6 の例では、講座名、価格、所要日数が表示されている。支払い条件表示部 5 2 3 c には、講座受講費用の支払条件が表示される。

【 0 1 6 3 】

実行ボタン 5 2 4 c は、注文確認画面 5 2 0 c に表示されている内容で講座に申し込む場合に押すべきボタンである。実行ボタン 5 2 4 c が押されると、端末装置 4 0 からサービス提供支援装置 1 0 0 に対して、講座受講申込の情報が送信される。取消ボタン 5 2 5 c は、講座の申込内容を変更する場合など、注文確認画面 5 2 0 c に表示されている内容で講座を申し込まない場合に押すべきボタンである。取消ボタン 5 2 5 c が押されると、講座受講の申込確認は行われずに、端末装置 4 0 の画面が他の画面（たとえば、資格取得講座申込画面 5 2 0 b）に移行する。

【 0 1 6 4 】

注文確認画面 5 2 0 c において実行ボタン 5 2 4 c が押されると、端末装置 4 0 には注文受付結果画面 5 3 0 が表示される。

図 3 7 は、注文受付結果画面の一例を示す図である。注文受付結果画面 5 3 0 には、タイトル表示部 5 3 1、注文内容表示部 5 3 2 およびホームページボタン 5 3 3 が設けられている。

【 0 1 6 5 】

タイトル表示部 5 3 1 には、注文受付結果画面 5 3 0 のタイトルが表示される。図 3 7 の例では、タイトル表示部 5 3 1 に「注文受付結果」というタイトルが表示されている。注文内容表示部 5 3 2 には、注文内容が表示される。図 3 7 の例では、注文内容表示部 5 3 2 に、顧客氏名、顧客番号、受付コード、受講コース、価格、所要日数、および支払い方法が表示されている。ホームページボタン 5 3 3 は、注文受付結果を確認後に押すべきボタンである。ホームページボタン 5 3 3 が押されると、端末装置 4 0 にはホームページ画面 2 0 0 が表示される。

【0166】

次に、資格取得登録処理における端末装置40の画面遷移について説明する。
図33に示した資格取得支援メニュー選択画面510の登録者用メニュー表示部513で資格取得完了登録が選択された状態で選択ボタン515が押されると、端末装置40に資格取得登録画面が表示される。なお、図19では、資格取得登録処理に関する画面遷移は省略されている。

【0167】

図38は、資格取得登録画面の一例を示す図である。資格取得登録画面520dには、タイトル表示部521d、受講講座内容表示部522d、取得資格対象会社指定部523d、取得資格種類指定部524d、取得年月日入力部525d、メニュー選択ボタン526d、および実行ボタン527dが設けられている。

【0168】

タイトル表示部521dには、資格取得登録画面520dのタイトルが表示される。図38の例では、「資格取得支援コーナー」というタイトルが表示されている。受講講座内容表示部522dには、会員である利用者が受講している講座の内容が表示される。取得資格対象会社指定部523dは、取得した資格の対象となる会社（損害保険会社等）の名称を指定するための領域である。たとえば、端末装置40において、サービスサイト運営事業者と契約した会社のリストをプルダウンメニュー等で画面に表示する。利用者は、表示されたリストの中から取得資格対象会社を指定する。

【0169】

取得資格種類指定部524dは、取得した資格の種類を指定するための領域である。たとえば、端末装置40において、取得可能な資格のリストをプルダウンメニュー等で画面に表示する。利用者は、表示されたリストの中から取得資格の種類を指定する。取得年月日入力部525dは、資格の取得年月日を入力するための領域である。

【0170】

メニュー選択ボタン526dは、資格取得登録を行わずに資格取得支援メニュー選択画面510に戻る際に押すべきボタンである。メニュー選択ボタン526

d が押されると、端末装置 40 には資格取得支援メニュー選択画面 510 が表示される。実行ボタン 527 d は、資格取得登録画面 520 d で設定した内容で資格取得登録を行う際に押すべきボタンである。実行ボタン 527 d が押されると、取得資格対象会社指定部 523 d、取得資格種類指定部 524 d、および取得年月日入力部 525 d で設定した内容の情報が、端末装置 40 からサービス提供支援装置 100 に送信される。

【0171】

資格取得登録画面 520 d において実行ボタン 527 d が押されると、端末装置 40 の画面には、資格登録内容確認画面 520 e が表示される。

図 39 は、資格登録内容確認画面の一例を示す図である。資格登録内容確認画面 520 e には、タイトル表示部 521 e、受講講座内容表示部 522 e、取得資格内容表示部 523 e、実行ボタン 524 e、および取消ボタン 525 e が設けられている。

【0172】

タイトル表示部 521 e には、資格登録内容確認画面 520 e のタイトルが表示される。図 39 の例では、タイトル表示部 521 e に「資格取得支援コーナー」というタイトルが表示されている。受講講座内容表示部 522 e には、利用者が受講したコースの内容が表示される。取得資格内容表示部 523 e には、利用者が資格取得登録画面 520 d で入力した資格の情報が表示される。実行ボタン 524 e は、取得資格内容表示部 523 e に表示されている内容で資格登録を行うときに押すべきボタンである。実行ボタン 524 e が押されると、登録内容の確認情報がサービス提供支援装置 100 に送信される。取消ボタン 525 e は、資格登録を取り消す場合に押すべきボタンである。取消ボタン 525 e が押されると、登録取消情報がサービス提供支援装置 100 に送信される。

【0173】

資格登録内容確認画面 520 e において、実行ボタン 524 e が押されると、端末装置 40 には、取得資格受付結果画面 530 a が表示される。

図 40 は、取得資格受付結果画面の一例を示す図である。取得資格受付結果画面 530 a には、タイトル表示部 531 a、受講講座内容表示部 532 a、取得

資格内容表示部 533a、および戻るボタン 534a が設けられている。

【0174】

タイトル表示部 531a には、取得資格受付結果画面 530a のタイトルが表示される。図 40 の例では、タイトル表示部 531a に「資格取得支援コーナー」というタイトルが表示されている。受講講座内容表示部 532a には、利用者が受講したコースの内容が表示される。取得資格内容表示部 533a には、利用者が資格取得登録画面 520d で入力した資格の情報が表示される。戻るボタン 534a は、取得資格受付結果画面 530a の内容を確認した後、押すべきボタンである。戻るボタン 534a が押されると、端末装置 40 には上位の画面（たとえば、図 33 に示す資格取得支援メニュー選択画面 510）が表示される。

【0175】

次に、契約社員登録入力処理における端末装置 40 の画面遷移について説明する。図 33 に示した資格取得支援メニュー選択画面 510 の登録者用メニュー表示部 513 で SOHO パートナー（契約社員希望者用）が選択された状態で選択ボタン 515 が押されると、端末装置 40 に契約社員登録画面 520f が表示される。

【0176】

図 41 は、契約社員登録画面の一例を示す図である。契約社員登録画面 520f には、タイトル表示部 521f、契約社員登録案内表示部 522f、保有資格対象会社指定部 523f、保有資格種類指定部 524f、取得年月日入力部 525f、メニュー選択ボタン 526f、および実行ボタン 527d が設けられている。

【0177】

タイトル表示部 521f には、契約社員登録画面 520f のタイトルが表示される。図 41 の例では、タイトル表示部 521f に「SOHO パートナー（契約社員）支援コーナー」というタイトルが表示されている。契約社員登録案内表示部 522f には、契約社員登録を促す案内メッセージが表示される。保有資格対象会社指定部 523f は、保有している資格の対象となる会社（損害保険会社等）の名称を指定するための領域である。たとえば、端末装置 40 において、サー

ビスサイト運営事業者と契約した会社のリストをプルダウンメニュー等で画面に表示する。利用者は、表示されたリストの中から取得資格対象会社を指定する。

【0178】

保有資格種類指定部 524 f は、保有している資格の種類を指定するための領域である。たとえば、端末装置 40 において、取得可能な資格のリストをプルダウンメニュー等で画面に表示する。利用者は、表示されたリストの中から取得資格の種類を指定する。取得年月日入力部 525 f は、資格の取得年月日を入力するための領域である。

【0179】

メニュー選択ボタン 526 f は、契約社員登録を行わずに資格取得支援メニュー選択画面 510 に戻る際に押すべきボタンである。メニュー選択ボタン 526 f が押されると、端末装置 40 には資格取得支援メニュー選択画面 510 が表示される。実行ボタン 527 f は、契約社員登録画面 520 f で設定した内容で資格取得登録を行う際に押すべきボタンである。実行ボタン 527 f が押されると、保有資格対象会社指定部 523 f、保有資格種類指定部 524 f、および取得年月日入力部 525 f で設定した内容の情報が、端末装置 40 からサービス提供支援装置 100 に送信される。

【0180】

契約社員登録画面 520 f において実行ボタン 527 f が押されると、端末装置 40 には契約社員登録内容確認画面 520 g が表示される。

図 42 は、契約社員登録内容確認画面の一例を示す図である。契約社員登録内容確認画面 520 g には、タイトル表示部 521 g、資格内容表示部 522 g、実行ボタン 523 g、および取消ボタン 524 g が設けられている。

【0181】

タイトル表示部 521 g には、契約社員登録内容確認画面 520 g のタイトルが表示される。図 42 の例では、タイトル表示部 521 g に「SOHO パートナー（契約社員）登録受付コーナー」と表示されている。資格内容表示部 522 g には、契約社員登録画面 520 f で入力した保有資格の内容が表示される。

【0182】

実行ボタン 523 g は、契約社員登録内容確認画面 520 g の表示内容で契約社員登録を行う場合に押すべきボタンである。実行ボタン 523 g が押されると、契約社員登録確認の情報がサービス提供支援装置 100 に送信される。取消ボタン 524 g は、契約社員登録を取りやめる場合に押すべきボタンである。取消ボタン 524 g が押されると、契約社員登録の取消の情報がサービス提供支援装置 100 に送信される。このとき、端末装置 40 には上位の画面（たとえば、資格取得支援メニュー選択画面 510）が表示される。

【0183】

契約社員登録内容確認画面 520 g において、実行ボタン 523 g が押されると、端末装置 40 には契約社員登録受付結果画面 530 b が表示される。

図 43 は、契約社員登録受付結果画面の一例を示す図である。契約社員登録受付結果画面 530 b には、タイトル表示部 531 b、補足説明表示部 532 b、契約内容表示部 533 b、およびホームページボタン 534 b が設けられている。

【0184】

タイトル表示部 531 b には、契約社員登録受付結果画面 530 b のタイトルが表示される。図 43 の例では、タイトル表示部 531 b に「SOHO パートナー受付結果」というタイトルが表示されている。補足説明表示部 532 b には、雇用契約書の郵送案内等のメッセージが表示される。契約内容表示部 533 b には、契約内容が表示される。図 43 の例では、顧客氏名、顧客番号、受付コード、受付年月日が表示されている。ホームページボタン 534 b は、契約社員登録受付結果画面 530 b の内容を確認後に押すべきボタンである。ホームページボタン 534 b が押されると、端末装置 40 にはホームページ画面 200 が表示される。

【0185】

以上の様にして、資格を保有する会員は、端末装置 40 を用いて、サービスサイト運営事業者との間で契約社員の契約を結ぶことができる。また、保険商品販売の代理人としての資格がない場合には、資格取得講座の受講申込を、端末装置 40 を用いて行うことができる。しかも、講座の代金を、サービスサイト運営事

業者に立て替えてもらうこともできる。このようにして、会員となった利用者は、自身の生活向上のためのサポートを受けることができる。

【0186】

次に、契約社員支援処理について説明する。

図44は、契約社員支援処理の手順を示すフローチャートである。以下に、図44に示す処理をステップ番号に沿って説明する。

【0187】

〔ステップS71〕契約社員支援処理部113は、まず、イニシャル処理を行う。次に、契約社員支援処理部113は、契約社員メニュー選択画面を編集する。そして、契約社員支援処理部113は、契約社員メニュー選択画面を端末装置40に送信し、端末装置40からの選択情報の受信を待つ。

【0188】

〔ステップS72〕端末装置40からの選択情報を受け取ると、契約社員支援処理部113は、選択情報を送信した利用者が契約社員の登録済みの会員であるか否かを判断する。契約社員であれば、処理がステップS74に進められ、契約社員でなければ処理がステップS73に進められる。

【0189】

〔ステップS73〕契約社員支援処理部113は、エラー処理を行う。具体的には、SOHOパートナー（契約社員）登録画面への案内処理を行う。その後、契約社員支援処理が終了し、処理が図18のステップS15に進められる。

【0190】

〔ステップS74〕契約社員支援処理部113は、端末装置40からの選択情報に基づいて、選択内容を判断する。選択内容が「加入成約登録」であれば処理がステップS75に進められる。選択内容が「加入成約登録状況照会」であれば処理がステップS78に進められる。

【0191】

〔ステップS75〕契約社員支援処理部113は、加入成約登録処理を実行する。具体的には、契約社員支援処理部113は、加入成約登録入力画面を編集する。次に、契約社員支援処理部113は、加入成約登録入力画面を端末装置40

に送信する。そして、契約社員支援処理部 1 1 3 は、端末装置 4 0 からの加入成約登録入力に応じた情報の受信を待つ。

【0 1 9 2】

〔ステップ S 7 6〕 契約社員支援処理部 1 1 3 は、加入成約登録確認処理を実行する。具体的には、契約社員支援処理部 1 1 3 は、成約内容をチェックし、内容に不備が無いことを確認する。次に、契約社員支援処理部 1 1 3 は、加入成約登録画面を編集する。そして、契約社員支援処理部 1 1 3 は、加入成約登録画面を端末装置 4 0 に送信し、端末装置 4 0 からの登録実行入力に応じた情報の受信を待つ。

【0 1 9 3】

〔ステップ S 7 7〕 契約社員支援処理部 1 1 3 は、加入成約登録受付実行処理を行う。具体的には、契約社員支援処理部 1 1 3 は、まず、加入契約情報登録を行う。次に、契約社員支援処理部 1 1 3 は、加入成約受付結果画面を編集する。そして、契約社員支援処理部 1 1 3 は、加入成約受付結果画面を端末装置 4 0 に送信する。その後、処理が図 1 8 のステップ S 1 5 に進められる。

【0 1 9 4】

〔ステップ S 7 8〕 契約社員支援処理部 1 1 3 は、加入成約登録状況照会処理を行う。具体的には、契約社員支援処理部 1 1 3 は、登録状況照会画面を編集する。そして、契約社員支援処理部 1 1 3 は、登録状況照会画面を端末装置 4 0 に送信する。その後、処理が図 1 8 のステップ S 1 5 に進められる。

【0 1 9 5】

このようにして、契約社員に対して、契約内容の登録支援処理が行われる。なお、端末装置 4 0 の利用者は、サービス提供支援装置 1 0 0 から送られる画面データに基づいて端末装置 4 0 に表示される画面内で所定の入力を行うことで、契約社員支援を受けることができる。以下に、契約社員支援サービスを受ける際の端末装置 4 0 の画面例について説明する。

【0 1 9 6】

図 4 5 は、契約社員メニュー選択画面の一例を示す図である。契約社員メニュー選択画面 6 1 0 には、タイトル表示部 6 1 1、個別メッセージ表示部 6 1 2、

メニュー選択部 613、ホームページボタン 614 および選択ボタン 615 が設けられている。

【0197】

タイトル表示部 611 には、契約社員メニュー選択画面 610 のタイトルが表示される。図 45 の例では、「SOHO パートナー（契約社員）コーナー」というタイトルが表示されている。個別メッセージ表示部 612 には、アクセスした契約社員に対する個別メッセージが表示される。個別メッセージとしては、成功報酬案内等がある。

【0198】

メニュー選択部 613 は、希望するサービスを選択するための入力部である。メニュー選択部 613 にはサービスのリストが表示されている。図 45 の例では、「加入新規募集案内」、「加入成約登録」、「加入成約登録状況照会」がメニュー選択部 613 に表示されている。表示されている各サービスには、チェックボックスが設けられている。端末装置 40 を使用しているユーザは、希望するサービスに対応するチェックボックスを指定することで、所望のサービスを選択することができる。

【0199】

ホームページボタン 614 は、契約社員支援処理の提供を受けない場合に押すべきボタンである。ホームページボタン 614 が押されると、端末装置 40 にはホームページ画面 200 が表示される。選択ボタン 615 は、メニュー選択部 613 で選択したサービスの提供を希望する場合に押すべきボタンである。選択ボタン 615 が押されると、メニュー選択部 613 で選択されたサービスの情報がサービス提供支援装置 100 に送信される。

【0200】

契約社員メニュー選択画面 610 において、選択ボタン 615 が押されると、端末装置 40 には加入成約登録入力画面 620 が表示される。

図 46 は、加入成約登録入力画面の一例を示す図である。加入成約登録入力画面 620 には、タイトル表示部 621、氏名入力部 622、性別入力部 623、年齢入力部 624、契約コース選択部 625、実行ボタン 626、および取消ボ

タン 627 が設けられている。この契約コース選択部 625 は、契約社員が資格を保持している保険会社の商品体系に応じて可変とすることも考えられる。これにより、契約社員が加入成約登録の都度保険会社を選択することなく、サービス提供支援装置 100 で保持している契約社員支援情報を参照して自動的に最適なメニューを表示することが可能となる。

【0201】

タイトル表示部 621 には、加入成約登録入力画面 620 のタイトルが表示される。図 46 の例では、タイトル表示部 621 に「SOHO パートナー（契約社員）コーナー」というタイトルが表示されている。氏名入力部 622 は、契約社員が勧誘した加入予定者の氏名を入力するための領域である。氏名入力部 622 は、漢字による姓と名との入力部、およびローマ字による姓と名との入力部が設けられている。

【0202】

性別入力部 623 は、契約社員が勧誘した加入予定者の性別を入力するための領域である。性別入力部 623 には、性別に応じたチェックボックスが設けられており、契約社員である利用者は、該当するチェックボックスを選択することで性別を入力することができる。年齢入力部 624 は、契約社員が勧誘した加入予定者の年齢を入力するための領域である。年齢入力部 624 には、年齢のリストをプルダウンメニューで表示させることができ、契約社員である利用者は、メニューの中から選択することで年齢を入力することができる。

【0203】

実行ボタン 626 は、加入成約登録入力画面 620 で入力した内容による加入成約処理をサービス提供支援装置 100 に要求する場合に押すべきボタンである。実行ボタン 626 が押されると、加入成約登録入力画面 620 で入力した内容がサービス提供支援装置 100 に送信される。取消ボタン 627 は、加入成約の登録を行わない場合に押すべきボタンである。取消ボタン 627 が押されると、端末装置 40 には上位の画面（たとえば、ホームページ画面 200）が表示される。

【0204】

加入成約登録入力画面 620 において実行ボタン 626 が押されると、端末装置 40 には、加入成約登録確認画面 630 が表示される。

図 47 は、加入成約登録確認画面の一例を示す図である。加入成約登録確認画面 630 には、タイトル表示部 631、氏名入力部 632、契約内容表示部 633、実行ボタン 634、および取消ボタン 635 が設けられている。

【0205】

タイトル表示部 631 には、加入成約登録確認画面 630 のタイトルが表示される。図 47 の例では、タイトル表示部 631 に「SOHO パートナー（契約社員）コーナー」と表示されている。氏名入力部 632 は、加入予定者の氏名を、漢字とローマ字とで入力するための領域である。契約内容表示部 633 には、契約内容が表示される。実行ボタン 634 は、契約内容に間違いがないときに押すべきボタンである。実行ボタン 634 が押されると、契約内容を確認したことを示す情報がサービス提供支援装置 100 に送信される。取消ボタン 635 は、加入成約登録を取り消す場合に押すべきボタンである。取消ボタン 635 が押されると、加入成約登録は行われず、端末装置 40 には上位の画面（たとえば、加入成約登録入力画面 620）が表示される。

【0206】

加入成約登録確認画面 630 において、実行ボタン 634 が押されると、端末装置 40 には加入成約受付結果画面 640 が表示される。

図 48 は、加入成約受付結果画面の一例を示す図である。加入成約受付結果画面 640 には、タイトル表示部 641、顧客情報表示部 642、契約社員情報表示部 643、契約内容表示部 644、およびホームページボタン 645 が設けられている。

【0207】

タイトル表示部 641 には、加入成約受付結果画面 640 のタイトルが表示される。図 47 の例では、タイトル表示部 641 に「SOHO パートナー（契約社員）コーナー」と表示されている。顧客情報表示部 642 には、加入が成約した顧客の情報が表示される。契約社員情報表示部 643 には、顧客を勧誘した契約社員の情報が表示される。契約内容表示部 644 には、成約した契約の内容が表

示される。ホームページボタン645は、加入成約受付結果画面640の内容を確認した後に押すべきボタンである。ホームページボタン645が押されると、端末装置40にはホームページ画面200が表示される。

【0208】

次に、契約社員登録支援処理における加入成約登録状況照会画面650について説明する。加入成約登録状況照会画面650は、契約社員メニュー選択画面610のメニュー選択部613において、「加入成約登録状況照会」が選択されている状態で選択ボタン615が押された際に、端末装置40の画面に表示される。

【0209】

図49は、加入成約登録状況照会画面の一例を示す図である。加入成約登録状況照会画面650には、タイトル表示部651、取り扱い会社表示部652、成約情報表示部653、ホームページボタン654、および戻るボタン655が設けられている。

【0210】

タイトル表示部651には、加入成約登録状況照会画面650のタイトルが表示される。図49の例では、タイトル表示部651に「SOHOパートナー（契約社員）コーナー」と表示されている。取り扱い会社表示部652には、この画面にアクセスした契約社員が取り扱い可能な保険商品を販売する保険会社名が表示される。

【0211】

成約情報表示部653には、この画面にアクセスした契約社員の仲介により成約した契約の内容が表示されている。図49の例では、成約情報表示部653には、成約した契約コース、契約者の性別、契約者の年齢、一時払い保険料、顧客氏名、受付コード、および処理状態が表示されている。処理状態とは、契約社員が成約登録を行った後の処理の進行状況である。たとえば、顧客からの一時払い保険料の入金が完了したときには、処理状態が「入金完了」となる。顧客からの手書きによる正式な契約書がサービスサイト運営事業者が受け取っていれば、処理状態が「契約書受領」となる。顧客からの一時払い保険料が未入金的时候には、処理状態が「未入金」となる。

【0212】

ホームページボタン654は、加入成約登録状況照会画面650の内容を確認した後に押すべきボタンである。ホームページボタン645が押されると、端末装置40にはホームページ画面200が表示される。戻るボタン655は、加入成約登録状況照会画面650の上位の画面に戻る際に押すべきボタンである。戻るボタン655が押されると、端末装置40には、たとえば契約社員メニュー選択画面610が表示される。

【0213】

次に、旅行企画提案支援処理について説明する。

図50は、旅行企画提案支援処理の手順を示すフローチャートである。以下に、図50に示す処理をステップ番号に沿って説明する。

【0214】

〔ステップS81〕旅行企画提案処理部115は、まず、イニシャル処理を行う。次に、旅行企画提案処理部115は、企画提案メニュー選択画面を編集する。そして、旅行企画提案処理部115は、企画提案メニュー選択画面を端末装置40に送信し、端末装置40からの選択内容に応じた情報の受信を待つ。

【0215】

〔ステップS82〕旅行企画提案処理部115は、端末装置40から選択内容に応じた情報が送られると、その情報に基づいて、端末装置40の利用者が旅行パートナーか否かを判断する。旅行パートナーであれば処理がステップS86に進められ、旅行パートナーでなければ処理がステップS83に進められる。

【0216】

〔ステップS83〕旅行企画提案処理部115は、旅のSOHOパートナー登録への案内、誘導処理を行う。

〔ステップS84〕旅行企画提案処理部115は、ステップS83における誘導処理に対する端末装置40からの応答に基づいて、端末装置40の利用者が旅のSOHOパートナー登録を希望しているか否かを判断する。登録を希望している場合には、処理がステップS85に進められる。登録を希望していない場合には、旅行企画提案支援処理が終了し、処理が図18に示すステップS15に進め

られる。

【0217】

〔ステップS85〕旅行企画提案処理部115は、旅のSOHOパートナー登録処理を実行する。その後、旅行企画提案支援処理が終了し、処理が図18に示すステップS15に進められる。

【0218】

〔ステップS86〕旅行企画提案処理部115は、企画提案メニュー選択画面に応じた端末装置40からの応答内容で指定されたメニューを判断する。オリジナルメニュー企画提案登録が選択されていた場合には、処理がステップS87に進められる。企画提案状況照会が選択されていた場合には、処理がステップS90に進められる。

【0219】

〔ステップS87〕旅行企画提案処理部115は、企画提案登録入力処理を実行する。具体的には、旅行企画提案処理部115は、まず、企画提案内容登録画面を編集する。次に、旅行企画提案処理部115は、企画提案内容登録画面を端末装置40に送信し、端末装置40からの登録データの受信を待つ。

【0220】

〔ステップS88〕旅行企画提案処理部115は、端末装置40から登録データが送られてくると、企画提案登録確認処理を実行する。具体的には、旅行企画提案処理部115は、登録内容に間違い等がないことをチェックする。次に、旅行企画提案処理部115は、企画提案内容確認画面を編集する。そして、旅行企画提案処理部115は、企画提案内容確認画面を端末装置40に送信し、端末装置40からの登録実行入力の受信を待つ。

【0221】

〔ステップS89〕旅行企画提案処理部115は、端末装置40から登録実行入力の情報が送られてくると、企画提案登録実行処理を行う。具体的には、旅行企画提案処理部115は、企画提案情報を企画提案管理DB128に格納する。次に、旅行企画提案処理部115は、加入成約受付結果画面を編集する。そして、旅行企画提案処理部115は、加入成約受付結果画面を端末装置40に送信す

る。その後、旅行企画提案支援処理が終了し、処理が図 1 8 に示すステップ S 1 5 に進められる。

【0 2 2 2】

〔ステップ S 9 0〕旅行企画提案処理部 1 1 5 は、企画提案状況照会処理を行う。具体的には、旅行企画提案処理部 1 1 5 は、まず、登録状況照会画面を編集する。そして、旅行企画提案処理部 1 1 5 は、登録状況照会画面を端末装置 4 0 に送信する。その後、旅行企画提案支援処理が終了し、処理が図 1 8 に示すステップ S 1 5 に進められる。

【0 2 2 3】

以上の様にして、旅行企画提案支援処理が行われる。なお、端末装置 4 0 の利用者は、サービス提供支援装置 1 0 0 から送られる画面データに基づいて表示される画面内で所定の入力を行うことで、旅行企画提案支援を受けることができる。以下に、旅行企画提案支援サービスを受ける際の端末装置 4 0 の画面例について説明する。

【0 2 2 4】

図 5 1 は、企画提案案内画面の一例を示す図である。企画提案案内画面 7 1 0 には、タイトル表示部 7 1 1、メニュー選択部 7 1 2、ホームページボタン 7 1 3、および選択ボタン 7 1 4 が設けられている。

【0 2 2 5】

タイトル表示部 7 1 1 には、企画提案案内画面 7 1 0 のタイトルが表示される。図 5 1 の例では、タイトル表示部 7 1 1 に「旅行企画提案支援コーナー」というタイトルが表示されている。メニュー選択部 7 1 2 には、旅行企画提案支援で提供されるサービスに対応する選択項目が表示されている。図 5 1 の例では、「旅の S O H O パートナー登録」、「オリジナルメニュー企画提案登録」、および「企画提案内容状態照会」の各選択項目が表示されている。各選択項目には、チェックボックスが設けられている。利用者は、所望のサービスに対応するチェックボックスを指定することで、そのサービスを選択することができる。

【0 2 2 6】

ホームページボタン 7 1 3 は、旅行企画提案支援を受けない場合に押すべきボ

タンである。ホームページボタン713が押されると、端末装置40の画面には、ホームページ画面200が表示される。選択ボタン714は、旅行企画提案支援のサービスを受ける場合に押すべきボタンである。選択ボタン714が押されると、メニュー選択部712で選択されたサービスに関する処理要求が、端末装置40からサービス提供支援装置100に送信される。

【0227】

なお、企画提案案内画面710において、「オリジナルメニュー企画提案登録」のメニューが選択されている状態で選択ボタン714が押されると、端末装置40の画面には、企画提案内容登録画面720が表示される。

【0228】

図52は、企画提案内容登録画面の一例を示す図である。企画提案内容登録画面720には、タイトル表示部721、企画書入力部722、ホームページボタン723、および登録ボタン724が設けられている。

【0229】

タイトル表示部721には、企画提案内容登録画面720のタイトルが表示される。図52の例では、タイトル表示部721に「旅行企画提案支援コーナー」というタイトルが表示されている。企画書入力部722は、利用者の提案する企画の内容を、所定のフォーマットに従って入力すべき領域である。

【0230】

ホームページボタン723は、旅行企画提案を取りやめる場合に押すべきボタンである。ホームページボタン723が押されると、端末装置40の画面には、ホームページ画面200が表示される。登録ボタン724は、旅行企画提案を登録する場合に押すべきボタンである。登録ボタン724が押されると、企画書入力部722に入力された旅行企画の提案内容が、端末装置40からサービス提供支援装置100に送信される。

【0231】

図53は、旅行企画入力フォーマットの一例を示す図である。旅行企画入力フォーマット800は、企画提案内容登録画面720の企画書入力部722に表示される。利用者は、旅行企画入力フォーマット800の各項目に入力することで

、旅行企画を提案することができる。旅行企画入力フォーマット800には、主な入力項目として、企画者入力欄810、企画名入力欄820、企画コンセプト入力欄830、企画提案内容入力欄840、およびその他入力欄850が設けられている。

【0232】

企画者入力欄810は、企画者（企画を提案する利用者）の個人情報を入力するための領域である。企画者入力欄810には、企画者の氏名を入力する氏名入力欄811、企画者の住所を入力する住所入力欄812、企画者の電話番号を入力するTEL入力欄813、企画者のファクシミリ番号を入力するFAX入力欄814、および企画者の電子メールアドレスを入力するメールアドレス入力欄815が設けられている。

【0233】

企画名入力欄820には、企画者が提案する旅行企画のタイトルを入力するための領域である。企画名入力欄820には、たとえば、「秋の美食の旅」等の企画名が入力される。企画コンセプト入力欄830は、企画の方針を入力するための領域である。

【0234】

企画提案内容入力欄840は、提案する企画の具体的内容を入力するための領域である。企画提案内容入力欄840には、主要行程入力欄841、推奨販売額入力欄842、販売マーケット入力欄843、および提案理由入力欄844が設けられている。

【0235】

企画提案内容入力欄840の主要行程入力欄841は、旅行の行程を入力するための領域である。主要行程入力欄841には、実施予定の時期（たとえば、9月～11月）を入力する実施予定時期入力欄841a、行先（たとえば、伊豆）を入力する行先入力欄841b、宿泊先を入力する宿泊先入力欄841c、および特記事項を入力する特記事項入力欄841dが設けられている。

【0236】

企画提案内容入力欄840の推奨販売額入力欄842には、企画者の考える推

奨販売額が入力される。販売マーケット入力欄 8 4 3 には、企画者の考える販売マーケット（たとえば、定年退職した世代）が入力される。販売マーケット入力欄 8 4 3 には、集客見込み数入力欄 8 4 3 a が設けられている。集約見込み数入力欄 8 4 3 a には、企画者が考える集客見込み数が入力される。提案理由入力欄 8 4 4 には、企画者がこの企画を提案した理由が入力される。その他入力欄 8 5 0 には、企画者がサービスサイト運営事業者に伝えたい事柄を、自由に入力することができる。

【0 2 3 7】

以上の様な各項目に企画者が入力を行うことにより、旅行企画を提案することができる。

企画提案内容登録画面 7 2 0 において登録ボタン 7 2 4 が押されると、端末装置 4 0 には、企画提案内容確認画面 7 3 0 が表示される。

【0 2 3 8】

図 5 4 には、企画提案内容確認画面の一例を示す図である。企画提案内容確認画面 7 3 0 には、タイトル表示部 7 3 1、企画書表示部 7 3 2、ホームページボタン 7 3 3、および登録実行ボタン 7 3 4 が設けられている。

【0 2 3 9】

タイトル表示部 7 3 1 には、企画提案内容確認画面 7 3 0 のタイトルが表示される。図 5 4 の例では、タイトル表示部 7 3 1 に「旅行企画提案支援コーナー」というタイトルが表示されている。企画書表示部 7 3 2 には、利用者が提案した企画の内容が表示される。

【0 2 4 0】

ホームページボタン 7 3 3 は、旅行企画提案を取りやめる場合に押すべきボタンである。ホームページボタン 7 3 3 が押されると、端末装置 4 0 の画面には、ホームページ画面 2 0 0 が表示される。登録実行ボタン 7 3 4 は、旅行企画提案の登録を確定する場合に押すべきボタンである。登録実行ボタン 7 3 4 が押されると、企画書表示部 7 3 2 に表示された旅行企画の提案内容の登録要求が、端末装置 4 0 からサービス提供支援装置 1 0 0 に送信される。

【0 2 4 1】

企画提案内容確認画面 7 3 0 において登録実行ボタン 7 3 4 が押されると、端末装置 4 0 の画面には、企画提案受付結果画面 7 4 0 が表示される。

図 5 5 は、企画提案受付結果画面の一例を示す図である。企画提案受付結果画面 7 4 0 には、タイトル表示部 7 4 1、受付結果表示部 7 4 2、およびホームページボタン 7 4 3 が設けられている。

【 0 2 4 2 】

タイトル表示部 7 4 1 には、企画提案受付結果画面 7 4 0 のタイトルが表示される。図 5 5 の例では、タイトル表示部 7 4 1 に「旅行企画提案受付結果」というタイトルが表示されている。受付結果表示部 7 4 2 には、旅行企画提案の受付結果が表示される。図 5 5 の例では、旅行企画を提案した顧客氏名および顧客番号、提案された企画の受付コードおよび受付年月日が表示されている。

【 0 2 4 3 】

ホームページボタン 7 4 3 は、企画提案受付結果画面 7 4 0 の内容を確認後、おすべきボタンである。ホームページボタン 7 4 3 が押されると、端末装置 4 0 にはホームページ画面 2 0 0 が表示される。

【 0 2 4 4 】

以上の様にして、会員登録をしている利用者が、旅行企画を提案する事ができる。提案された企画は、サービスサイト運営事業者によって内容が検討される。そして、他の利用者に案内するだけの魅力のある企画であれば、その旅行商品がサービス提供支援装置 1 0 0 を介して販売される。その旅行商品が販売された場合には、企画提案者に、企画提案料が支払われる。これにより、会員登録をしている利用者は、自分の経験を生かした旅行企画案を登録することで、収入を得ることができる。また、サービスサイト運営事業者は、経験豊かな会員からの提案に基づいて、新鮮味にあふれた魅力のあるサービスを提供することが可能となる。

【 0 2 4 5 】

なお、上記の処理機能は、サーバコンピュータとクライアントコンピュータとによって実現することができる。その場合、サービス提供支援装置が有すべき機能の処理内容を記述したサーバプログラム、および端末装置が有すべき機能の処

理内容を記述したクライアントプログラムが提供される。サーバプログラムをサーバコンピュータで実行することにより、サービス提供支援装置の処理機能がサーバコンピュータ上で実現される。また、クライアントプログラムをクライアントコンピュータで実行することにより、端末装置の処理機能がクライアントコンピュータ上で実現される。

【 0 2 4 6 】

処理内容を記述したサーバプログラムやクライアントプログラムは、コンピュータで読み取り可能な記録媒体に記録しておくことができる。コンピュータで読み取り可能な記録媒体としては、磁気記録装置、光ディスク、光磁気記録媒体、半導体メモリなどがある。磁気記録装置には、ハードディスク装置（HDD）、フレキシブルディスク（FD）、磁気テープなどがある。光ディスクには、DVD（Digital Versatile Disc）、DVD-RAM（Random Access Memory）、CD-ROM（Compact Disc Read Only Memory）、CD-R（Recordable）／RW（ReWritable）などがある。光磁気記録媒体には、MO（Magneto-Optical disk）などがある。

【 0 2 4 7 】

サーバプログラムやクライアントプログラムを流通させる場合には、たとえば、各プログラムが記録されたDVD、CD-ROMなどの可搬型記録媒体が販売される。また、クライアントプログラムをサーバコンピュータの記憶装置に格納しておき、ネットワークを介して、サーバコンピュータからクライアントコンピュータにクライアントプログラムを転送することもできる。

【 0 2 4 8 】

サーバプログラムを実行するサーバコンピュータは、たとえば、可搬型記録媒体に記録されたサーバプログラムを、自己の記憶装置に格納する。そして、サーバコンピュータは、自己の記憶装置からサーバプログラムを読み取り、サーバプログラムに従った処理を実行する。なお、サーバコンピュータは、可搬型記録媒体から直接サーバプログラムを読み取り、そのサーバプログラムに従った処理を実行することもできる。

【 0 2 4 9 】

クライアントプログラムを実行するクライアントコンピュータは、たとえば、可搬型記録媒体に記録されたクライアントプログラムもしくはサーバコンピュータから転送されたクライアントプログラムを、自己の記憶装置に格納する。そして、クライアントコンピュータは、自己の記憶装置からクライアントプログラムを読み取り、クライアントプログラムに従った処理を実行する。なお、クライアントコンピュータは、可搬型記録媒体から直接クライアントプログラムを読み取り、そのクライアントプログラムに従った処理を実行することもできる。また、クライアントコンピュータは、サーバコンピュータからクライアントプログラムが転送される毎に、逐次、受け取ったクライアントプログラムに従った処理を実行することもできる。

【 0 2 5 0 】

（付記 1） 有償サービスの提供を支援するコンピュータのサービス提供支援方法において、

ネットワークを介して、所定の代金を支払って入会手続きを行った利用者に対して有償サービスを紹介し、

前記有償サービスの申込を、前記ネットワークを介して接続された前記利用者の操作する端末装置より受け付け、

前記利用者が支払った前記所定の代金に基づいて前記利用者の与信審査を行い、与信審査結果に応じて前記有償サービスの代金に対する立て替え額を決定し、決定された前記立て替え額を前記端末装置へ通知する、

ことを特徴とするサービス提供支援方法。

【 0 2 5 1 】

（付記 2） 決定した前記立て替え額の金銭を、前記利用者に代わって前記有償サービスの提供者へ支払うことを特徴とする付記 1 記載のサービス提供支援方法。

【 0 2 5 2 】

（付記 3） 前記利用者は、保険商品の購入者であることを特徴とする付記 1 記載のサービス提供支援方法。

（付記 4） 前記有償サービスは、旅行企画商品であることを特徴とする付記

1 記載のサービス提供支援方法。

【 0 2 5 3 】

（付記 5） 前記有償サービスは、資格取得のための講座であることを特徴とする付記 1 記載のサービス提供支援方法。

（付記 6） 前記利用者が他の顧客を勧誘し、商品購入の同意を取り付けた場合には、前記利用者に対して報酬を支払うことを特徴とする付記 1 記載のサービス提供支援方法。

【 0 2 5 4 】

（付記 7） 前記利用者が所定の保険商品販売資格を有している場合にのみ、保険商品購入に関する前記利用者による他の顧客の勧誘を許可することを特徴とする付記 6 記載のサービス提供支援方法。

【 0 2 5 5 】

（付記 8） 前記利用者の保険商品販売資格に応じた入力画面のデータを前記端末装置へ送信することを特徴とする付記 7 記載のサービス提供支援方法。

（付記 9） 前記利用者より旅行企画の提案を受け付け、
提案された前記旅行企画を、前記有償サービスの 1 つとして他の利用者に紹介する、

ことを特徴とする付記 1 記載のサービス提供支援方法。

【 0 2 5 6 】

（付記 1 0） 前記旅行企画を提案した前記利用者に対して、報酬を支払うことを特徴とする付記 9 記載のサービス提供支援方法。

（付記 1 1） 有償サービスの提供を支援するサービス提供支援装置に接続された端末装置のサービス注文方法において、

前記サービス提供支援装置から前記有償サービスの紹介情報を取得して、取得した前記紹介情報を表示し、

操作入力に応答し、前記有償サービスの購入情報を前記サービス提供支援装置に送信し、

前記端末装置により、前記サービス提供支援装置から送られる立て替え額の情報を取得して、取得した前記立て替え額の情報を表示する、

ことを特徴とするサービス注文方法。

【0257】

(付記12) 有償サービスの提供を支援するためのサービス提供支援装置において、

ネットワークを介して、所定の代金を支払って入会手続きを行った利用者に対して有償サービスを紹介する紹介手段と、

前記紹介手段で紹介した前記有償サービスの申込を、前記ネットワークを介して接続された前記利用者の操作する端末装置より受け付ける受付手段と、

前記受付手段が受け付けた前記有償サービスの申込に応答して、前記利用者が支払った前記所定の代金に基づいて前記利用者の与信審査を行い、与信審査結果に応じて前記有償サービスの代金に対する立て替え額を決定する決定手段と、

前記決定手段が決定した前記立て替え額を、前記端末装置へ通知する通知手段と、

を有することを特徴とするサービス提供支援装置。

【0258】

(付記13) 前記紹介手段は、保険商品の購入者に対して前記有償サービスを紹介することを特徴とする付記12記載のサービス提供支援装置。

(付記14) 前記有償サービスは、旅行企画商品であることを特徴とする付記12記載のサービス提供支援装置。

【0259】

(付記15) 前記有償サービスは、資格取得のための講座であることを特徴とする付記12記載のサービス提供支援装置。

(付記16) 前記利用者より旅行企画の提案を受け付ける提案受付手段をさらに有し、

前記紹介手段は、提案された前記旅行企画を前記有償サービスの1つとして他の利用者に紹介する、

ことを特徴とする付記12記載のサービス提供支援装置。

【0260】

(付記17) 有償サービスの提供を支援するサービス提供支援装置に接続し

て前記有償サービスを注文するための端末装置において、

前記サービス提供支援装置から前記有償サービスの紹介情報を取得して、取得した前記紹介情報を表示する紹介情報表示手段と、

操作入力に応答して、前記有償サービスの購入情報を前記サービス提供支援装置に送信する送信手段と、

前記サービス提供支援装置から送られる立て替え額の情報を取得して、取得した前記立て替え額の情報を表示する立て替え情報表示手段と、

を有することを特徴とする端末装置。

【 0 2 6 1 】

（付記 1 8） 有償サービスの提供をコンピュータを用いて支援するためのサービス提供支援プログラムにおいて、

前記コンピュータに、

ネットワークを介して、所定の代金を支払って入会手続きを行った利用者に対して有償サービスを紹介し、

前記有償サービスの申込を、前記ネットワークを介して接続された前記利用者の操作する端末装置より受け付け、

前記利用者が支払った前記所定の代金に基づいて前記利用者の与信審査を行い、与信審査結果に応じて前記有償サービスの代金に対する立て替え額を決定し、

決定された前記立て替え額を前記端末装置へ通知する、

処理を実行させることを特徴とするサービス提供支援プログラム。

【 0 2 6 2 】

（付記 1 9） 有償サービスの提供を支援するサービス提供支援装置に有償サービスの注文を出すための有償サービス注文プログラムにおいて、

コンピュータに、

前記サービス提供支援装置から前記有償サービスの紹介情報を取得して、取得した前記紹介情報を表示し、

操作入力に応答し、前記有償サービスの購入情報を前記サービス提供支援装置に送信し、

前記端末装置により、前記サービス提供支援装置から送られる立て替え額の情

報を取得して、取得した前記立て替え額の情報を表示する、

処理を実行させることを特徴とする有償サービス注文プログラム。

【0263】

(付記20) 有償サービスの提供をコンピュータを用いて支援するためのサービス提供支援プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、

前記コンピュータに、

ネットワークを介して、所定の代金を支払って入会手続きを行った利用者に対して有償サービスを紹介し、

前記有償サービスの申込を、前記ネットワークを介して接続された前記利用者の操作する端末装置より受け付け、

前記利用者が支払った前記所定の代金に基づいて前記利用者の与信審査を行い、与信審査結果に応じて前記有償サービスの代金に対する立て替え額を決定し、

決定された前記立て替え額を前記端末装置へ通知する、

処理を実行させることを特徴とする記録媒体。

【0264】

(付記21) 有償サービスの提供を支援するサービス提供支援装置に有償サービスの注文を出すための有償サービス注文プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、

コンピュータに、

前記サービス提供支援装置から前記有償サービスの紹介情報を取得して、取得した前記紹介情報を表示し、

操作入力に応答し、前記有償サービスの購入情報を前記サービス提供支援装置に送信し、

前記端末装置により、前記サービス提供支援装置から送られる立て替え額の情報を取得して、取得した前記立て替え額の情報を表示する、

処理を実行させることを特徴とする記録媒体。

【0265】

【発明の効果】

以上説明したように本発明では、利用者への有償サービスの提供にあたり、その有償サービスの代金を立て替えるようにしたため、利用者は、手持ちの金銭が十分に無くても、有償サービスの提供を受けることが可能となり、有償サービスの利用に関する利便性が向上する。しかも、サービスの種類が限定的な無償サービスと異なり、多種多様な有償サービスを利用者に提供することで、利用者の生活向上の支援を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本実施の形態における有償サービス提供手順の概略を示す図である。

【図 2】

本実施の形態における契約社員支援手順の概略を示す図である。

【図 3】

本実施の形態における旅行企画提案手順の概略を示す図である。

【図 4】

本実施の形態に係るサービス提供支援のシステム構成例を示す図である。

【図 5】

本実施の形態のサービス提供支援装置のハードウェア構成例を示す図である。

【図 6】

本実施の形態のサービス提供支援装置の機能ブロック図である。

【図 7】

会員加入情報格納部の内容の一例を示す図である。

【図 8】

商品紹介情報 DB に格納されるレコードの一例を示す図である。

【図 9】

会員情報 DB に格納されているレコードの一例を示す図である。

【図 1 0】

有償サービス提供情報格納部の内容の一例を示す図である。

【図 1 1】

旅行商品情報 DB に格納されているレコードの一例を示す図である。

【図 1 2】

取引注文DBに格納されているレコードの一例を示す図である。

【図 1 3】

契約社員支援情報格納部の内容の一例を示す図である。

【図 1 4】

契約社員管理DBに格納されているレコードの一例を示す図である。

【図 1 5】

資格取得支援情報格納部の内容の一例を示す図である。

【図 1 6】

旅行企画情報格納部の内容の一例を示す図である。

【図 1 7】

企画提案情報管理DBに格納されているレコードの一例を示す図である。

【図 1 8】

本実施の形態に係るサービス提供支援装置の処理手順を示すフローチャートである。

【図 1 9】

端末装置に表示される画面の遷移例を示す模式図である。

【図 2 0】

ホームページ画面の一例を示す図である。

【図 2 1】

会員登録処理の詳細を示すフローチャートである。

【図 2 2】

商品内容紹介画面の一例を示す図である。

【図 2 3】

契約申込画面の一例を示す図である。

【図 2 4】

加入受付結果画面の一例を示す図である。

【図 2 5】

サービスメニュー選択画面の一例を示す図である。

【図 2 6】

有償サービス提供処理の処理手順を示すフローチャートである。

【図 2 7】

ライフ商品案内画面の一例を示す図である。

【図 2 8】

注文入力画面の一例を示す図である。

【図 2 9】

注文内容確認画面の一例を示す図である。

【図 3 0】

注文受付結果画面の一例を示す図である。

【図 3 1】

資格取得支援処理の手順を示すフローチャートの前半である。

【図 3 2】

資格取得支援処理の手順を示すフローチャートの後半である。

【図 3 3】

資格取得支援メニュー選択画面の一例を示す図である。

【図 3 4】

SOHOパートナー登録画面の一例を示す図である。

【図 3 5】

資格取得講座申込画面の一例を示す図である。

【図 3 6】

注文確認画面の一例を示す図である。

【図 3 7】

注文受付結果画面の一例を示す図である。

【図 3 8】

資格取得登録画面の一例を示す図である。

【図 3 9】

資格登録内容確認画面の一例を示す図である。

【図 4 0】

取得資格受付結果画面の一例を示す図である。

【図 4 1】

契約社員登録画面の一例を示す図である。

【図 4 2】

契約社員登録内容確認画面の一例を示す図である。

【図 4 3】

契約社員登録受付結果画面の一例を示す図である。

【図 4 4】

契約社員支援処理の手順を示すフローチャートである。

【図 4 5】

契約社員メニュー選択画面の一例を示す図である。

【図 4 6】

加入成約登録入力画面の一例を示す図である。

【図 4 7】

加入成約登録確認画面の一例を示す図である。

【図 4 8】

加入成約受付結果画面の一例を示す図である。

【図 4 9】

加入成約登録状況照会画面の一例を示す図である。

【図 5 0】

旅行企画提案支援処理の手順を示すフローチャートである。

【図 5 1】

企画提案案内画面の一例を示す図である。

【図 5 2】

企画提案内容登録画面の一例を示す図である。

【図 5 3】

旅行企画入力フォーマットの一例を示す図である。

【図 5 4】

企画提案内容確認画面の一例を示す図である。

【図 5 5】

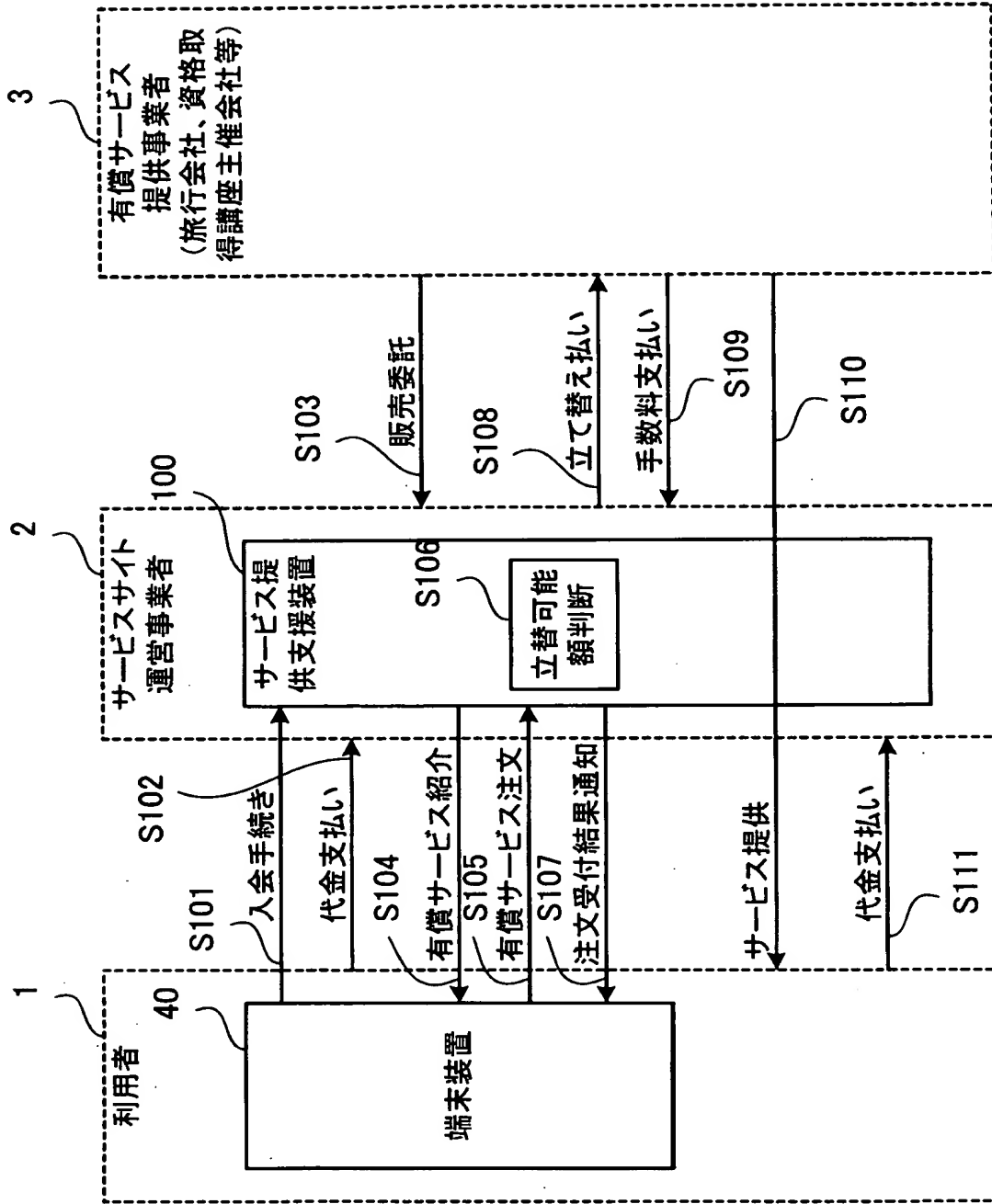
企画提案受付結果画面の一例を示す図である。

【符号の説明】

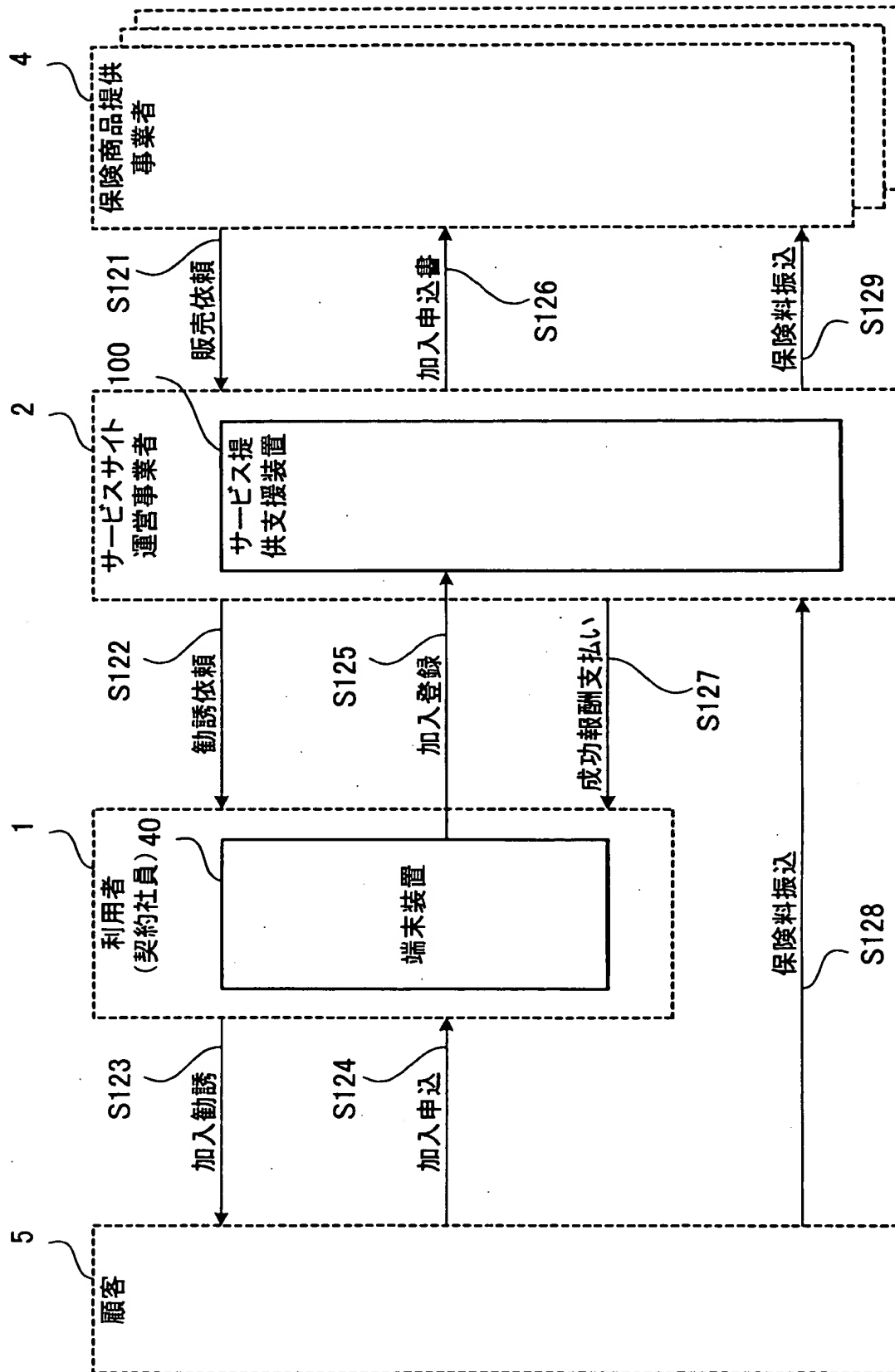
- 1 利用者
- 2 サービスサイト運営事業者
- 3 有償サービス提供事業者
- 1 1 モニタ
- 1 2 キーボード
- 1 3 マウス
- 1 4 ネットワーク
- 2 0, 3 0 サーバ
- 4 0, 5 0, 6 0 端末装置
- 1 0 0 サービス提供支援装置
- 1 0 1 CPU
- 1 0 2 RAM
- 1 0 3 ハードディスク装置 (HDD)
- 1 0 4 グラフィック処理装置
- 1 0 5 入力インタフェース
- 1 0 6 通信インタフェース

【書類名】 図面

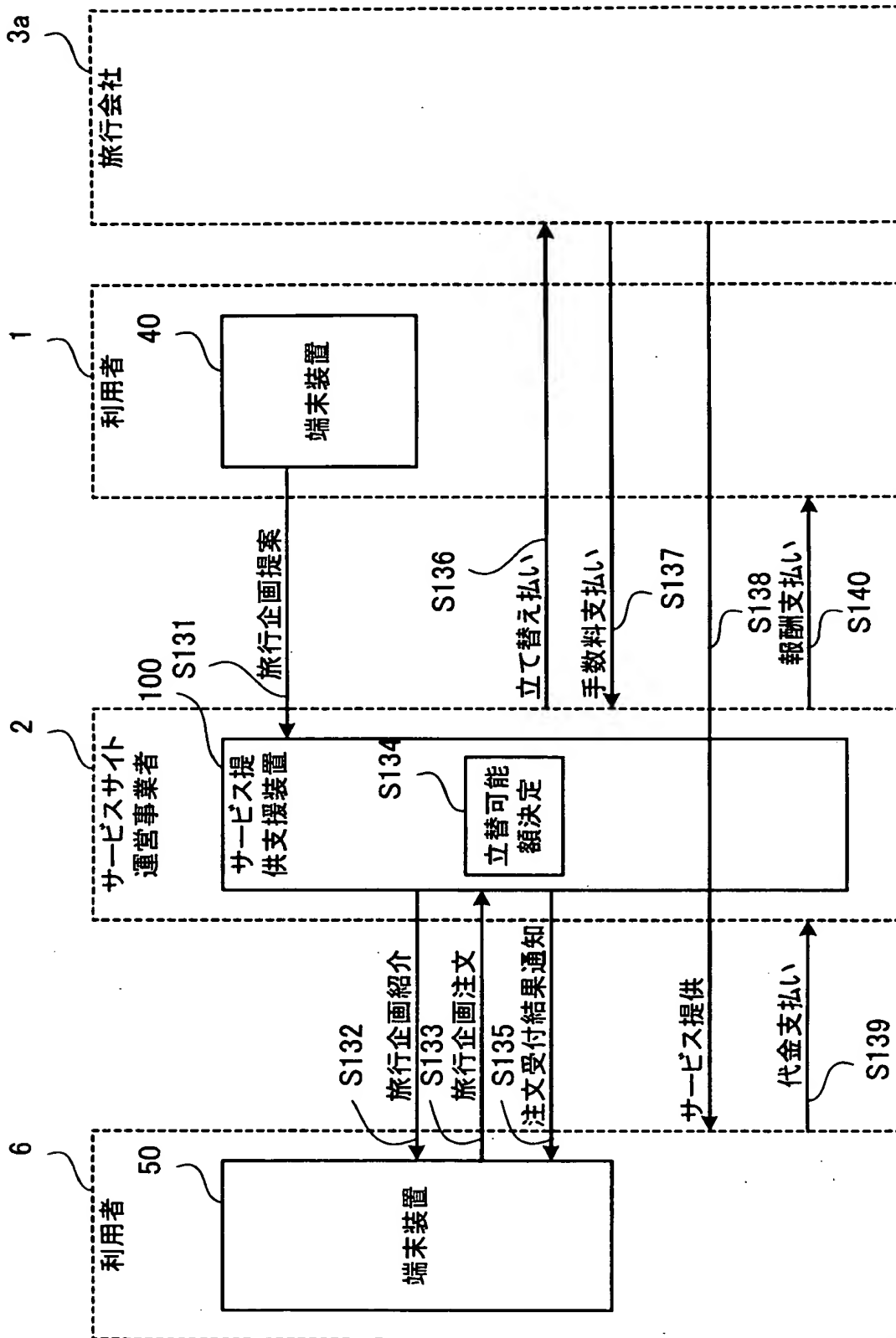
【図 1】



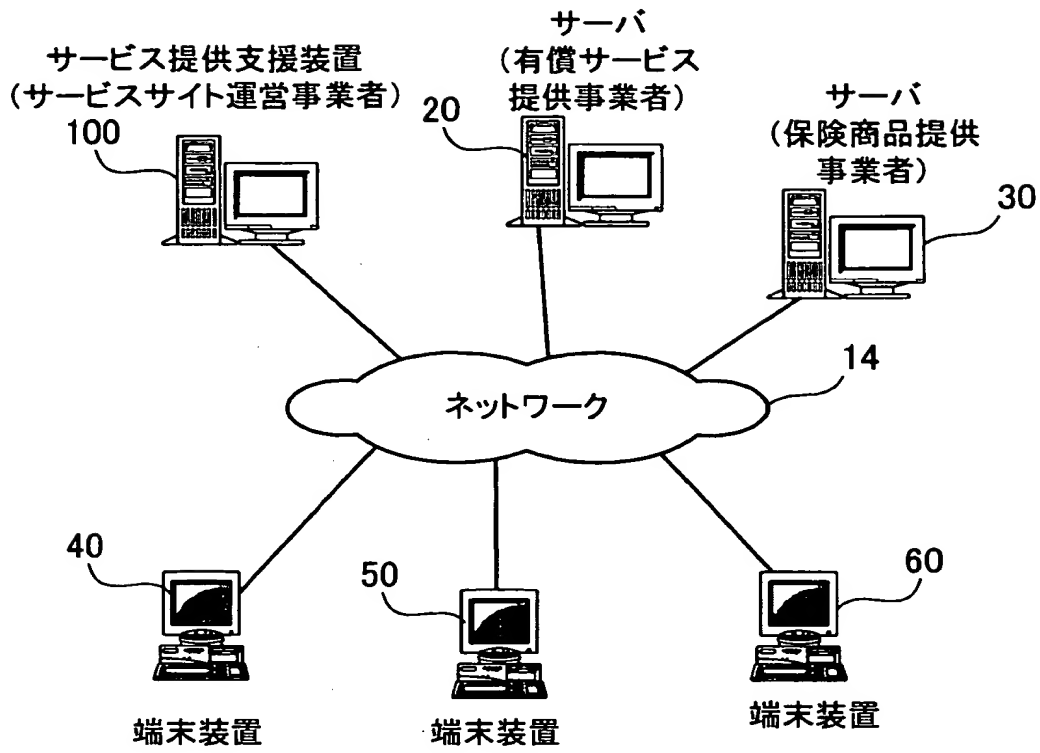
【図 2】



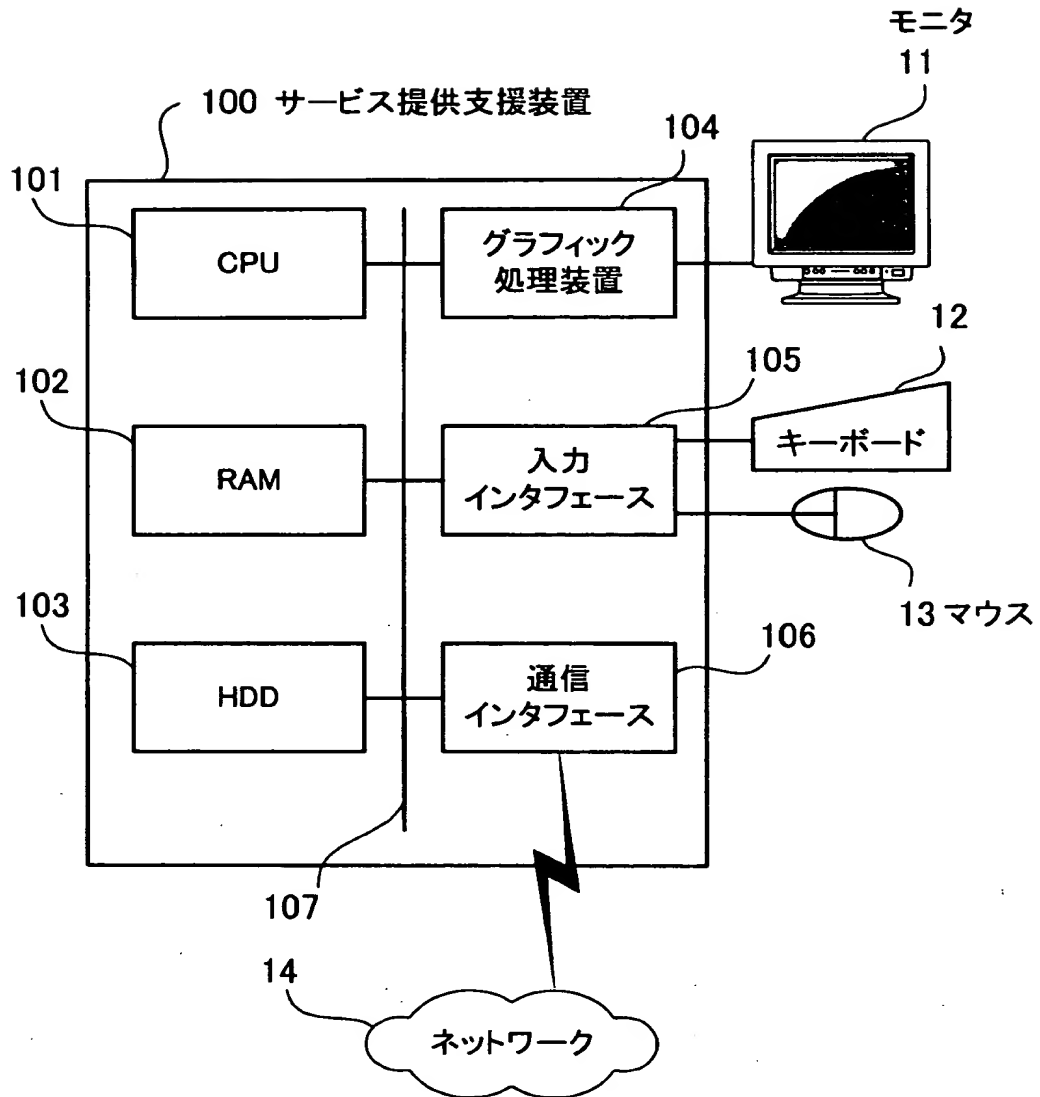
【図 3】



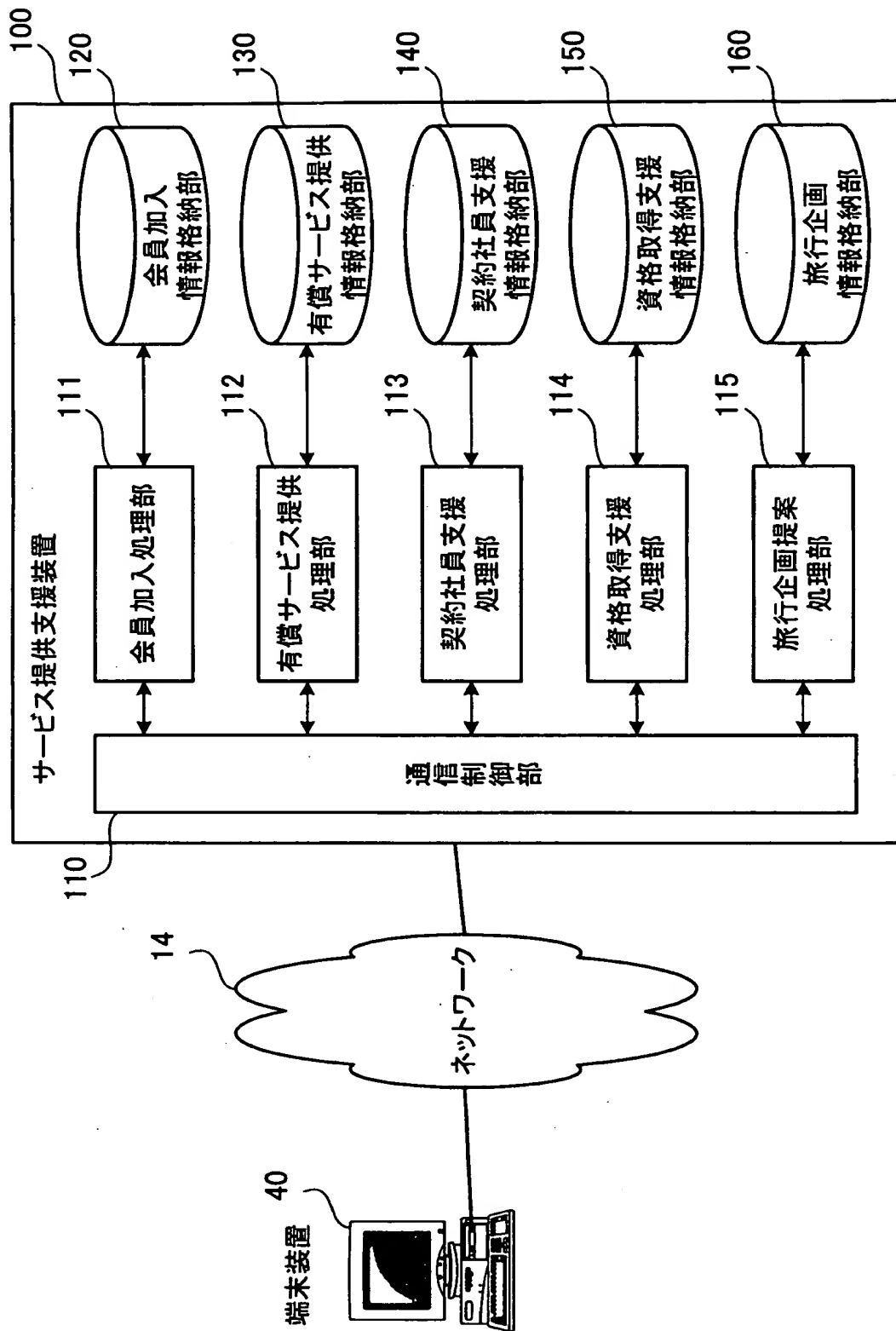
【図 4】



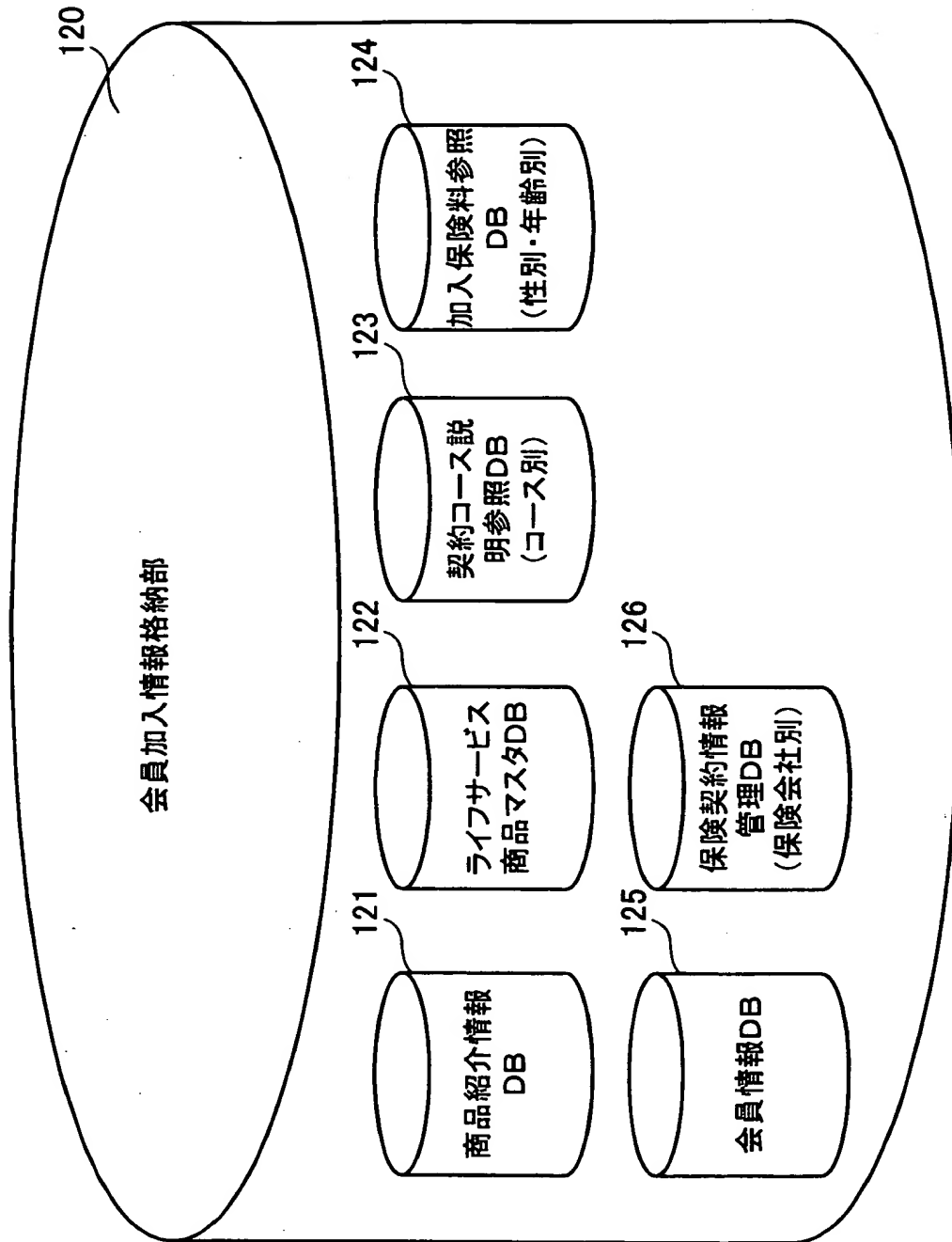
【図 5】



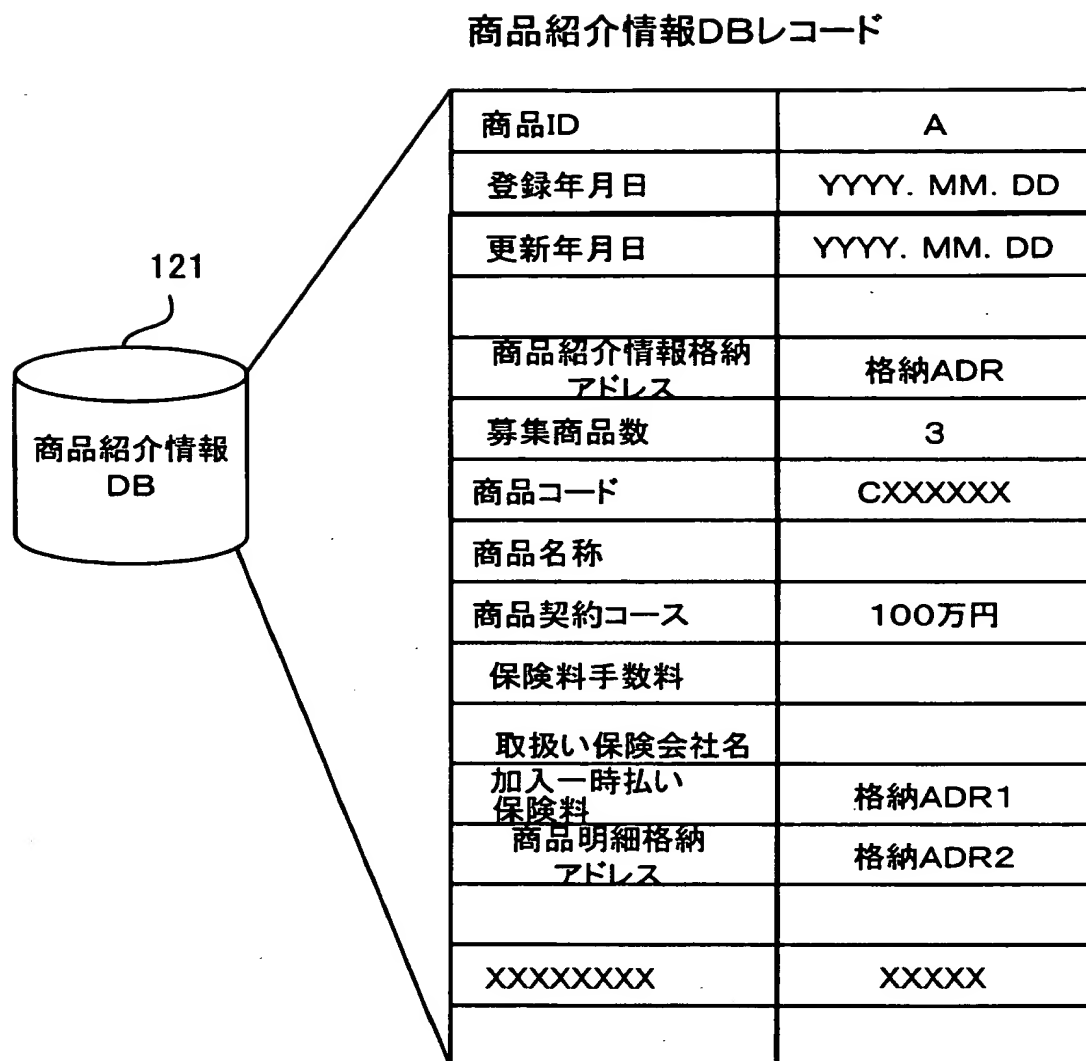
【図 6】



【図7】



【図 8】



【図 9】

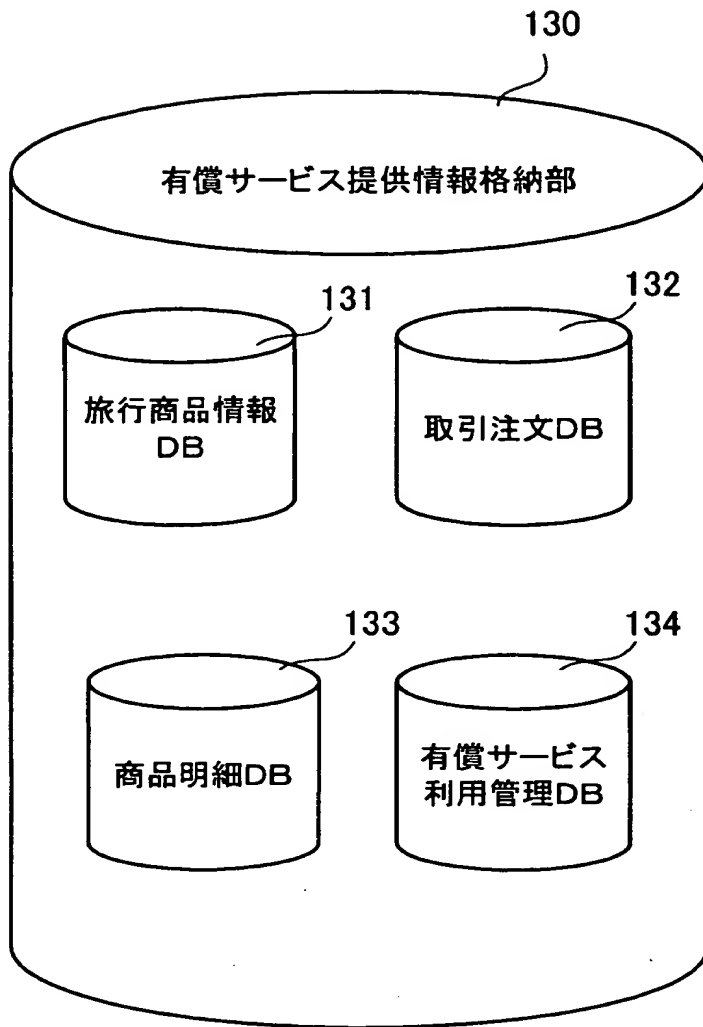
会員情報DBレコード

会員ID番号	C99999999
登録年月日	YYYY. MM. DD
更新年月日	YYYY. MM. DD
氏名(本人)	富士通太郎
基本情報 性別	男
生年月日	C99999999
住所	東京都品川区..
郵便番号	999-9999
家族情報	既婚者、2人
趣味	旅行
Eメールアドレス	
基本加入保険 契約コース	300万円
加入保険契約情報	格納ADR
他保険加入数	12
有償サービス利用状況	有無
利用回数	21
立替決済可能額(総額)	999,999,999
立替決済額	100,000
立替決済処理状態	0: 1:立替支払い 2:サービス実行完了 3:決済入金完了
与信情報	一時払い保険金
管理情報1	格納ADR
会員種別	0:仮会員 1:一般会員 2:パートナー
SOHOパートナー登録	有無
保有資格登録	有無
契約社員登録	有無
管理情報2	格納ADR
資格取得支援利用状況	有無
管理情報3	格納ADR
旅行企画提案利用状況	有無
管理情報4	格納ADR

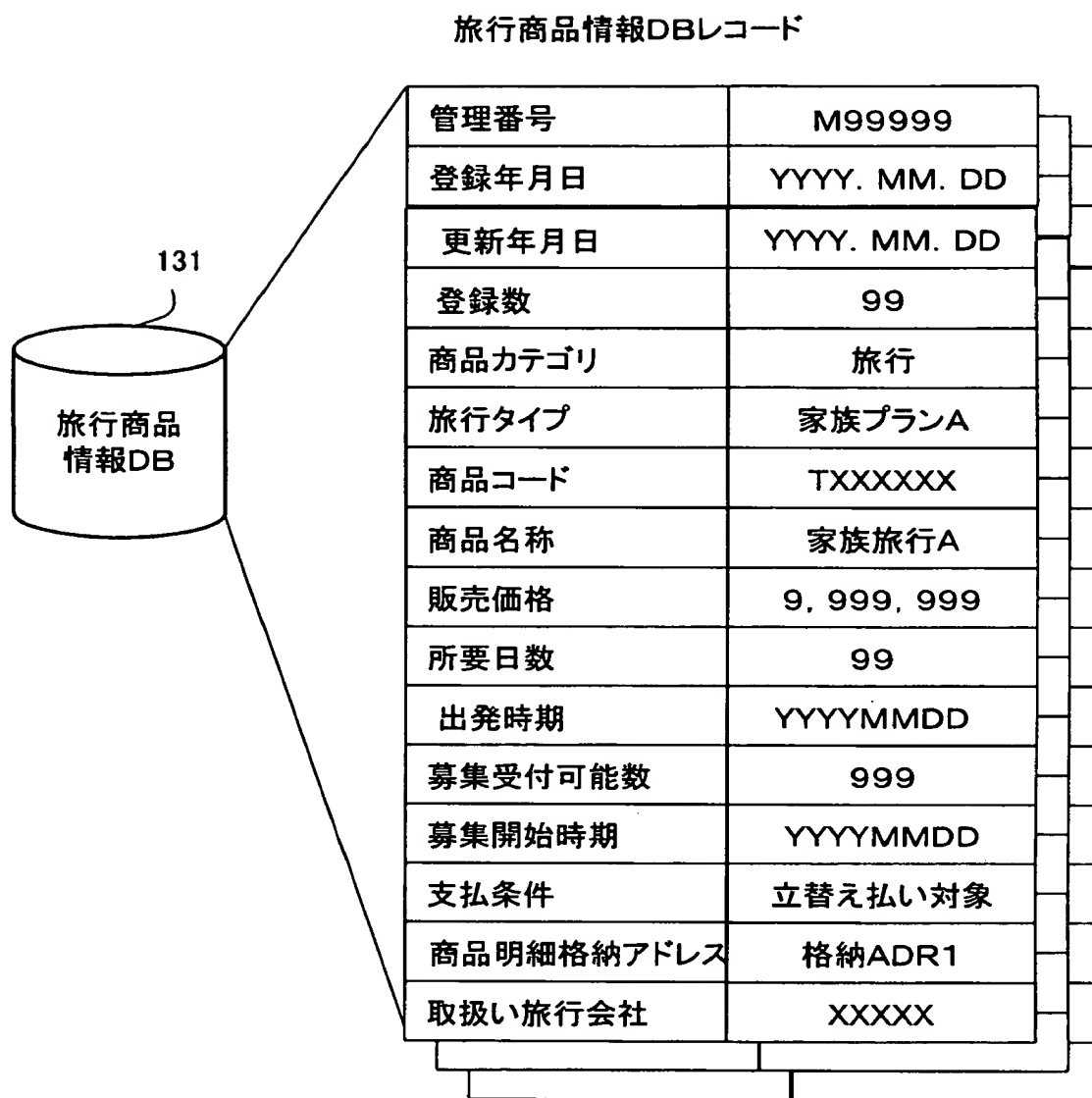
125

会員情報DB

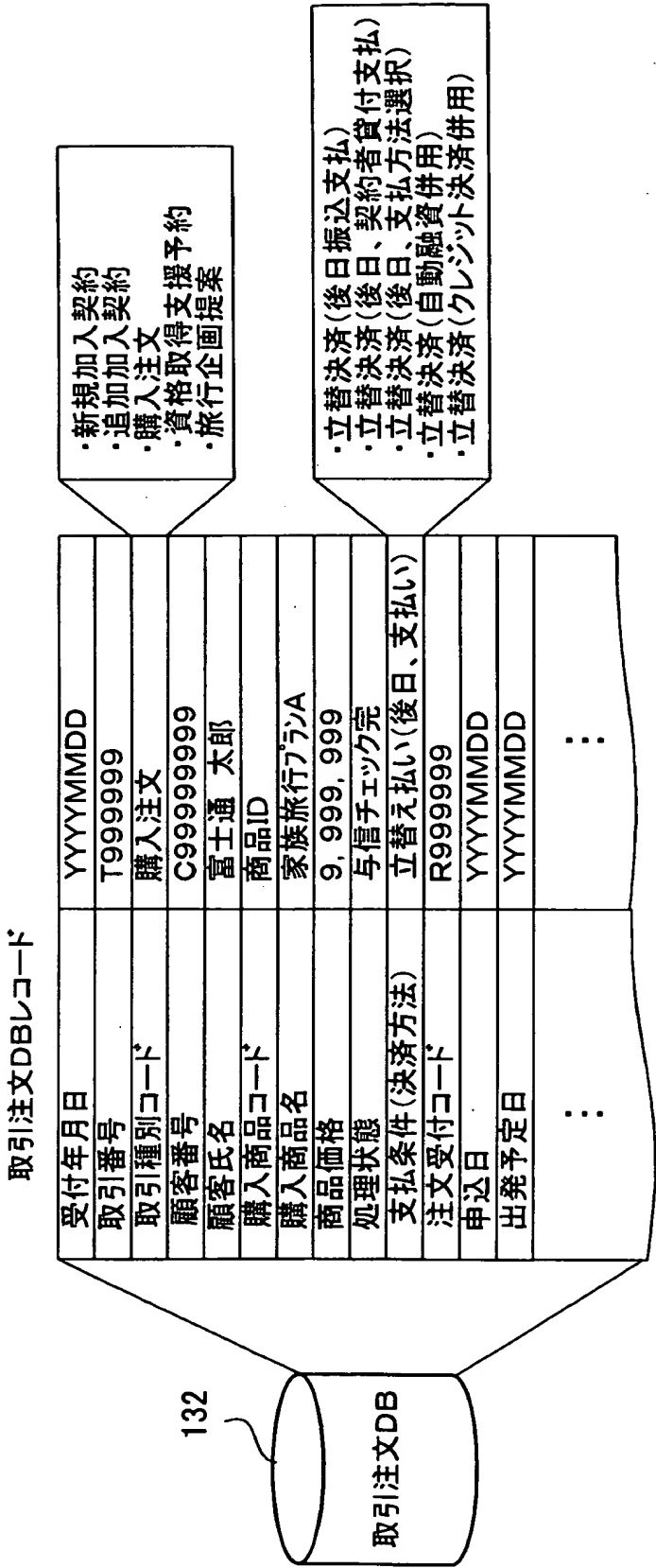
【図 1 0】



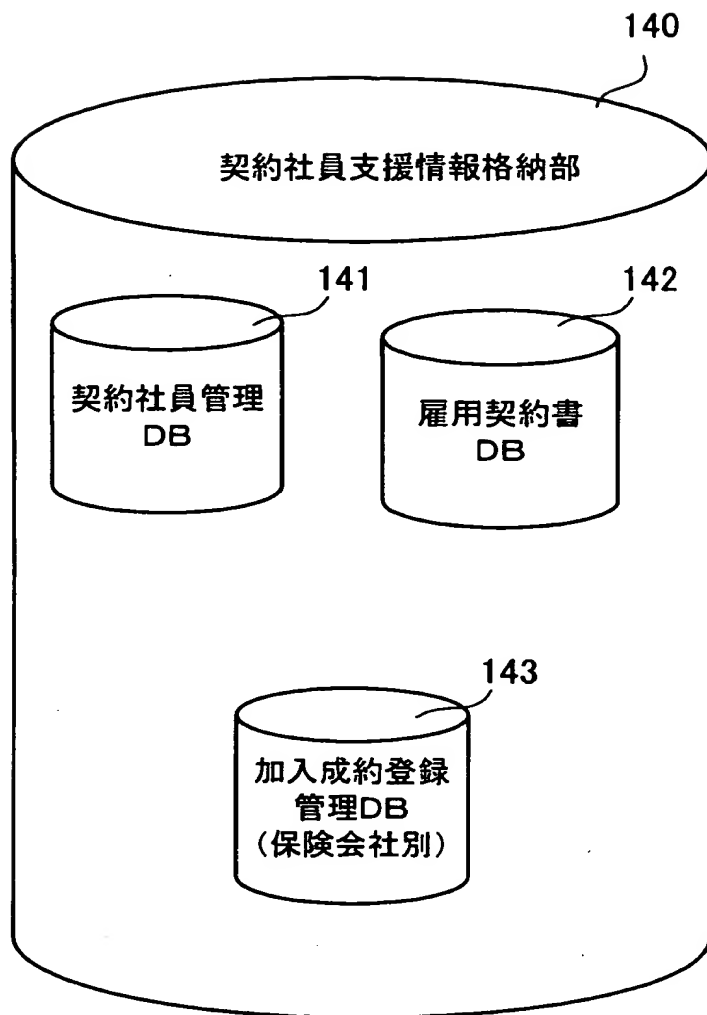
【図 1 1】



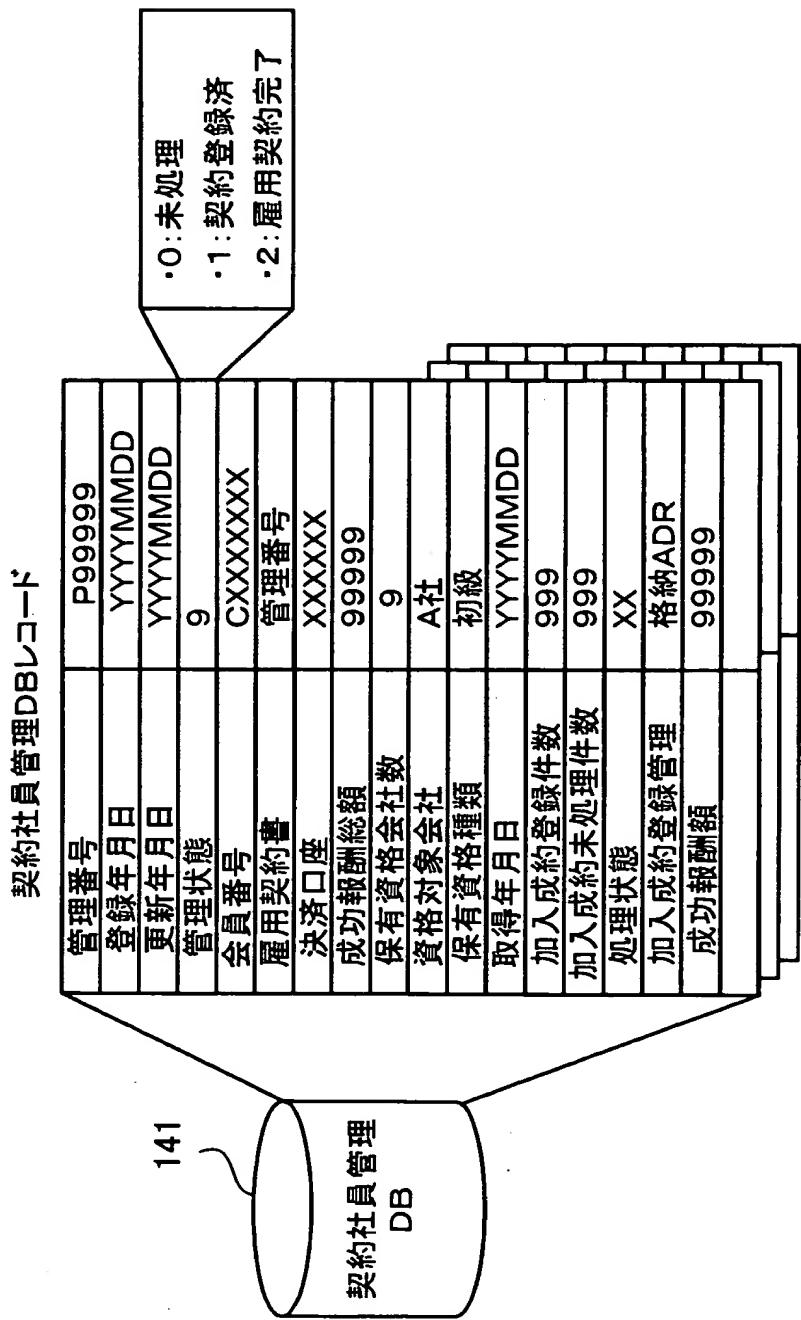
【図 12】



【図 1 3】

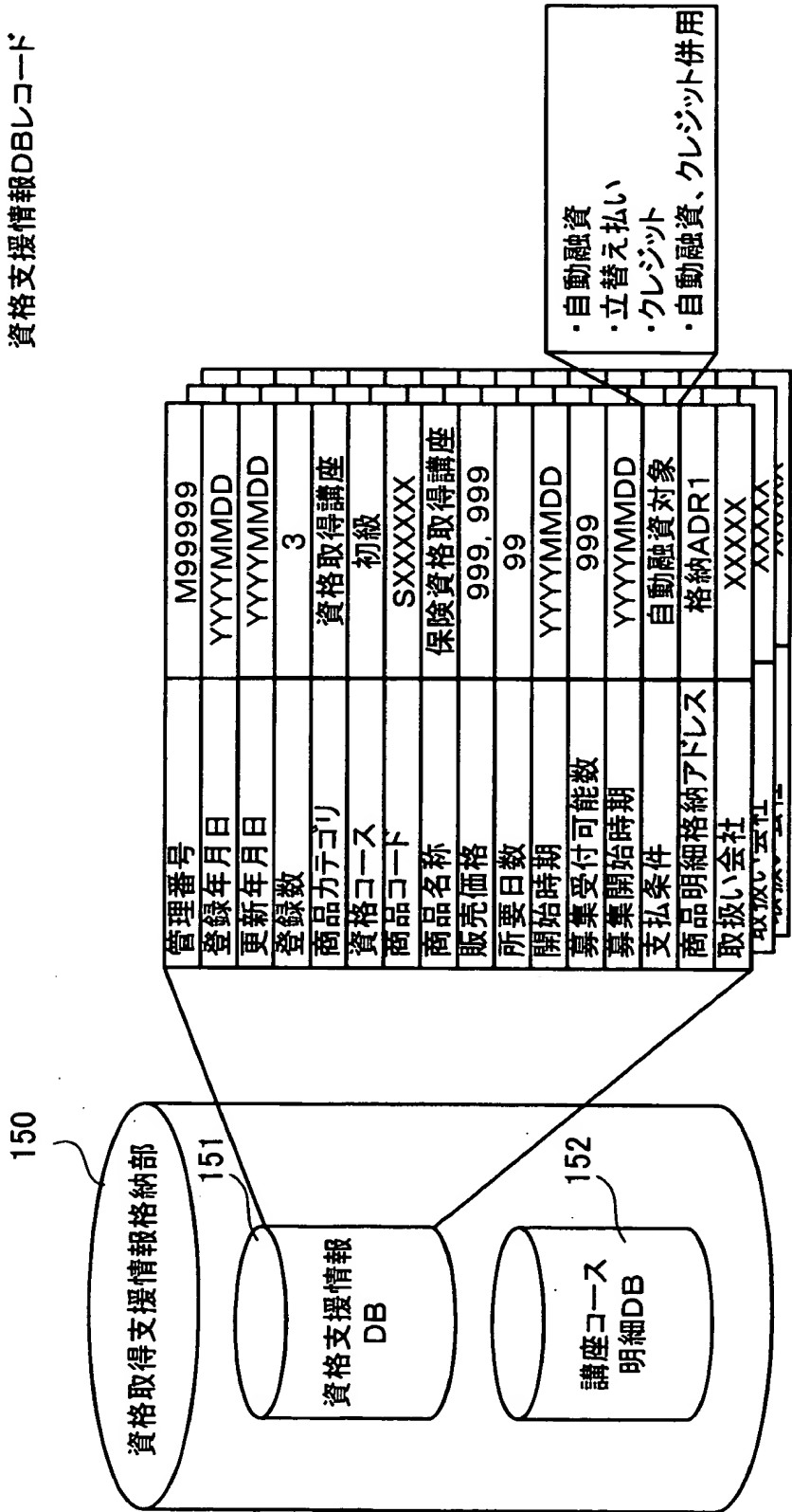


【図 1 4】

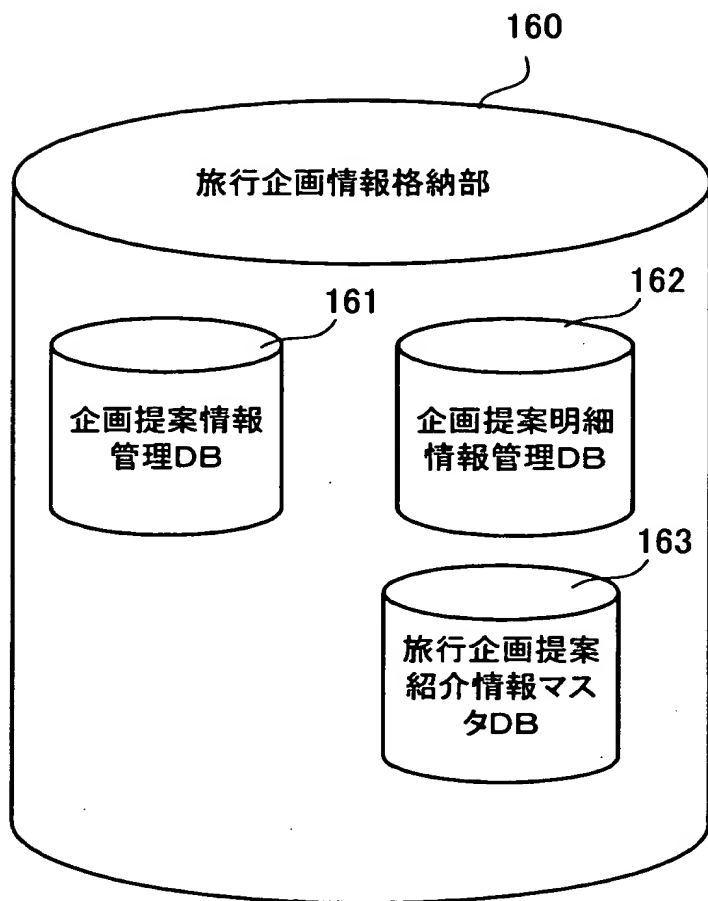


【図 15】

資格支援情報DBレコード

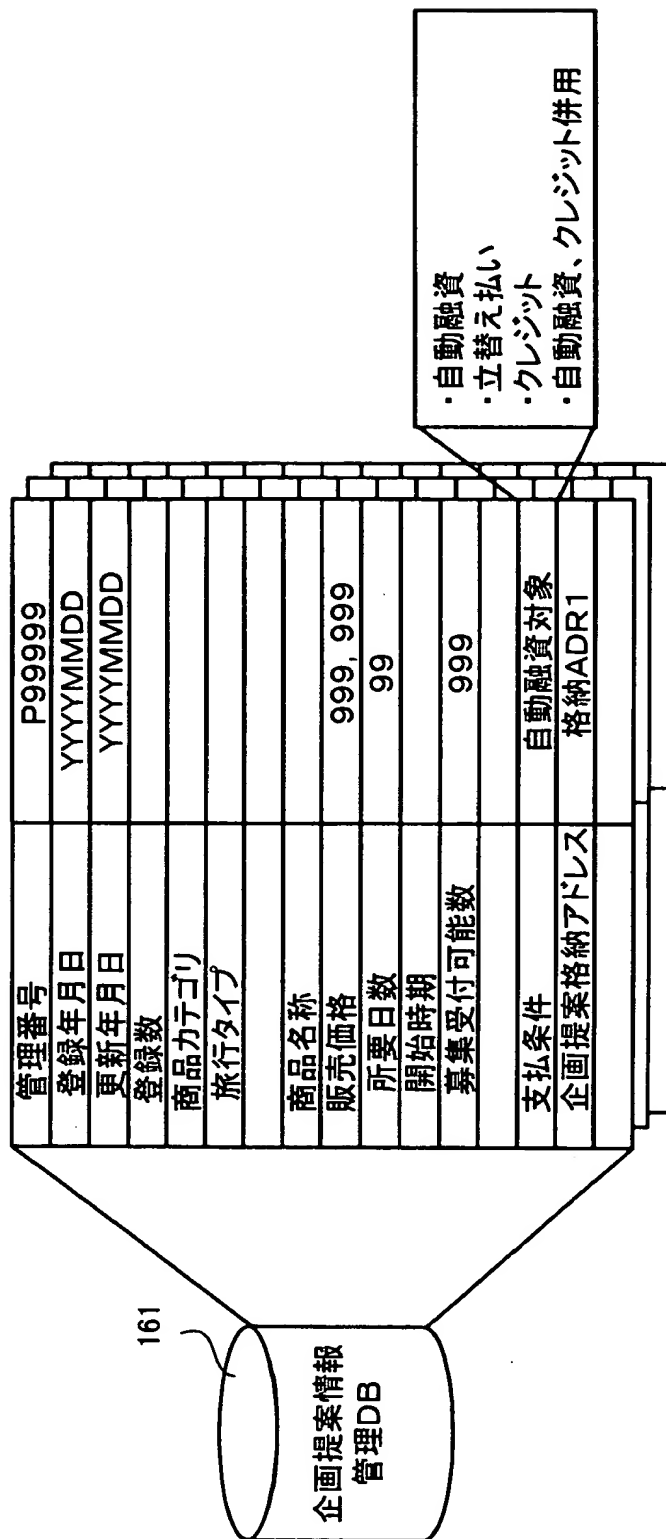


【図 1 6】

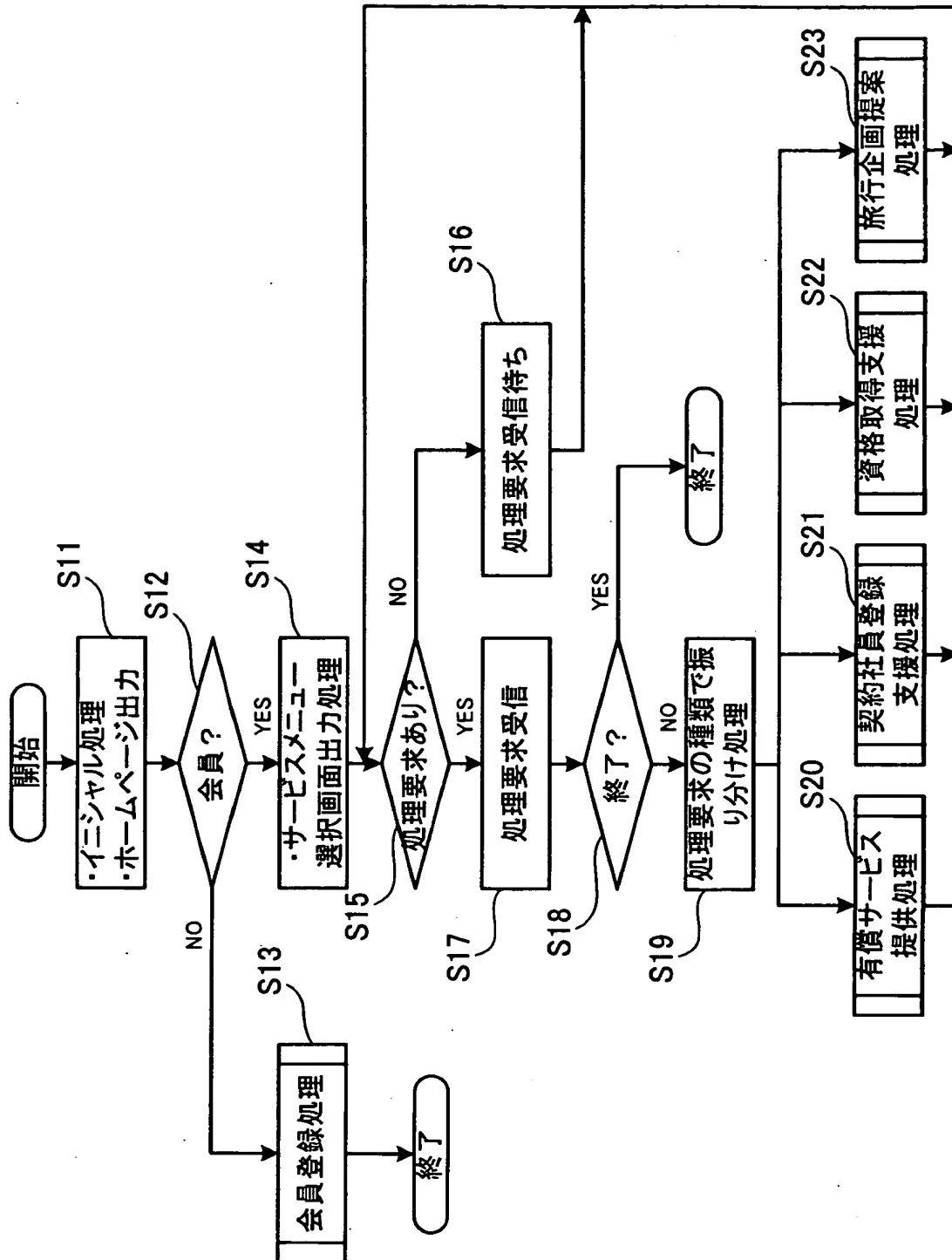


【図 17】

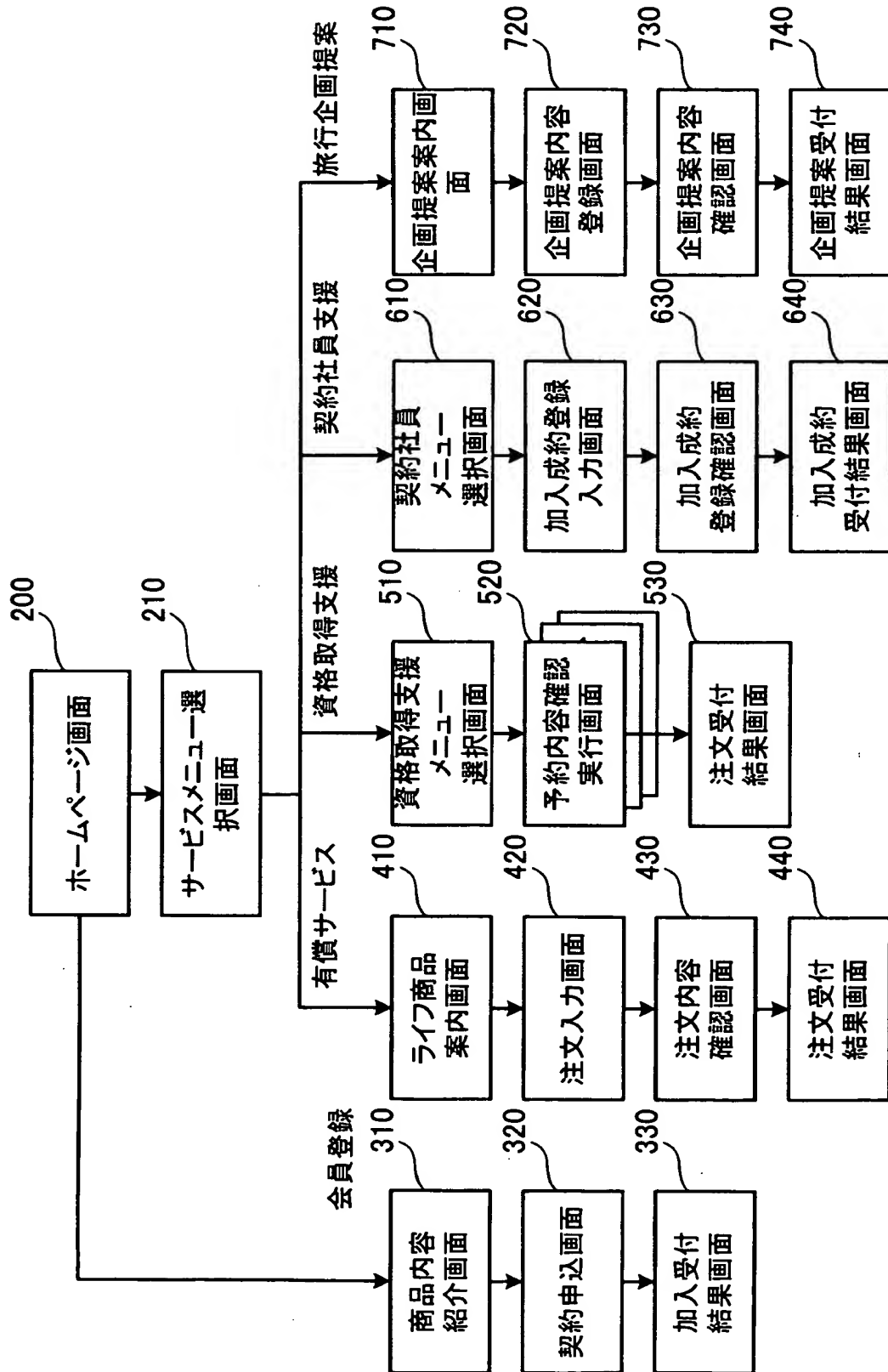
企画提案情報管理DBレコード



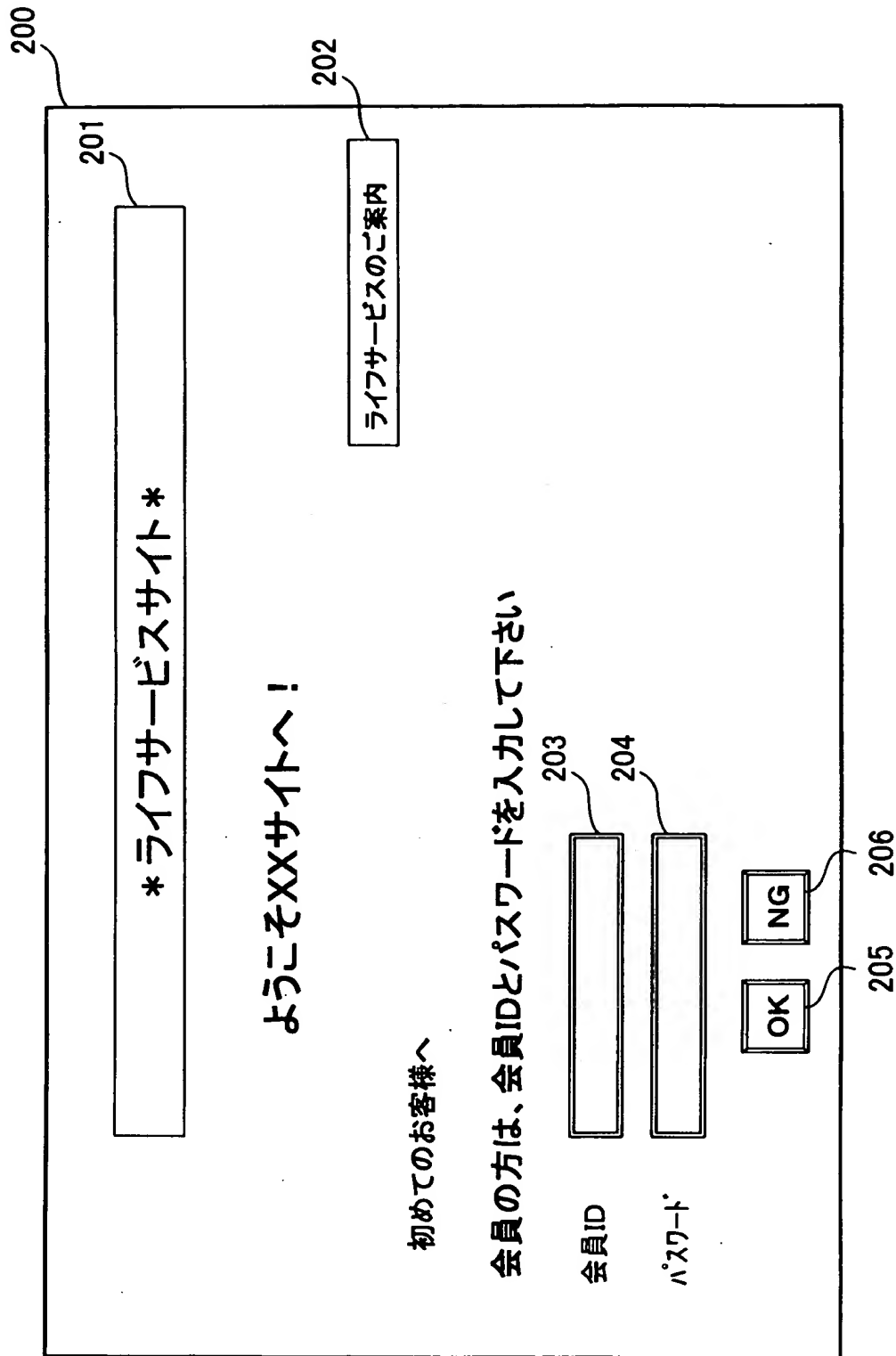
【図 18】



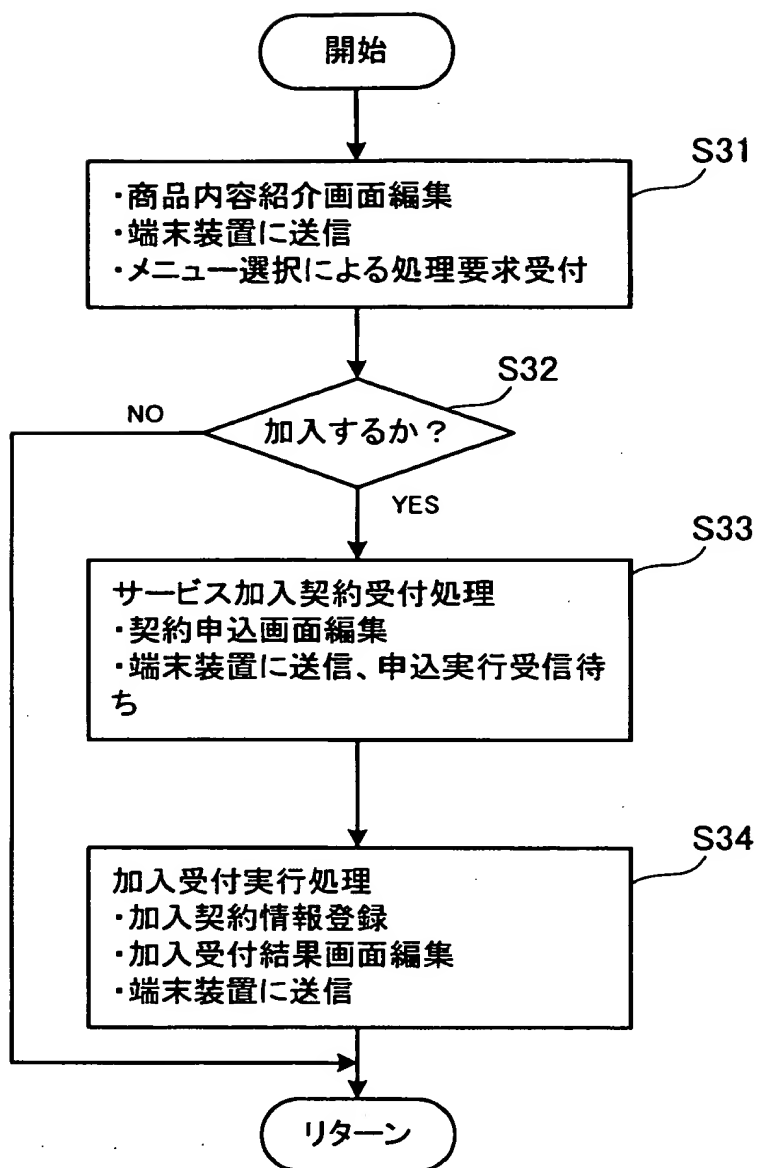
【図19】



【図 2 0】




【図 2 1】




【図 22】

ライフサービス商品のご案内




ライフサービスの商品のご案内


加入される方は、性別、年齢を設定して（加入されない方は、）
契約コースを選択して下さい


性別 ☒ 男 ☐ 女 年齢  ▼ 50歳

契約コース

☐ 100万円コース
☐ 200万円コース
☒ 300万円コース

 商品説明参照
 商品説明参照
 商品説明参照

 ホームページ

 選択

【図 23】

321 * 加入申込コーナー *

322 契約は、お客様の情報を入力して実行下さい

氏名(漢字) 姓

氏名(ローマ字) 姓

性別 ☐ 男 ☐ 女 婚姻 ☐ 既婚 ☐ 未婚

生年月日 年 月 日

家族情報 人

郵便番号

自宅住所

名

名

323 契約選択内容

契約コース

性別

加入年齢

一時払い保険料

300万円

男性

50才

9,999,999円

商品選択

324

実行

325

23

出証特 2001-3053261

【図 24】

The diagram illustrates a user interface for displaying membership application results. It consists of a main rectangular frame. At the top left, there is a horizontal rectangular box labeled 330 containing the text '* 加入受付結果 *'. To the right of this box is a large rectangular area labeled 332. Within this area, on the left, is a smaller box labeled 331 containing three lines of text: '・顧客氏名 富士通 太郎様', '・顧客番号 C999999999', and '・受付コード R99999'. To the right of box 331, the text '契約内容' is centered above a horizontal line. Below this line, the following information is displayed: '契約コース 300万円', '性別 男性', '加入年齢 50才', and '一時払い保険料 9,999,999円'. At the bottom right of the main frame, there is a small rectangular box labeled 333 containing the text 'ホームページ'.

330

331

332

333

* 加入受付結果 *

・顧客氏名 富士通 太郎様

・顧客番号 C999999999

・受付コード R99999

契約内容

契約コース 300万円

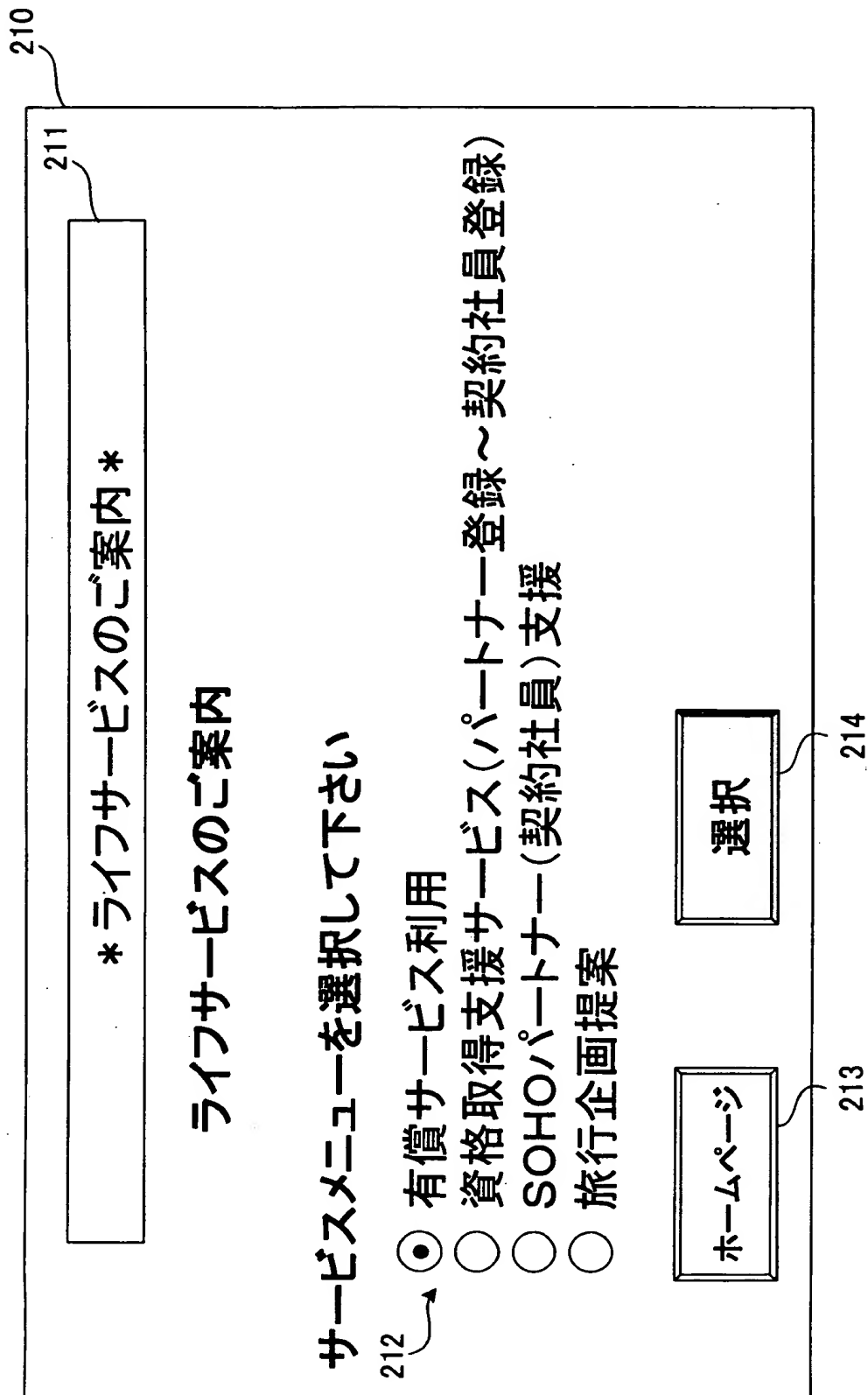
性別 男性

加入年齢 50才

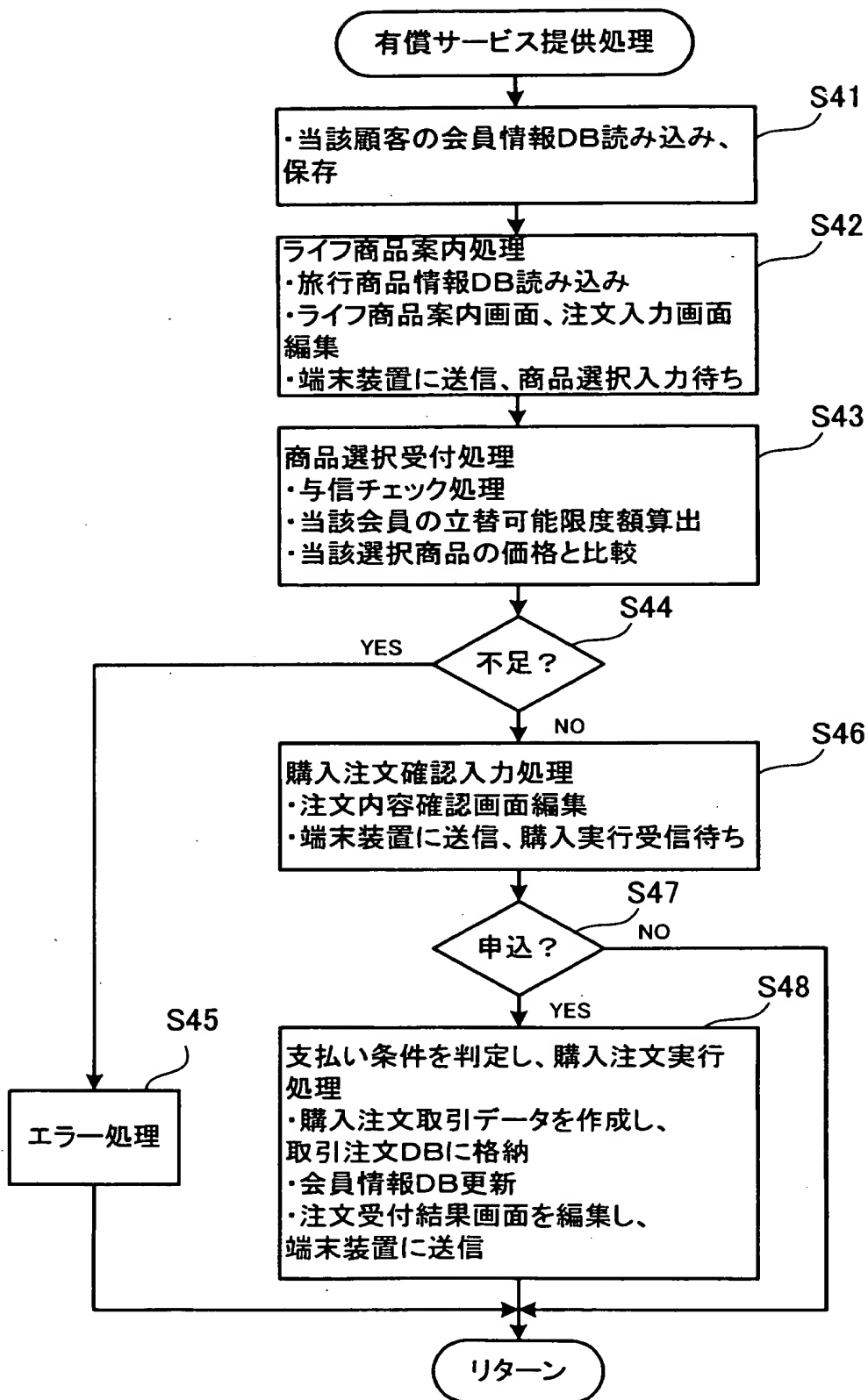
一時払い保険料 9,999,999円

ホームページ

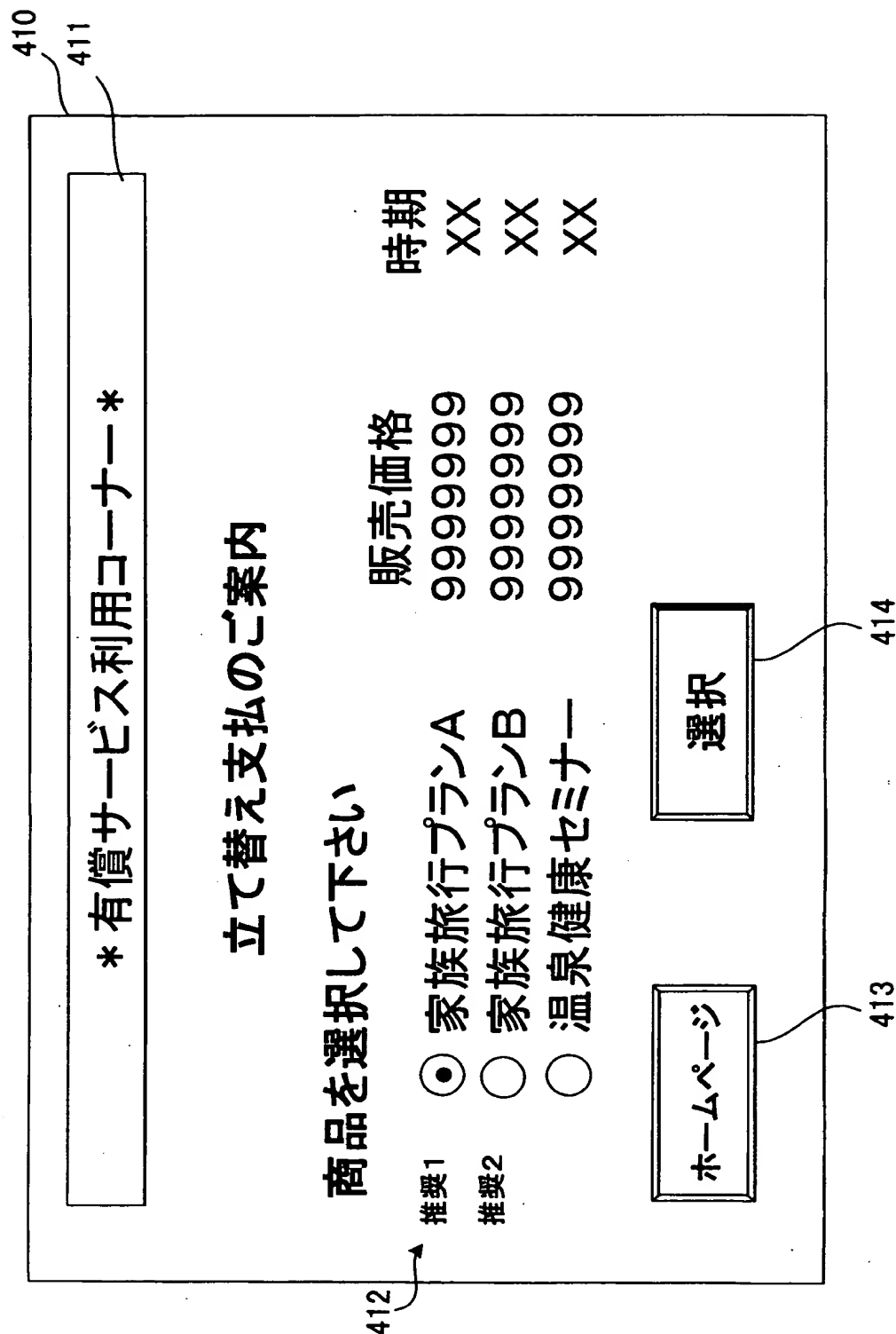
【図 25】



【図 2 6】



【図 27】



【図 2 8】

420

421

* 購入注文コーナー *

商品名	価格	出発日	宿泊日数
家族旅行A	9, 999, 999	MMDD	3

422

立て替え払い可能額 9, 999, 999円

423

ご出発希望日、支払方法を入力して下さい

・出発希望日

2001

年

月

日

・支払い方法

424

☒ 立て替え払い(後日、振込支払)

☐ 立て替え払い(後日、契約者貸付融資支払)

☐ 立て替え払い(後日、支払方法を選択)

425

実行

【図 2 9】

430
431
* 購入注文コーナー *

432
ご注文の内容を確認して下さい

商品名	価格	出発時期	宿泊日数
家族旅行A	9, 999, 999	MMDD	99

433
支払い条件

・支払い方法
立て替え払い(後日、振込支払)

・立替え支払利用額
9, 999, 999円

434
実行

435
取消

【図 30】

440

441

442

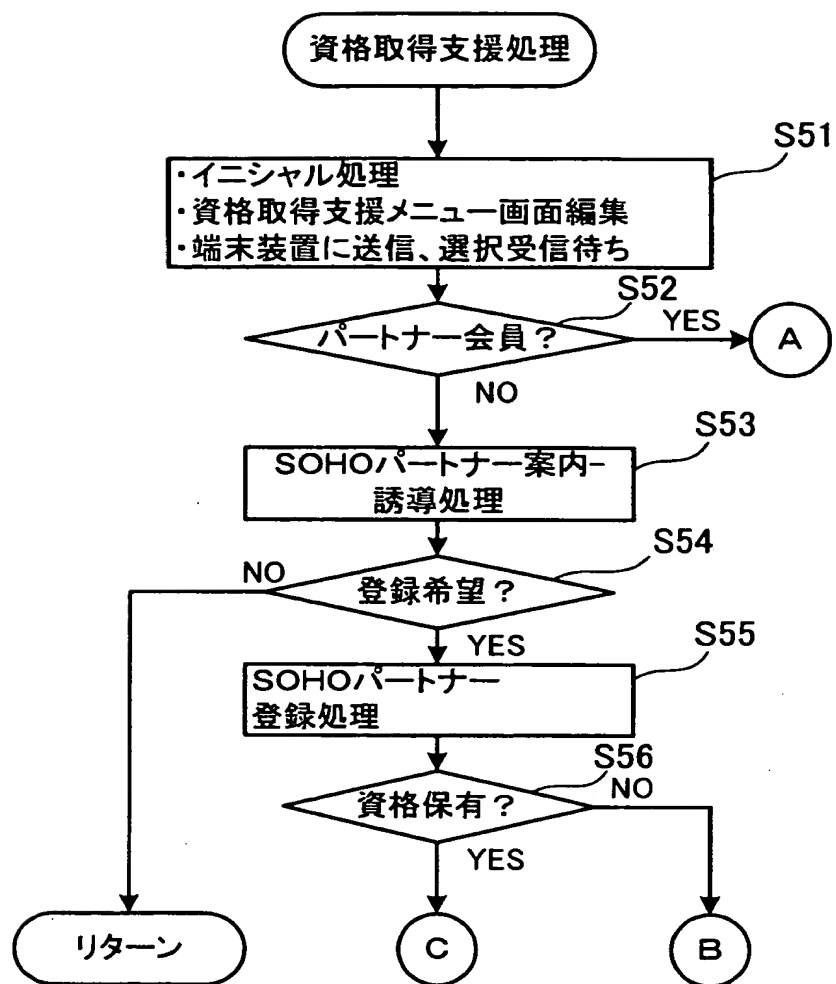
注文受付結果

・顧客氏名	富士通 太郎様
・顧客番号	C999999999
・受付コード	R999999
・予約商品	旅行プランA
・価格	9,999,999円
・支払い方法	立替え支払い(後日、振込支払)
・出発予定日	9999年99月99日

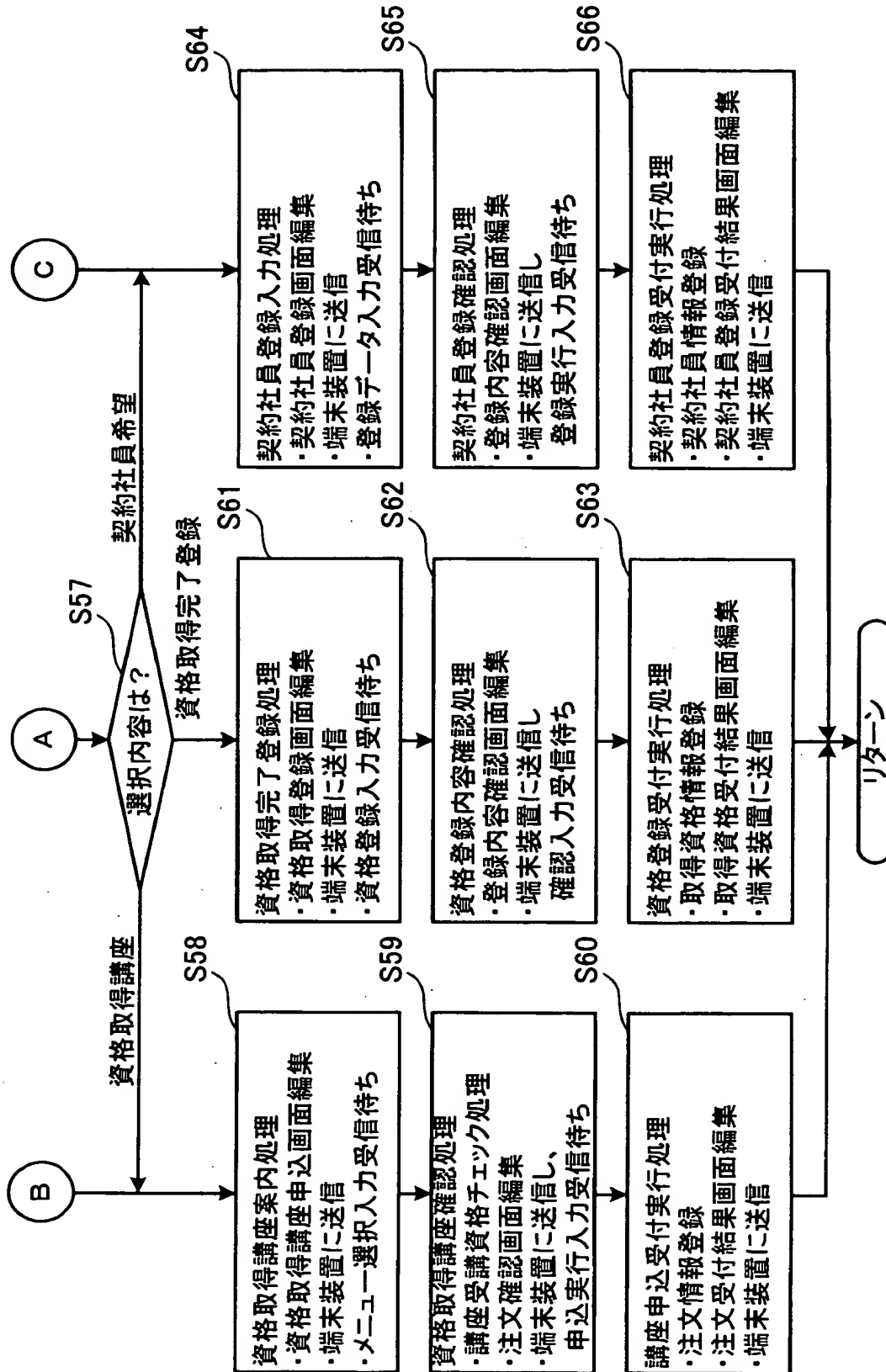
443

メニュー選択

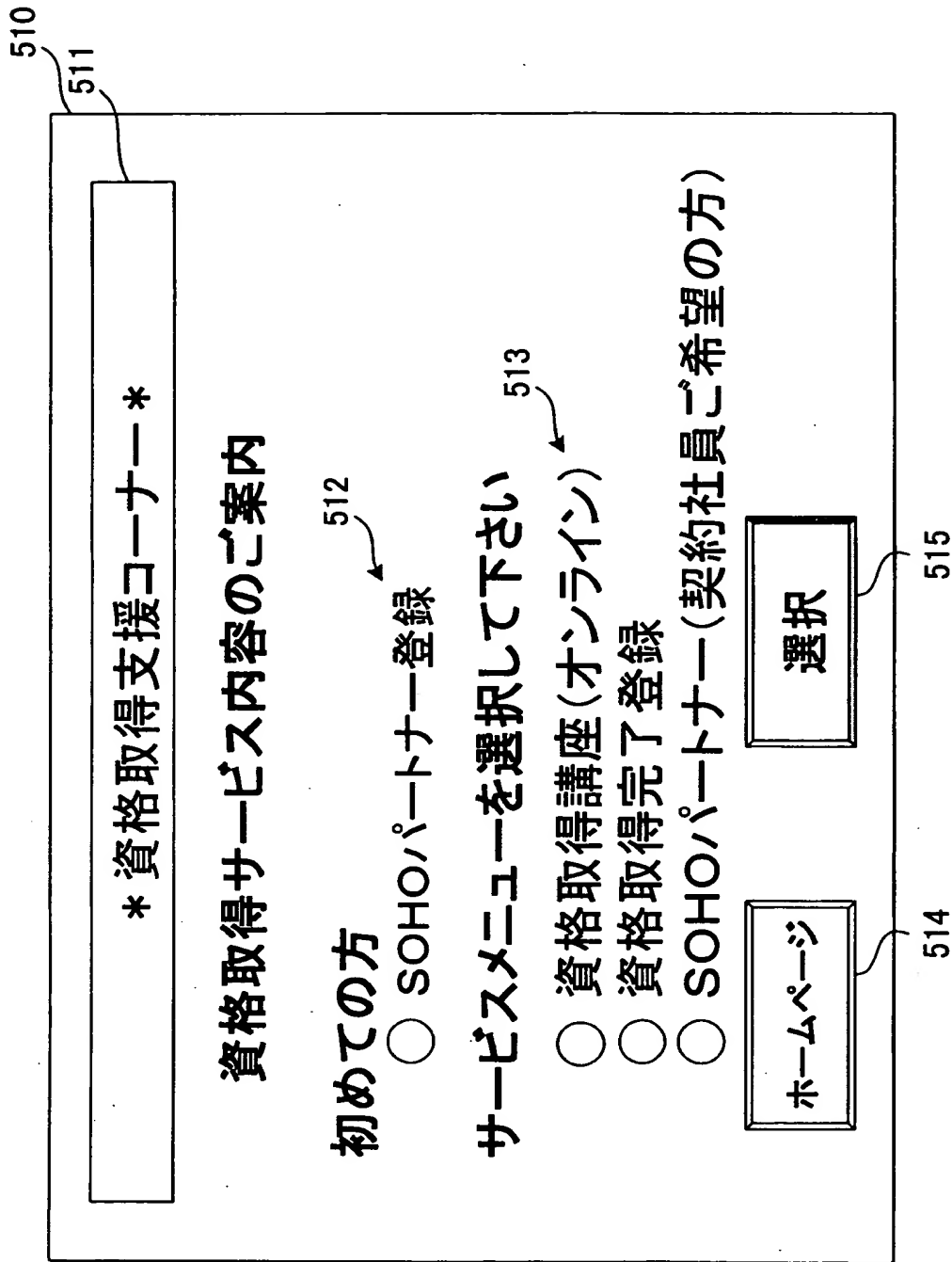
【図 31】



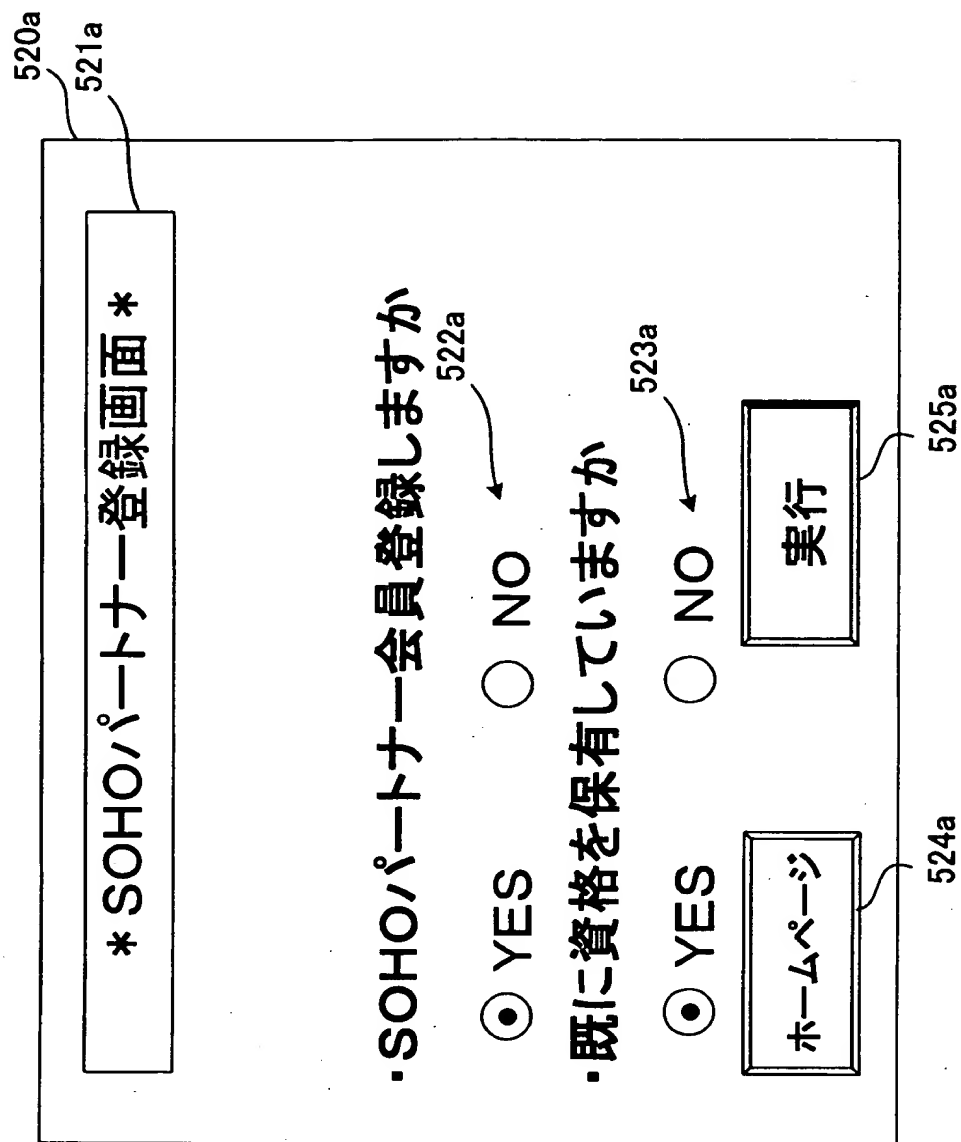
【図 32】



【図 33】



【図 34】



【図 35】

520b

521b

* 資格取得支援コーナー *

A社資格取得講座のご案内

受講コースを選択して下さい

522b

	販売価格	所要日数
<input checked="" type="radio"/> 初級コース	999999	1.5W
<input type="radio"/> 普通コース	999999	5W
<input type="radio"/> 上級コース	999999	5W

ホームページ

選択

523b

524b

【図 36】

520c

521c

* 資格取得支援コーナー *

ご注文の内容を確認して下さい

講座名

価格

所要日数

522c

初級資格

999,999

1.5W

支払い条件

523c

・支払い方法

会員補助

実行

524c

取消

525c

【図 37】

530

531

532

* 注文受付結果 *

・顧客氏名	富士通 太郎様
・顧客番号	C999999999
・受付コード	R999999
・受講コース	初級資格
・価格	999,999円
・所要日数	1.5W
・支払い方法	会員補助

533

ホームページ

【図 38】

520d

521d

522d

* 資格取得支援コーナー *

ご案内の内容を確認の上、取得資格を登録して下さい。

- ・資格対象会社: A社
- ・受講コース: 初級資格
- ・受講開始日: YYYY. MM. DD
- ・支払方法: 補助利用

・取得資格対象会社

523d

▼

▼ A社

・取得資格種類

524d

▼

▼ 初級

・取得年月日

526d

メニュー選択

日

525d

実行

527d

【図 39】

520e 521e

*** 資格取得支援コーナー ***

取得資格の内容を確認して、登録実行して下さい

522e

- ・資格対象会社:A社
- ・受講コース:初級資格
- ・受講開始日:YYYY. MM. DD
- ・支払方法:補助利用

523e

- ・取得資格対象会社:A社
- ・取得資格種類:初級
- ・取得年月日:YYYYMMDD

524e 525e

実行 取消

【図 40】

530a

531a

* 資格取得支援コーナー *

資格取得の登録を以下のとおり受付しました。

532a

- ・資格対象会社:A社
- ・受講コース:初級資格
- ・受講開始日:YYYY. MM. DD
- ・支払方法:補助利用

533a

- ・取得資格対象会社:A社
- ・取得資格種類:初級
- ・取得年月日:YYYYMMDD

534a

戻る

【図 4 1】

520f

521f

* SOHOパートナー(契約社員)支援コーナー *

ご案内の内容を確認の上、ご希望の方は、
契約社員登録して下さい。

522f

・SOHOパートナー未登録の方
・資格未保有者の方
・資格登録更新／追加の方

・保有資格対象会社

・保有資格種類

・取得年月日

▼A社 523f

▼初級 524f

年 月 日 525f

メニュー選択 526f

実行 527f

【図 4 2】

520g

521g

* SOHOパートナー(契約社員)登録受付コーナー*

資格登録の内容を確認して, 登録実行して
下さい

522g

- ・保有資格対象会社:A社
- ・保有資格種類:初級
- ・取得年月日:YYYYMMDD

523g

実行

524g

取消

【図 43】

530b

531b

*** SOHOパートナー受付結果 ***

532b

以下の通り受付ました。
雇用契約書を郵送しますので、所定の項目を記載の上、折り返し
ご返送下さい。

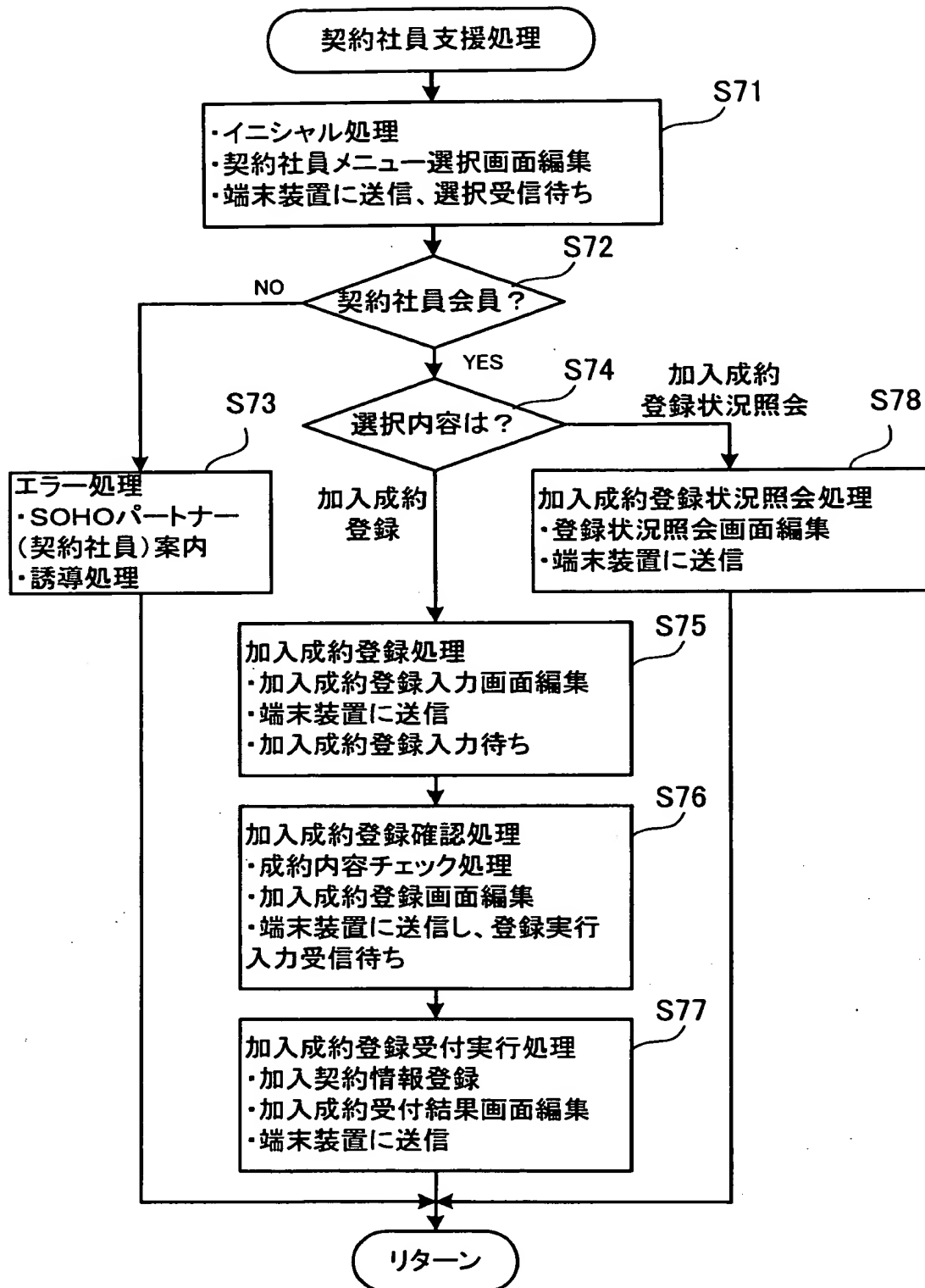
533b

・顧客氏名	富士通 太郎様
・顧客番号	C999999999
・受付コード	R99999
・受付年月日	YYYYMMDD

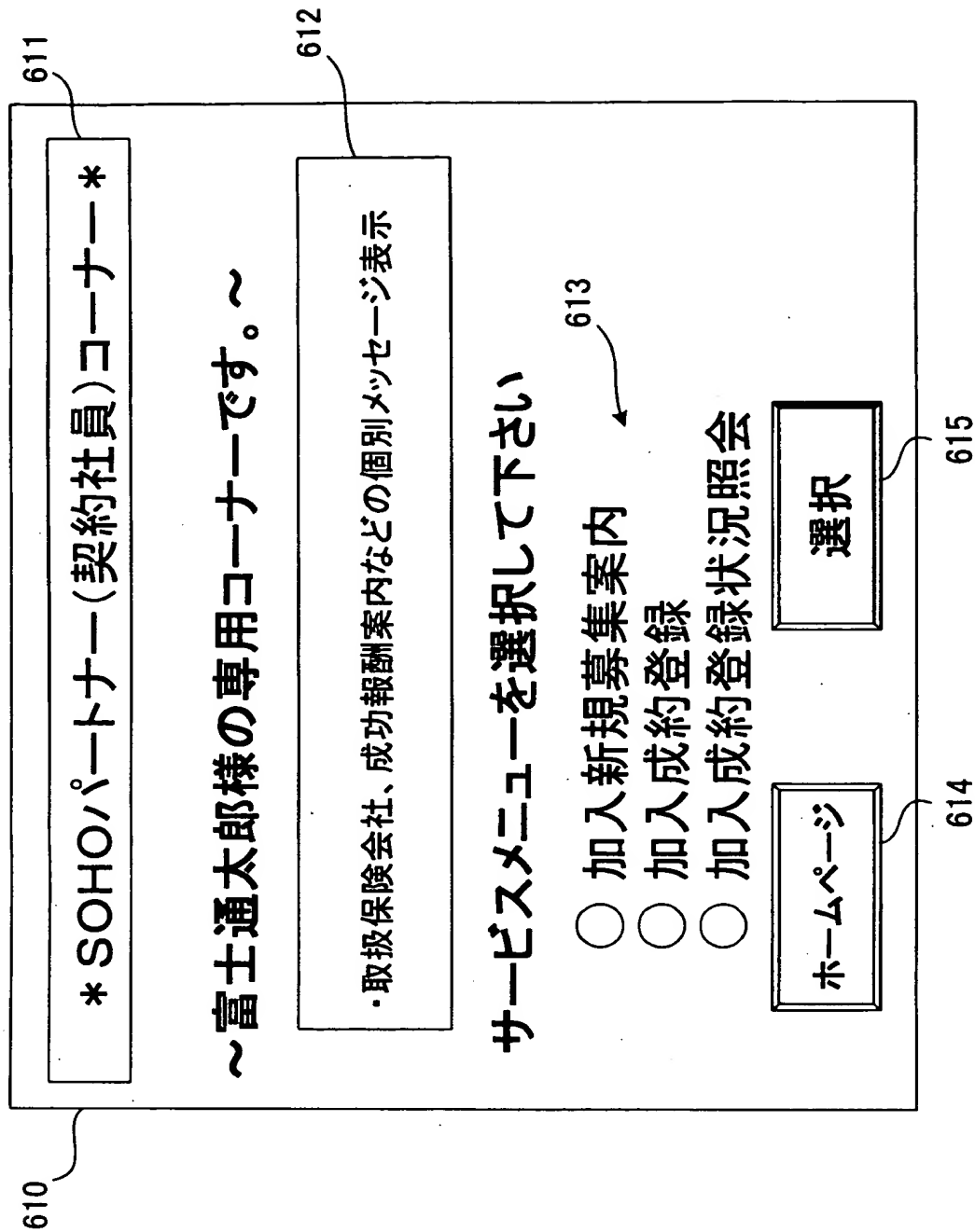
534b

ホームページ

【図 4 4】



【図 45】



【図 46】

620

621

SOHOパートナー(契約社員)コーナー

加入契約概要

622

氏名(漢字) 姓 名

624

氏名(ローマ字) 姓 名 年齢 ▼50歳

623

性別 ●男 ○女

契約コース

625

○100万円コース

○200万円コース

●300万円コース

626

実行

627

取消

【図 47】

630

631

* SOHOパートナー(契約社員)コーナー *

契約は、お客様の情報を入力して実行
下さい

632

氏名(漢字) 姓 名

氏名(ローマ字) 姓 名

契約内容

契約コース 300万円

性別 男性

加入年齢 50才

一時払い保険料 9,999,999円

633

634

実行

635

取消

【図 48】

640

641

* SOHOパートナー(契約社員)コーナー *

お客様から受領した加入申込書を郵送して下さい。

644

642

・顧客氏名 XXXX 様
 ・顧客番号(仮番号) C999999999
 ・受付コード R99999

643

・パートナー会員氏名 富士通 太郎 様
 ・顧客番号(仮番号) C999999999
 ・受付コード R99999

契約内容

契約コース 300万円

性別 男性

加入年齢 50才

一時払い保険料

645

ホームページ

9,999,999円

【図 49】

650

651

* SOHOパートナー(契約社員)コーナー *

652

・取扱保険会社数:1社
・保険会社 :A社

653

XX月登録分

契約コース	性別	年齢	一時払い保険料	顧客氏名	受付コード	処理状態
300万円	男性	50才	9,999,999円	XXXX	R99999	入金完了
100万円	女性	50才	9,999,999円	XXXX	R99999	契約書受領
200万円	男性	50才	9,999,999円	XXXX	R99999	未入金

654

ホームページ

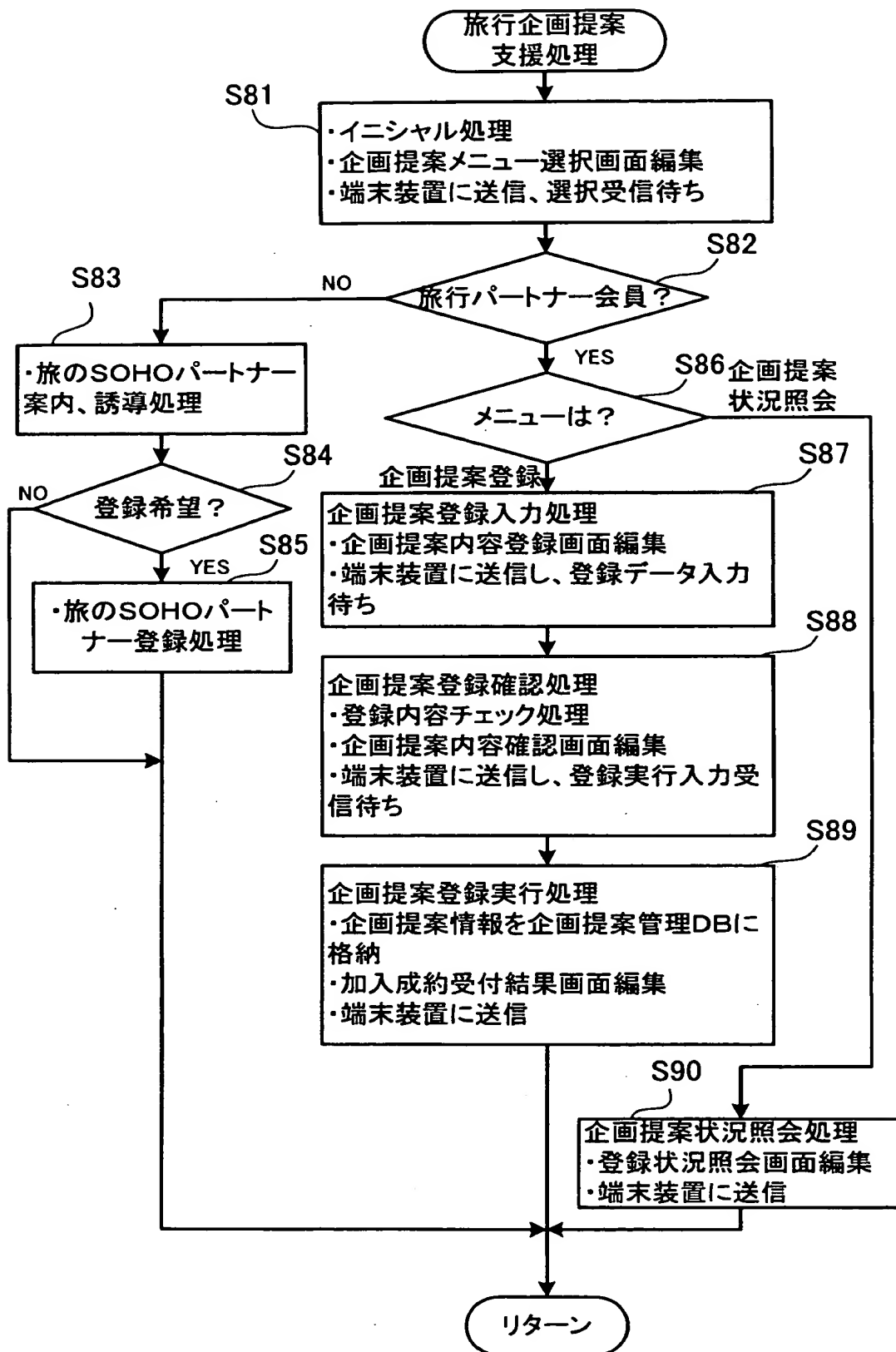
655

戻る

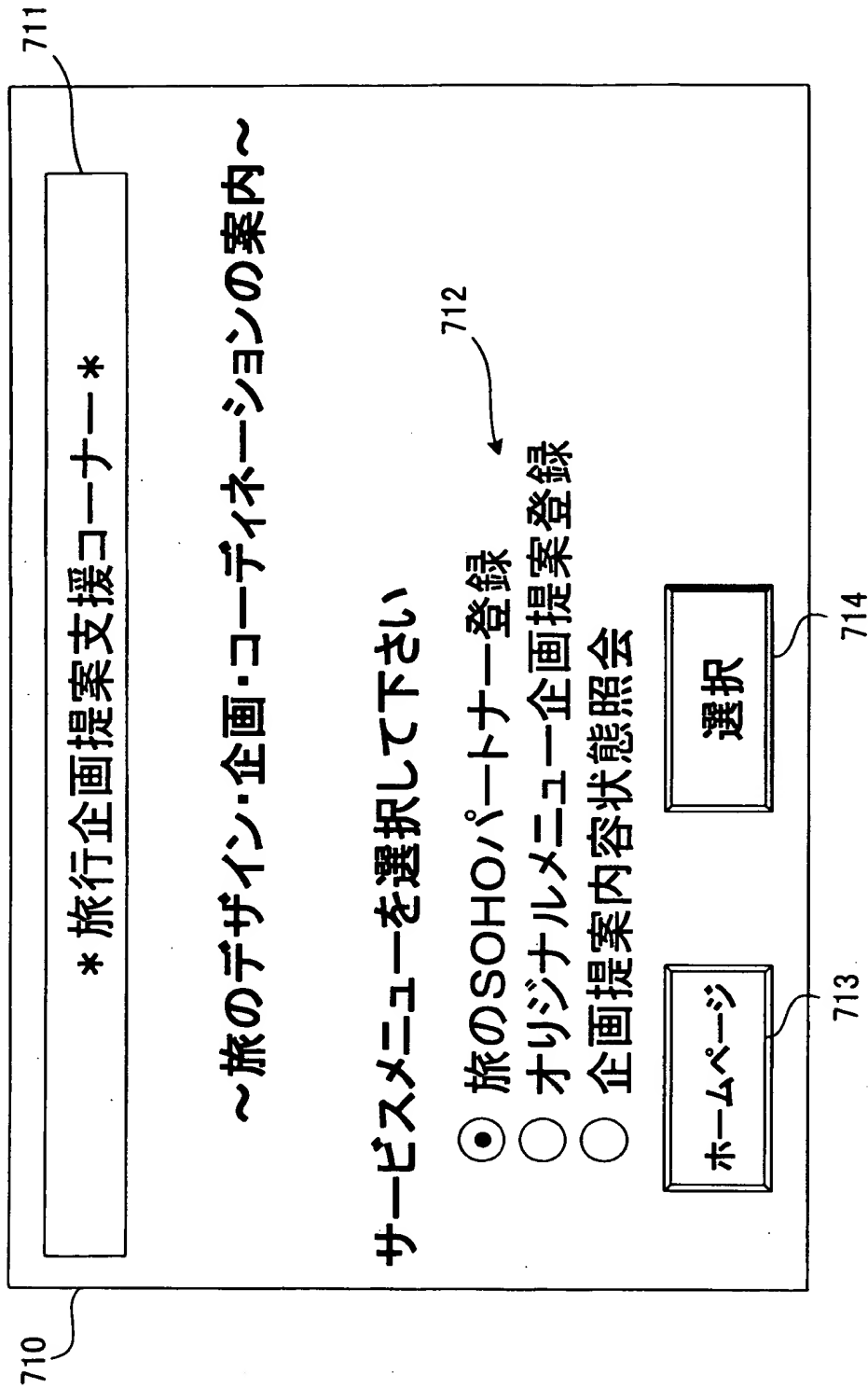
49

出証特 2001-3053261

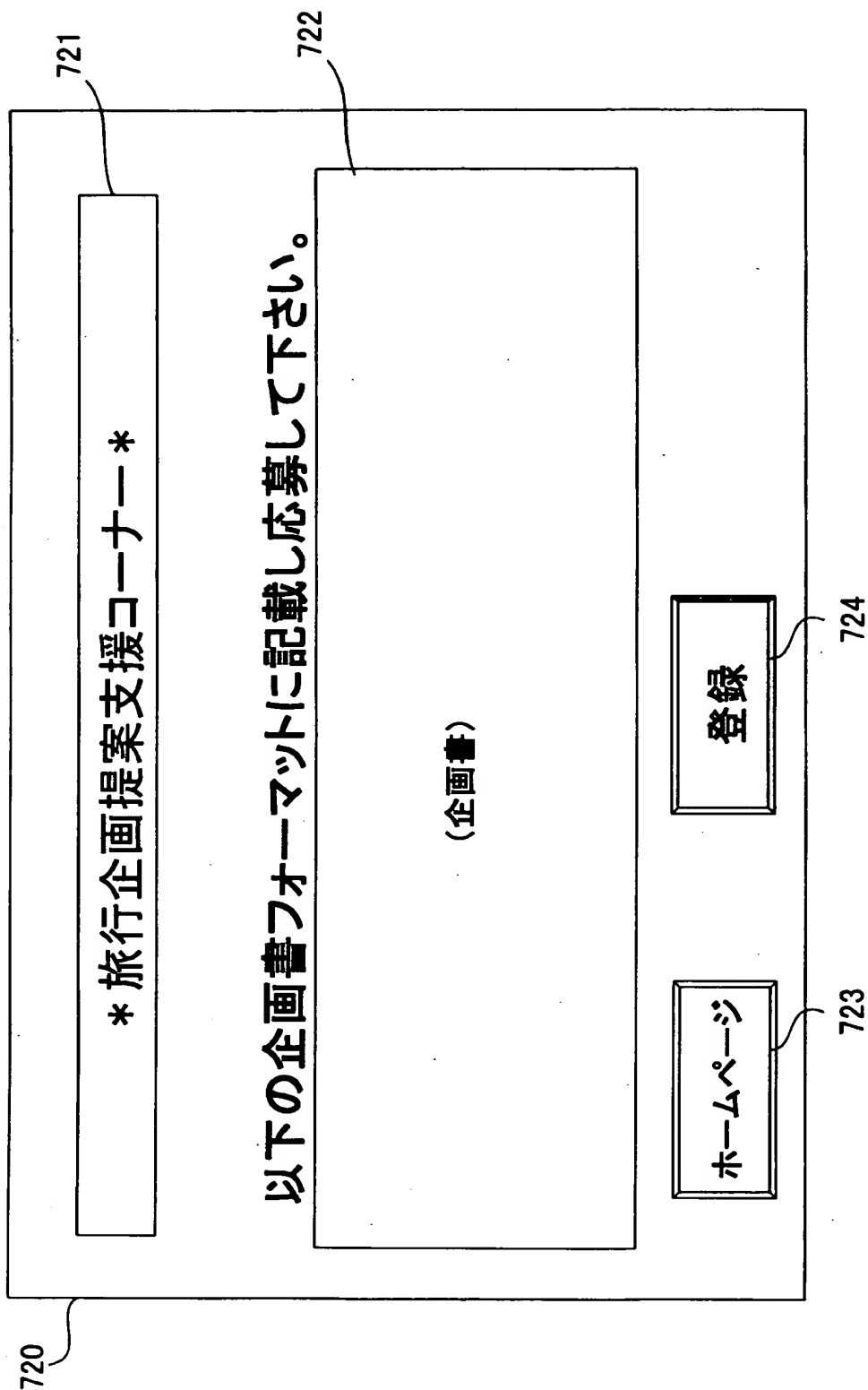
【図50】



【図 51】



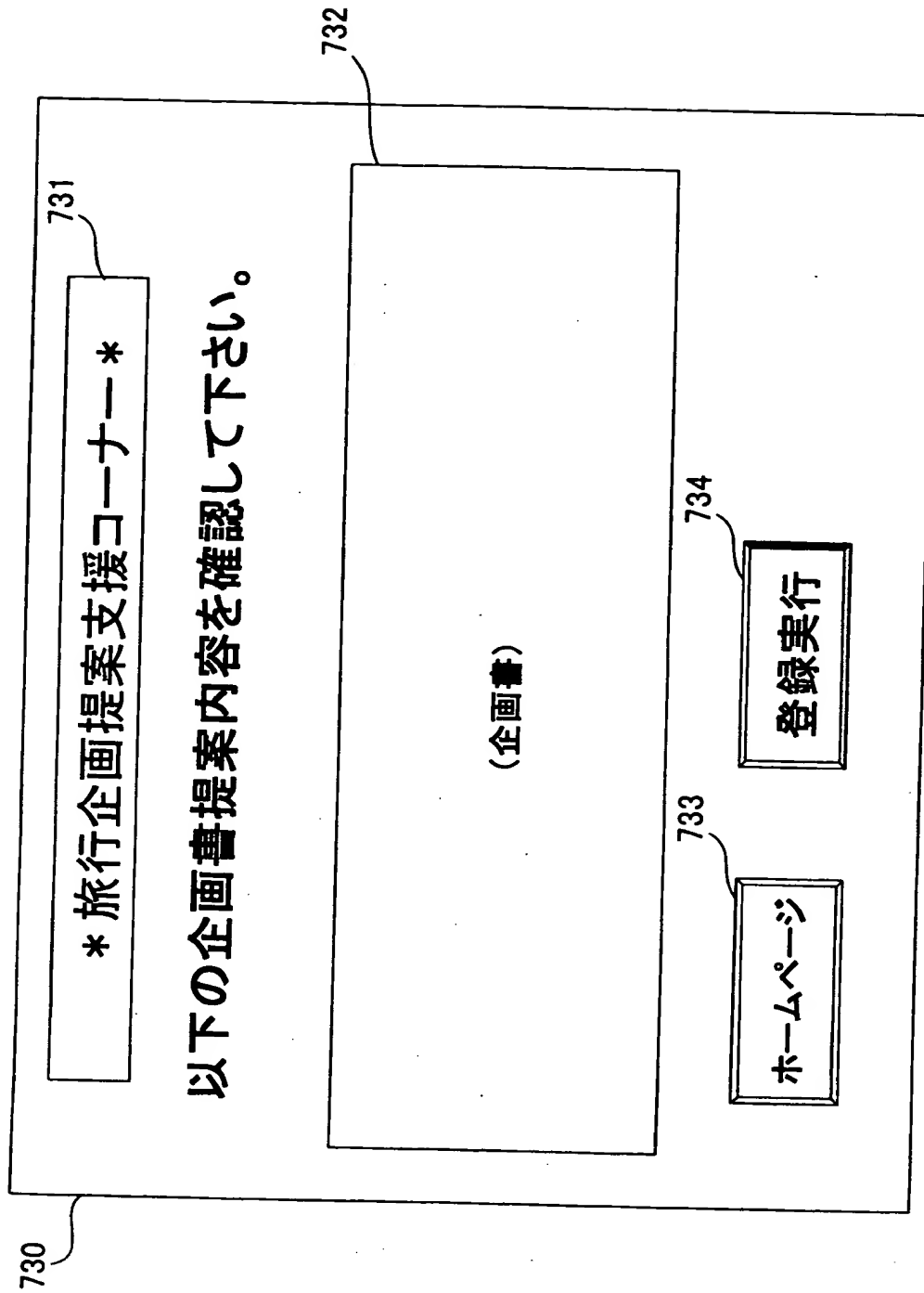
【図 52】



【図 53】

800		811	812	813	814	815	841a	841b	841c	841d
810	企画者	氏名								
		住所								
		TEL								
		FAX								
820		メールアドレス								
830		企画名								
840		企画コンセプト								
841		主要行程	実施予定 時期	行先	宿泊先	特記事項				
842	企画提案内容									
843		推奨販売額								
844		販売マーケット								
845		提案理由								
850	その他									

【図 54】



【図 55】

740

741

* 旅行企画提案受付結果 *

742

・顧客氏名	富士通 太郎様
・顧客番号	C999999999
・受付コード	R99999
・受付年月日	YYYYMMDD

743

ホームページ

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 生活の向上に寄与する利便性の高いサービスの提供を支援する。

【解決手段】 ネットワークを介して、所定の代金を支払って入会手続きを行った利用者 1 に対して有償サービスを紹介する（ステップ S 1 0 4）。そして、有償サービスの申込を、ネットワークを介して接続された利用者 1 の操作する端末装置 4 0 より受け付ける（ステップ S 1 0 5）。すると、利用者 1 が支払った所定の代金に基づいて利用者 1 の与信審査を行い、与信審査結果に応じて有償サービスの代金に対する立て替え額を決定する（ステップ S 1 0 6）。そして、決定した立て替え額を端末装置 4 0 へ通知する（ステップ S 1 0 7）。

【選択図】 図 1

特2001-121680

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 . [000005223]

1. 変更年月日 1996年 3月26日

[変更理由] 住所変更

住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

氏 名 富士通株式会社